

昭和 48 年 1 月 25 日 印刷

昭和 48 年 2 月 10 日 発行

日本シーリング工業会

シーリング

VOL. 6. NO.10 1973. FEBRUARY,

1973

第 10 号

No.10

創立10周年記念号



JAPAN SEALING MANUFACTURES ASSOCIATION

ELASTIC COMPOUND

ELASTIC COMPOUND
ELASTIC COMPOUND
ELASTIC COMPOUND
ELASTIC COMPOUND
ELASTIC COMPOUND
ELASTIC COMPOUND
ELASTIC COMPOUND

理想的

コーキング・シーリング材

**エバーシール
アクリルエース
ユーゼット
フジチオコル**



昭和石油アスファルト株式会社

本社 東京都品川区南大井1丁目7番4号 (03)(761)4271(代) 千140
東京営業所 東京都品川区南大井1丁目7番4号 (03)(761)4271(代) 千140
大阪営業所 大阪市北区梅田町27(産経ビル) (06)(341)6395(代) 千530
名古屋営業所 名古屋市中区丸の内1-17-19(長銀ビル) (052)(231)6568 千460
新潟営業所 新潟市平和町4の1 (0252)(74)7561(代) 千950
福岡出張所 福岡市綱場町2-2(福岡第一ビル) (092)(29)0008 千812

ホドガヤ

ミリオネートNS

ウレタン弾性シーリング材

■ ミリオネート NS-12 の特長

- 二液性常温硬化型のポリウレタンエラストマーである。
- 強い接着力をもっている。
- 溶剤を全く使用していないので収縮しない。
- 樹脂の中で最も弾性に富んでいるので目地の複雑な挙動や大きな動きに耐える。
- 硬化がはやい。
- 低モジュラスである。
- 伸縮に対する復元性にすぐれている。
- 汚染性がない。
- 耐水性、耐薬品性、耐久性、耐候性、耐寒性にすぐれている。

ウレタン建材——ミリオネートシリーズ



保土谷化学工業株式会社

本社・建材部 千105 東京都港区芝罘平町2-1 TEL03(502)0171

大阪支店 千541 大阪市東区高麗橋5-45 TEL06(231)1212
名古屋営業所 千460 名古屋市中区錦1-17-13 TEL052(231)7251
札幌出張所 千060 札幌市中央区北一条西5-3 TEL011(261)7789
仙台出張所 千980 仙台市一番町1-1-31 TEL0222(21)3843
福岡出張所 千810 福岡市中央区大名2-9-25 TEL092(75)7241

ベタシールの「タフ」さはこちらでも、
生かれています。

「日本を代表するポリサルファイドシーラントの代名詞」

BETASEAL
SEALANT

ベタシール
169-

建築用ポリサルファイド弾性シーラント

ベタシール®



サンスター 化学工業株式会社

高槻市明田町7-1 TEL 0726(84)0882

ポリサルファイドシーリングコンパウンド(常温加硫二液型)

ニッシール

特に耐久性、接着力が優れており、大きな変位が見込まれる処の水密・気密シールに最適です。家庭電機を初めとして、超高層ビルからジェット機まで広い分野で使用されています。



ブチルゴムシーリングコンパウンド(常温加硫一液型)

フレニシール

耐久性に優れたシール材で半永久的に柔軟なゴム質を保持します。一液性なので非常に作業性がよく低価格一般向シール材として広く御好評を戴いております。

株式会社 日 興 社

東京都江東区白河 4-9-5 TEL(642)7103(代)

ポリサルファイド系シーリング材

ボニーシーラー

PS 2000

主要製品

商 品 名	一 般 名
ボニーシーラー	ポリサルファイト シーリング材
グレインコート	コーキング材JIS
ホベル印パテ	ガラスパテJIS
ボニーシリコン	シリコンシーラント
アクリルコーク	アクリル コーキング材
モルミン	ウレタン防水材
エポキシド	エポキシ樹脂防水材

Sealing Compounds
for
Building

建設省 国 鉄
指定 電々公社 住宅公団
各都府市施設公社



ダイパ化学株式会社

大阪・東京

東京営業所 港区新橋6-10-1

TEL 43-1-9358

静岡出張所 静岡市上川原319

TEL 59-2333

福岡出張所 福岡市長丘5-11

TEL 56-1675

カネボウ

カネボウ シーリング材シリーズ

油性コーキング材……………P-# 320

ブチル系(無皮膜性)コーキング材…P-# 250

ブチルシーリング材……………P-# 3000

水性アクリルシーリング材……………P-# 4000

ウレタンシーリング材

ポリサルファイド系シーリング材 ………P-# 5000

ポリサルファイド系シーリング材(土木工専用)…P-# 5200

建材用接着剤シリーズ

KBK No.5 断熱材現場施工用

KBK No.6 塩ビタイル床用接着剤

KBK No.8 木レンガ等建材現場施工用

KBK No.10及び10-K 発泡スチロール用

カネボウ ベルタック モルタルコンクリート接着剤

カネボウベルタックU モルタル混和剤

製造元 鐘紡株式会社

本部 大阪市都島区友渕町1丁目3番80号 TEL(923)1941代表(921)1231

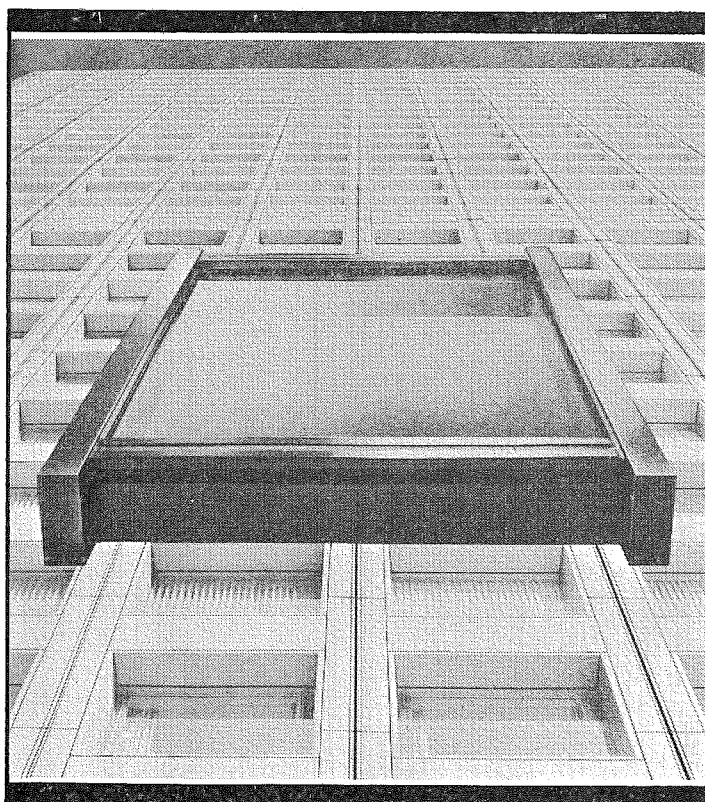
発売元 鐘紡合成化学株式会社

本社 大阪市都島区友渕町1丁目3番80号 TEL大阪(921)1231

肥後橋事務所 大阪市西区江戸堀上通1丁目25番地 TEL(441)8241

名古屋支店 名古屋市中区栄1丁目5番22号 TEL(221)9131~3

東京支店 東京都品川区西五反田7丁目22番17号 TEL(494)2741



ヨコハマゴム

信頼の品質と確かな技術

多くの実績が証明

YOKOHAMAのハマタイト〈シーリングコンパウンド〉は、強力な接着力、弾性持続性能はもちろん、自然現象に対する優れた抵抗性をも秘めた実力の持ち主。ホテルニューオータニ、国立劇場、日本銀行本店、神戸商工貿易センター、新日本製鉄ビル、韓国の三一路ビルなど、国内でも、海外でも、その実力は高く評価され、信頼を勝ちとっています。

と同時に、それは、カーテンウォール工法の発展に大きく貢献していると言っても、決して過言ではありません

ハマタイト

シーリングコンパウンド

 YOKOHAMA

防水技術を追求する

建築用ポリサルファイド系シーリング材〈スリーコール〉



特長

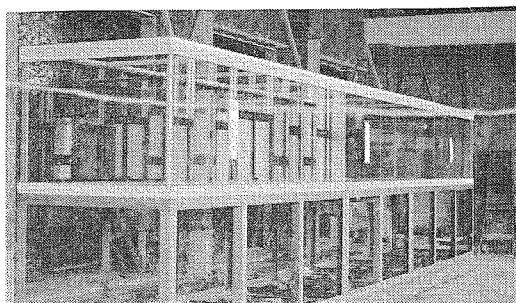
- ① 伸縮に対する、すぐれた復元性、
(98%の復元力)があります。
- ② 長期にわたっての耐久性を示します。
- ③ 耐油性、耐溶剤性、耐熱性にすぐれています。
- ④ 水密性、気密性にすぐれています。

 **三洋工業株式会社**

本社 東京都江東区亀戸 6-20-7
TEL 03 (685) 3451 (大代)

カタログご請求下さい

世界の水族館、水槽の工事を手掛けているワールド・シーラー
(水槽工事から設備迄)



マカオのホテルに設置した
超大型水槽 (L W H)
12m × 1000 × 1200

営業種目

大型水槽設計施工及其の設備
水族館設計施工及其の設備
各種シーリング工事及材料販売



株式会社ワールドシーラー

東京都台東区台東 1-6-3 東神ビル内 〒110
TEL (03) 834-4461 ~ 3

高層建築時代を開く



容量規格=主剤硬化剤1.1kgセット 色=アルミ・グレー・ブラック・アンバー-1・2・3

セメダインポリシールは、主剤と硬化剤からなる2成分型で、ガラス、モルタル、アルミなどにすぐれた接着性を示す。現在、ホテルパシフィック東京をはじめ多くの高層ビルのガラスまわり、方立まわりに使用され、抜群の水密、気密効果を発揮しています。シーリング工事ならポリシールにおまかせください。

ポリサルファイド
シーリング材 **セメダイン**
ポリシール

接着剤の総合メーカー
セメダイン



霞ヶ関ビル・世界貿易センタービルをはじめ日本の
著名ビルは弊社の施工でシールされました。

- ウエザーバンシーラー
- 他チオコール系シーラー
- グライト（結露防止材）
- タータン舗装材

ウエザーシール工業株式会社

東京都港区芝1丁目13番19号 電話 (453) 2746~8

サッシュとモルタル取付部・壁材の取合部の止水

油性コーキング材 **リバーコーク**

カーテンウォール・ガラス・パネルのシール、伸縮目地シール

ポリサルファイド系 **リバーシーラー**

浮き上りモルタル・タイルの補修・コンクリートの打継ぎ用

エポキシ接着剤 **リバーエポコーク**

建築用コーキング・シーラント並、建築用樹脂製造販売

防水コンサルタント **三英ポリマー工業株式会社**

営業所 東大阪市新喜多29 TEL 06-788-7954
789-9373

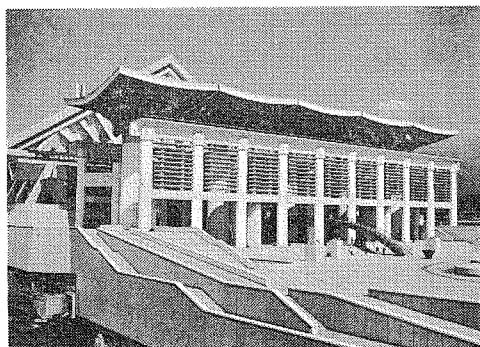
本社・工場 大阪府池田市木部町639 TEL 0727-51-3128
51-2069

GLORY

- ポリサルファイド
- ポリウレタン
- アクリル・ブチル
- 各種補修防水工事

販売・施工

日本添加剤工業(株)代理店
旭化成・ARセンター指定工事店
東京都知事登録(る)第53641号



光栄工業株式会社

東京都練馬区上石神井1-432

☎ 03 928-2271 (代)

《主要製品及び扱品一覧表》

商 品 名	主 成 分	特 長	用 途
塗膜防水材			
パンレタン	ウレタンタール	固型分100%、2液厚塗り可能	建築物屋上、室内その他一般防水
パンレタン ノンタール	ウレタン樹脂	固型分100%、2液厚塗りカラー仕上	建築物着色露出防水
パンエース	特殊樹脂エマルジョン	1液エマルジョン、耐亀裂性大	建築物屋上、室内その他一般防水
床 材			
パンレタン フロアー	ウレタン樹脂	シームレスカラー仕上、耐摩耗性大	屋内、外、一般床
パンレタン タータン	ウレタン樹脂	超厚塗(8~10mm)クッション性大	ゴルフ場、体育館、一般床
パンレスメント	アスファルトエマルジョン	1液3~4回塗布仕上	歩行用防水層の保護
パンレスメント DX	特殊樹脂エマルジョン	1液3~4回塗布仕上	歩行用防水層の保護、一般床
シーバー	P.V.C	人工芝生(天然芝同等品)	ベランダ、屋上、プールサイド他
コーキング材			
パンシール	油性コーキング	18ℓ缶入、360ccカートリッジ、1kgチューブ	サッシ廻り、一般目地
パンネオシール	ブチルゴム	360ccカートリッジ	サッシ廻り、一般目地
パンレタン コーキング	ウレタン樹脂	固型分100%、接着力、ゴム弾性、耐候性優秀	サッシ廻り、エキスパンション 一般目地
JSR コーキング	SBR	1液エマルジョン、ゴム弾性良好	ALC板目地、一般目地
吹付タイル			
フジストン	下吹セメント系、上吹変性樹脂	常温硬化釉薬仕上、光沢、耐候性抜群	内外壁、タイル状仕上
モルタル防水液			
イーエス	塩化カルシウム	モルタル混入急結用、一般用	一般モルタル防水
パンタック	変性樹脂エマルジョン	モルタル混入、塗り厚3~5mm、接着性、不透水性大	治水槽、浄化槽、一般モルタル防水
モルタル接着材			
プライマルM-30	アクリル樹脂エマルジョン	セメントノロ、モルタル混入、接着力大	内外壁モルタル接着、タイル接着、サイロ気密、他



建材化工 株式会社

名古屋市東区舎人町46番地 TEL 052(931)6770・0765・0766

すぐれた機動力
たゆまぬ材料研究
独自の施工技術

シーリング材施工販売

誠実本位

白洋建材工業所

代表者 小 阪 栄

大阪市都島区都島本通 2 丁目14番18号

電 話 06 (921) 2162・06 (923) 2162

ボンド はすぐれた製品を豊富に提供致します。

弾性シーリング材

●ポリサルファイド系シーリング材

●ポリウレタン系シーリング材

ボンドシール[#]10 ボンドビシール

●その他各種シーリング材がございます。

ボンド スーパーシーラント	(シリコン系シーリング材)
ボンド コークホワイト	(アクリル系シーリング材)
ボンド シールパテ	(ブチルゴム系シーリング材)
ボンド コーキング	(油性系コーキング材)



シーリング材の専門メーカー

株式会社 小西儀助商店ボンド工場

本社／大阪市東区道修町2丁目6 TEL 大阪 (203) 3081

支店／東京・名古屋 出張所／札幌・福岡 営業所／静岡・広島



尚 当社では角型の各サイズも取り揃えております

エサフォーム小丸棒は

理想的なバックアップ材です

1. エサフォーム小丸棒はシーラントに対して非接着性なので、理想的な2面接着が可能になります。
2. エサフォーム小丸棒はシーラントを鼓型にするので、弾性シーラントとしての機能を十分に発揮させます。
3. エサフォーム小丸棒はシーラントに対して、化学的悪影響を及ぼすような成分を全く含みません。
4. エサフォーム小丸棒は物性的に安定したポリエチレンフォームなので、耐薬品、耐老化性に優れています。
5. エサフォーム小丸棒は丸棒型なので、ジョイント巾の多少のムラがあっても影響されずに作業ができます。
6. エサフォーム小丸棒は長尺ロープ状、ダンボールケース入りなので取扱いが簡単です。
7. エサフォーム小丸棒はトップメーカー旭ダウが、バックアップ材及びエクスパンション専用に開発した製品です。

日本シーリング工業会賛助会員
各種バックアップ材専門店

株式会社

新 和 商 会

本社 東京都荒川区西日暮里2-30-5
TEL (03) 803-1411(代)
工場 埼玉県与野市鈴谷2-8-3
TEL (0488) 53-1761(代)

各種防水工事

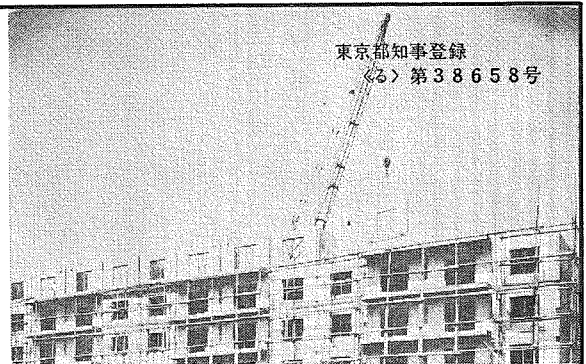
みすゞサービス株式会社

東京都新宿区四谷2-11(ロングビル)
TEL 03(353)6573(代表)
代表取締役 町田 巧

“水漏れ”に挑戦する!

- プレハブ防水
- チオコール系シーラント
- 油性系コーキング
- ウレタン防水

—責任施工—



昭和工業株式会社

代表取締役 田添俊正

東京都新宿区三栄町3番地

電話 353-3675(代)

353-7345(代)

J I S 許可番号
A-5751 第367098号



建築用油性コーキング材

ユニロン コーキング

建造物保護材

総合メーカー



川野田建材株式会社

本社 東京都中央区銀座3-2-19 建築会館
分室 東京都港区新橋5-19-1 三陽ビル
仙台 仙台市東1番町2-3-32 東一ビル 小野田セメント内
名古屋 名古屋市中村区広井町3-98 名古屋ビル
大阪 大阪市北区梅田2 第一生命ビル
福岡 福岡市今泉2-3-15 第一中島ビル
札幌 札幌市中央区北三条東5-5 岩佐ビル
山口 山口県防府市牟礼沖ノ原1165

03(567)8571(代)
03(432)0571(代)
0222(66)3321
052(561)5722
06(341)0037(代)
092(77)4297
011(261)3181内線38
0835(38)0259

理想的バックアップ材で 施工はパーフェクト!

“各種サイズ迅速納入”

超高層“霞ヶ関ビル”を始め、貿易センター、帝国ホテル
日銀本店等 各施工現場にてシーラントをガッチリ バックアップ

- ニッターポリエチレンソフト(のり付)
- エターライト(のり無し)
- エサフォーム丸棒 角型各サイズ
- ニッターマスキングテープ

フヨー株式会社

本社 墨田区業平4-4-11
TEL (625)3370(代)
工場 墨田区業平4-11-2
TEL (625)3314

◇ 創立 10 周年 記念号 ◇

■ アンケート特集 ■

シーリング材・期待されるその未来像.....(12)

丸一俊雄・石川利次・山岡政雄・小黑信次

中村卓美・岩井孝次・鶴田 裕・山崎政雄・他

■ 日本シーリング工業会創立 10 周年に寄せて

10 周年を御祝します.....狩野 春一.....(2)

今や不可欠の材料.....浜田 稔.....(2)

10 周年を慶ぶ.....波多野 一郎.....(3)

新しい門出に期待.....西 忠雄.....(4)

創立 10 周年を迎えて.....伊藤 憲太郎.....(4)

創立 10 周年を祝して.....岩崎 一.....(5)

■ 日本シーリング工業会 10 年のあゆみ.....(6)

□ 創立 10 周年を迎えて.....渡辺 三郎.....(1)

■ 建築工事標準仕様書解説

JASS8 防水工事 4 節シーリング工事.....(31)

■ 工事報告 ■.....(22)

大石寺正本堂・ヤクルト本社ビル・森永プラザビル・銀座三井ビル

大阪国際ビル・大阪大林ビル

□ 建築用シーリング材市販製品一覧表.....(49)

□ 日本シーリング工業会会員名簿.....(54)

能率倍增

TBC

ボースコーキング

能率倍增には施工の近代化が要求されます。

そこで登場したのが、ボースコーキングのカートリッジ詰です。カートリッジガンの中身を取りかえるだけ.....ガンにはエア式とピストン式があり、いずれも取扱いが容易で、カートリッジのとりかえは至ってかんたん。

●カタログ贈呈（誌名ご記入下さい）

株式会社

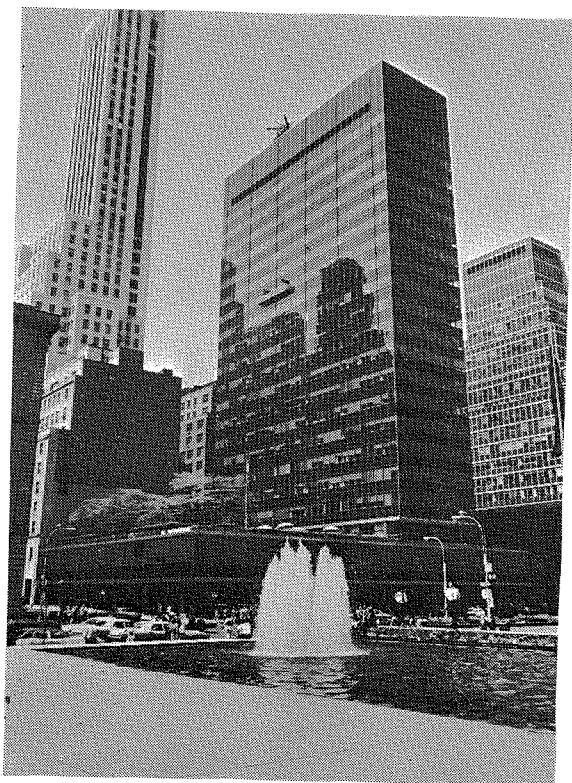
東京ボース工業社

営業所 ①116 東京都荒川区西日暮里2-45-2 TEL 03(801)1151代
②530 大阪市北区神山町34(第一若菜ビル) TEL 06 (313) 0148
③980 仙台市東照宮2-6-3 TEL 0222 (34) 0023

Thiokol LP®

ポリサルファイドポリマー

18 年 の 実 績



18年前、ニューヨーク市、リバーハウスビルに施工された“チオコールLP”をベースとするシーラントは、最近のサンプルテストにより、いまなお接着性・柔軟性を保持し、完全な機能を果していることが実証されています。

詳細ご希望の方は、下記へご一報下さい。

〔東レチオコールはシーラント、接着剤をはじめ各種工業製品の原料として使用される液状ポリサルファイドポリマー“チオコールLP”の製造会社です。〕

Thiokol — CHEMICAL CORPORATION

東レチオコール株式会社

本社 東京都中央区日本橋室町2-2(東レビル)
TEL 03 (241) 1 8 4 5 番

工場 千葉県市原市千種海岸2-3

総代理店

株式会社野村事務所

本社 東京都港区西新橋1 (日石本館)
営業第2課 TEL 03 (502) 1 4 6 6 番

大阪出張所 大阪市西区新町通1-5(新町ビル)
TEL 06 (538) 0 2 2 8 番

—絶賛発売中—

建築防水・シーリングのオピニオンリーダーたる10人の筆者が、豊富な知識と経験を生かして、“建築にとって防水とは何か”を世に問う随想風技術書です。

建築防水 10人10話

本書の内容

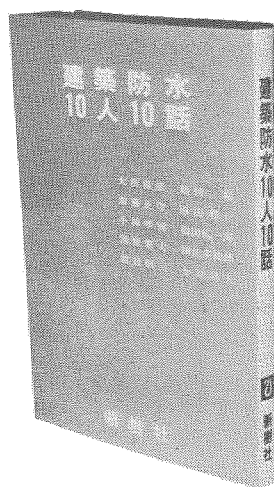
本書は「シーリングジャーナル」に5年にわたって好評連載されたものに再検討を加え、防水設計、防水施工の考え方と実務に参考となるよう編集された、技術者必読の実務書です。

主な内容と執筆者

- 建築用シーリング材について考えること
大浜 嘉彦
- 防水とクレーム
鶴田 裕
- 弾性シーラントの成長期への提言
加藤 正守
- 新しいシーリング材・防水材開発の方向
原田 理一
- 第3の防水理論と内装プレハブ産業に
対する新しいシーリング分野の開発
小林 孝悌
- PC防水のクレームとその対策
福田礼一郎
- 速硬化性エポキシ樹脂配合物の諸問題点
—とくに一液性速硬化エポキシ配合物に
清野 繁夫 について—
- シーリング材の実用性十話
朝比奈和郎
- 試行錯誤
渡辺 敬三
- 八つ当たり防水論
小池 通夫

A 5判 264頁 上製本 定価950円(送料145円)

ご注文は申込みハガキ(切手不要)または電話でお申込み下さい。



好評発売中!

防水界全般を知る手引書
業界唯一の興信書です

—防水総覧の内容—

- 第一編 製品・工法紹介
- 第二編 会社別製品一覧
- 第三編 全国防水業者要覧

1972年版 **防水総覧** B 5判 200頁
実 費 980円 (送料140円)

東京都中央区銀座 7-12-5


新樹社

振替 東京102983番

電話 03(542)9324代

“創立10周年を迎えて”

日本シーリング工業会

会長 渡 辺 三 郎



昭和38年2月、「日本コーキング協会」として12社をもって発足以来、光陰矢の如くここに創立10周年を迎えることになりました。歴代会長、役員、会員はもちろんのこと、6期6年間微力ながら会の運営にあたりました私共は、まことに感無量のものがあります。

昭和27年前後に、戦後の住宅復興建築にあたり、画期的な役割を果たしてきました「油性コーキング材」普及のため、当工業会は設立されましたが、衆知の通り建築・土木業界は日進月歩、特に昨今は技術革新による驚異的伸長を遂げ、最近の建築構造様式は高層化、軽量化、プレハブ化等に進み、いわゆる剛構造から柔構造に移行してまいりました。必然的に構造上の間隙も複雑多岐に亘り、重要な機能のひとつとして水密、気密の面が強く要求され、それに従い下地部材も多種多様化してまいりました。このため各メーカーは逐次苛酷な条件を克服する製品の開発、品質の改良に努め、昭和30年には弾性シーラントとして“ポリサルファイド”系が同40年には“シリコン”系が国産化され、その後“ポリウレタン”“ブチル”“アクリル”“SBR”系等の塑性シーラントも台頭し、それぞれの性能と特性をもって伸長してきました。

会の運営も建築・土木業界の技術革新に追従し、昭和40年6月に弾性シーリング材メーカーの参加を得て、「日本シーリング協会」と改め同44年4月には更に内部の結束と充実を図り、「日本シーリング工業会」と再度改名し、建築・土木用シーリング工業の振興に努力してきました。現在会員は東京本部における正会員48社、施工部会員34社、賛助会員9社、名古屋支部会員37社、同施工部会員25社、大阪支部会員35社、同施工部会員53社、福岡支部会員23社の多きを数え、全国的組織の基盤が概ね出来上りました。

運営は常に年度事業計画に基いて鋭意各担当理事が中心となり最善の努力を重ね、実効を挙げておりますが、建築の基幹機能としての「雨仕舞」に重要な部門を受持つ「シーリング材」はその課せられた使命を痛感し、建築技術に即応した「材質」「施工技術」両面の完璧を期すべく、目下基材別によるいわゆる適材適所の採用、材工一体化の機能発揮など具体的方策に従い、従来の「油性」「弾性」という単純な区分では整理出来ない現状でありますので時宜に適した高度の機能を発揮し得る内部機構の改革を行い、総務委員会、広報委員会のもとに従来の一部会（油性）、二部会（ポリサルファイド、ウレタ

ン、ブチル、アクリル）三部会（シリコン）の各部会活動を廃止し、各基材別に細分化し、7つの分科会活動に改めました。各分科会の幹事、副幹事が活動の推進役となり、その成果は着々と挙げられております。

また油性コーキング材のJISマーク製品に引続き、懸案の“ポリサルファイド”、“シリコン”のJIS品目指定も昭和46年4月に公布され、JISマーク製品の進出も間近かとなりました。一方、“ウレタン”、“アクリル”、“ブチル”等のJIS規格の必要性も逐次高められております。また工業会自体の“油性コーキング材、弾性シーリング材”の標準施工仕様書作成とともに、日本建築学会建築工事標準仕様書（JASS8）防水工事4節にシーリング工事の項目が出来、また昭和47年度の工業標準化原案作成の一環として「建築用シーリング材の用途別性能評価基準」を工業技術院に原案答申を行うため本委員会を結成、目下鋭意審議中であります。今後のシール材の技術開発の方向づけに大きな役割を果たすものと大いに期待致しております。

更に常日頃申し上げております「材」と「工」の緊密な一体化があって始めて成果を評価出来得る斯種業界でありますので、その推進策として施工部会員の各基材別品質の充分な理解と施工技術の向上を図るため、当工業会に「日本シーリング管理士」と呼称する資格認定制度を設け、数次に亘る教育指導を重ね、所定の厳正な試験を経て、既に昨年4月には47名の一期生が誕生し、同年11月28日には名古屋支部で60名、同月29日には大阪支部で40名の多数の二期生が誕生致しました。目下第一線で活躍中であり、信頼を博しております。これはさきに関係官庁より“シーリング防水工”としての職種認定を受けましたので一日も早い実現をはかるための前提にした処置でもあります。

また前述のJASS8・防水工事の4節シーリング工事175頁に施工業者の指定にあたっては「日本シーリング工業会」の認定になる「シーリング管理士」を有する業者を選ぶことが望ましい旨の待望の事項を採用になりました。いよいよこれまでの裏方的存在から陽のあたる前面へと進みました誇りと責任を痛感し、さらに今後は一段と工業会内部の充実を図り、関係官庁、学界、建築土木業界各位の倍旧のご支援を賜り、自他共に信頼される工業会づくりに専念致す所存であります。最後に当工業会の相談役、各顧問の発足当初よりの御指導御鞭撻に対し、工業会会員一同深甚の謝意を表します。

日本シーリング工業会創立10周年に寄せて



10周年を御祝いたします

狩 野 春 一

(工学院大学教授・日本シーリング工業会顧問)

日本シーリング工業会が、「日本コーキング協会」として発足以来、一途発展を累ねながら、ここに輝かしい10年の歴史を築かれたことは誠に慶びに耐えないことであります。

顧みると、コーキング材は戦後間もなく輸入されたのでありますが、昭和28～9年にはすでに国内品が開発され、目地や建具取付け部等の防水必須材として注目されるようになって、急速にメーカーも増加しました。昭和33年私達は「コーキング研究会」を作り、品質向上を目的として、コーキング材の性能標準、試験方法などの検討を始めましたが、業界内部にも時流便乗の粗悪品に対する要反省の声が起り、研究会活動に協力を頂きました。36年それらの成果がもとになってJ I S・A5751が制定されたのであります。こうした推移の中で38年日本コーキング協会が設立されて今日に至った事を想うと実

に感慨深いものがあります。

私は昭和43年本会創立5周年祝賀会の席で「……コーキング材が建築工事費に占める割合は極めて小さいが、今後益々発展拡大しなければならない建築のプレハブ化、高層化等に対する重要性は逆に極めて大きく、この協力がなくてはその達成は不可能といってもよからう。どうかこの誇りと自覚をもってその誇りに値する製品・技術への努力と協力を御祈りしたい……」旨の祝辞を申し述べたと思います。

その後5年、シーリング材は益々多様高級してきた今日、これに即応して会名称称、機構の整備合理化、組織の全国化など、着々堅実な大発展を示して来られたことは誠に敬服に耐えません。私は再度上記5周年の祝辞を繰り返して10周年の御祝の詞とし、今後益々の御隆昌を祈り度いと思います。



今や不可欠の材料

浜 田 稔

(東京理科大学教授・日本シーリング工業会顧問)

日本シーリング工業会創立10周年を心からお慶び申し上げます。工業会ができるとの話をきいたのは、つい最近のような気がするが、もう10年たったのかと今更のよう

に驚いている。

「柔よく剛を制す」「柳に雪折れなし」これがシーリングの持味である。

建築物は材料の集積で作られ、従って接合部とは不可分の縁にある。この接合部の処理は従来とかく問題が多

かったが、シーリング材はこれを大きく改善した。

すなわち用法が簡便で、目的を十分に果すことから接合部の閉塞には、今や不可欠の材料である。

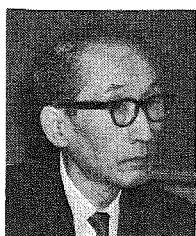
たとえば、高層建物の外壁や浴室のプレハブ構成にしても、この種の材料がなければ成立しない。

私は大きな外壁面を見上げるたびによく雨水が浸入しないものだと感心し、ひいてはこの種の材料のはたしている大きな効果に眼をみはるものである。大地震にもパネルや窓ガラスの破損、脱落が少ないということもある程度は期待できよう。

近年、いわゆる新材料がたくさん生まれた。シーリン

グ材もその一つだが、建築工法の近代化に必要度の高い点で優れた素質をもっている。一見地味な存在だが、重要なものである。

シーリングの業界は、元来が必要度の高い材料を対象としており、しかも他にあまり競合品がない点で、恵まれた業界であり、今日の発展を見たのは当然である。しいていえば、外には競合品が少いが内には各種各様の材料があるし、企業規模にも大小があり、歩調をそろえての発展には苦勞が多いと思うが、今後とも一層の発展に努力されることを祈念している。



10周年を慶ぶ

波 多 野 一 郎

(千葉大学教授・日本シーリング工業会顧問)

日本シーリング工業会が創立10周年を迎えるという。10年ひと昔という——私は還暦を過ぎて、そろそろ付着力を失いつつあるが、シーリング業界の中心的指導者である狩野春一博士が当時67才(推定)で現在もほとんどお変わりもなく矍鑠として居られる。

書き出しから、10周年にちなんで、年令の話になったついでに、私とほぼ同年(明確には知らないが)である野口社長(日本添加剤)をはじめ、歴代会長の功績が思い出されるし、さらに若手では初代事務局長の斎藤さんとその良きアシスタントを勤めた増田さん、そしてあの小さな事務所も忘れることができない。

そもそも、日本コーキング協会が結成されたのは、創立の前年に建築関係の新聞社が、コーキング材の座談会を企画し、たまたま私が司会をした席上で結成の話が出て、これを受けて岩崎社長がまとめ役を買って出たからこそである。その後、日本シーリング協会(シーリングの名称は狩野博士の提案による)と改名改組され、現在の渡辺会長に到る歴代会長と斎藤事務局長に続く古川さん、そして現在の中村さんと、名コンビによって大きく発展して来た。

その間、油性コーキング、ポリサルファイド、シリコ

ーンのJ I S原案のまとめ役を果し、先般は日本建築学会の建築工事標準仕様書J A S S)の一節となるシーリング工事およびその解説の制定に全面的に協力し、さらに現在は新しいJ I S原案「建築用シーリング材の用途別性能評価基準」の作成に対して、建材試験センターと共に事務局を担当して、裏方を引受けておられる。

今さら防水材の重要性を云々するまでもないが、建築工法の進歩に従って、シーリング材に対する要求も多種多様になっている。幸いに、協会はいち早く、材料別の分科会を発足し、また、施工面では「日本シーリング管理士」の制度を設け、「技能士」制度の実現を意図されている。これだけの実力を備えた協会に対していまさらとやかく云うこともないが、年々、シーリング関係の貴重な研究が、中堅・若手の研究者から続々と発表されている。10周年のお祝いを申上げるこの機会に、このような研究者に深甚の謝意を表したい。

10周年は結婚式では錫婚式、15周年が銅、25周年が銀、60周年(米国)あるいは75周年(英国)が金という。今回は錫の大杯によって乾杯し、さらに銅、金となることを祈ってやまない。

10周年を心から御慶び申上げる。



新しい門出に期待

西 忠 雄

(東京大学教授・日本シーリング工業会顧問)

日本シーリング工業会創立10周年を驚歎と敬意をもってお祝い申し上げます。日本コーキング協会として10年前に誕生、その後日本シーリング協会、そして今日の名称に変わって来た貴協会の動きは、欧米に些さか遅れて始まったとはいえ、さながらその爆発的な発展、2～3の統計資料を拝見するまでもなく今日ついに7つの分科会別に活動を続けられているその姿は、まさに一大壮観といえましょう。油性コーキング材料の規格が世に出たのは1961年、実物はそれより更に6～7年以前からといえましょうが、切実な機能材料の一つとして、また新しいコンクリート、鉄骨などによる構法に伴う新しい悩み——剛と剛との接点——の防水処理への天の与恵とも思えて歓迎されました。そんな頃、新しい建物の外装にコーキング材を使っているか否かが建築家の意識をはかる尺度の一つのようにさえみえたものです。やがてポリサルファイド、ウレタン、更にシリコン等次々と高度な性能のいわゆるシーリング材——最早コーキングの觀念では狭すぎる所からシーリングの名称が普通化し、折柄

建築物の高層化、カーテンウォールの登場、一方プレハブリケーション建築の普遍多量化へと、シーリング材はなくてはならない材料となり、いわば建築技術の始めであり、終りである建物防水の両半すなわち面防水とジョイント防水の後者については全面的にシーリング材が完べきな成果をあげつつあり、多難な面防水の永年月の成果を今日凌駕しているとみられ、その格段の進歩へのよい刺激となって貰いたいものです。さてこのシーリング材にも将来への課題は幾つかありましょう。只今建築には種々の角度から「性能論」が喧ましく、特に材料の性能性は究明されなければならないでしょう。過去10年のシーリング材の歩みには耐久へのデータも足跡として残されたことと思われ、生産、流通、使用の新しい流れには、環境条件に適応した一環の材料設計を真実のものとするため、建物管理への適格者としてのシーリング材に関する合理的な性能性の区分科が確立される必要がありましょう。新しい10年への力強い門出を期待します。



日本シーリング工業会 創立10周年を迎えて

伊 藤 憲 太 郎

(日本建設材料協会々長・日本シーリング工業会相談役)

このたび「日本シーリング工業会」が創立10周年を迎えられることになりまして、心からお祝いを申し上げます。

私は、この工業会の前身である「日本コーキング協会」が、昭和38年の早春、東京三宅坂の尾崎記念館で、同業有志12社の発起によって、創立総会が催され、それに参

列の光栄に浴したことを想起すると共に、あらためて歴代の会長始め役員諸氏、あるいは委員長、部会長など協会幹部各位のご努力と会員各位のご協力に対して深甚の敬意を表したいと思います。

日本コーキング協会設立後約1ヶ年半の間、その事務

局を、当時私が理事長をしておりました日本建設材料協会でお引受して居りましたが、会長始め協会幹部は、凡て、会員各位が半年宛交代で引受けられ、発足当初から活発に活動せられ、会議室ではかんかんがくがくの議論が交されて、その声が会議室の外にまで聞えていたこともしばしばでありました。

あれから10年、その間のこの協会の発展は、まことにめざましいものがあり、油性コーキング材メーカーに弾性シーリング材メーカーを加え、施工部門の参加を得て、会員の数も数倍し、名古屋、大阪に支部を持ち、自然協会の名称も次々と変り、「日本シーリング協会」から現在の「日本シーリング工業会」となりました。製品の品質の維持向上と、その社会的信用の獲得のため、J

ISの作成に協力すると共に、JISマーク表示制度の導入を図り、施工技術水準の向上のためにはシーリング工事の標準施工仕様書(JASS)の作成に協力し、進んで「シーリング管理士」資格認定制度の創設や「シーリング防水工」と云う職種の公認を受けるなど、着々と業界結集の意義を深めて来られました。

申すまでもなく、シーリング材は、建築では近代建築には不可欠の材料であり、今後の建築はこの種材料がなくては其の完璧を期することが出来なくなりました。建築総工事費に占めるシーリング材のウエイトが如何に小さくとも、建築には必要欠くことの出来ないものである以上、その建築における重要性に変わりはありません。日本シーリング工業会の一層のご精進とご発展を祈ります。



工業会創立 10周年を祝して

岩 崎 一

(三星産業(株)代表取締役社長・日本シーリング工業会相談役)

このたび日本シーリング工業会が創立10周年を迎え、今日のように隆盛を見るに至ったことは、当工業会にとってはもとより、全建設業界のためにも、まことに慶ばしいことであります。

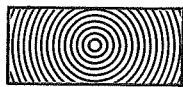
当工業会は、事業内容の拡充発展を遂げることにより名称も改変し、最も事業の目的にふさわしい名を称えていたことはいままでもないが、はじめて協会的組織をつかって発足した昭和38年2月「日本コーキング協会」にさかのぼることを想うとき感慨ひとしおのものがああります。

創立10周年を記念して、今や昔語りのになっていることではありますが、協会発足への直接的きっかけとなった当時の様相について記憶をたどってみることにいたします。

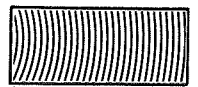
協会創立の前年(昭和37年)春のある日、現工業会の顧問でいらっしゃる千葉大学教授波多野一郎先生から、建築用油性コーキングの現状における諸問題についてメーカー側と懇談したいとの申し入れを戴きました。

現在は立派な近代ビルに建てかえられてしまいました

が、当時木造洋館建てだった銀座三笠会館の一室に、われわれメーカー八社が参集し、波多野教授を囲む座談会が開かれたのです。この席で、製品規格の問題・耐久性の問題、工事施工と仕様の問題、あるいは業界内に存在する過当競争の問題等々が、かなり浮きぼりにされたのを機会に、わたくしなどが中心になって業界の横の連携をとり合うことの場を設ける必要があることを提唱したところ、皆さんのご賛同を得ることができたのであります。その後、コーキングの製品規格を設定し、製品を正しく施工して、はじめて性能の真価が発揮されるという観点から、施工法・仕様書を作成する問題、業界の社会的・技術的レベルの向上等々を目的とし、前記8社が度び重なる発起人会を開催して準備を進め、さらに同業4社の賛同も加え、ようやく翌年2月の設立創会を迎えたものでした。いまや、会員諸賢のご努力の結果として、発足当初からの初心が遂次達成され、更に将来への伸展が期待されるようになったことを、衷心からお慶び申し上げる次第であります。



日本シーリング工業会10年のあゆみ



会長・半年輪番制で発足

昭和37年9月

日本コーキング協会設立準備委員会を結成する。

38年2月20日

日本コーキング協会発会式（創立総会）を尾崎記念会館に於て開催した。初代会長として、昭和化工㈱、副会長として、日本添加剤工業㈱、大日本塗料㈱が選出され、会員は次の11社で結成された。

昭和化工㈱

日本添加剤工業㈱

大日本塗料㈱

三星産業㈱

日新工業㈱

㈱エービシー商会

日本ユニロン㈱（現在小野田建材㈱）

日本ゴーレックス工業㈱（現在 鐘紡合成化学㈱）

明星工業㈱

日瀝化学工業㈱

日本化成工業㈱

38年10月

会長及び副会長の改選が行われ次のように決定した。

会長：明星工業㈱

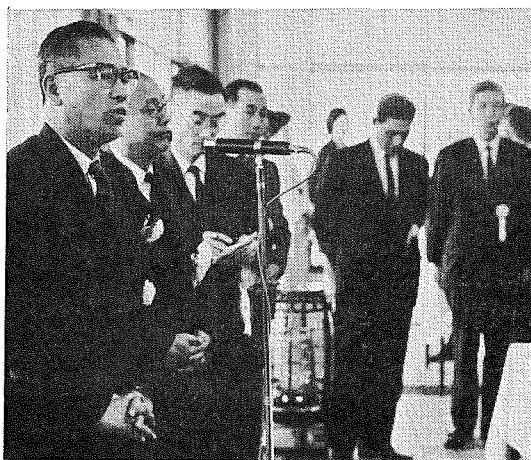
副会長：日本ゴーレックス工業㈱

副会長：日新工業㈱

39年5月

第一回通常総会を開催した。

会場：東京建材試験センター会議室



日本コーキング協会設立総会後のレセプションの模様



日本シーリング工業会10年のあゆみ



39年 6 月

大阪地区打合会を開催した。

東京都千代田区神田鎌倉町八島会館内に事務局が設置された。

39年 8 月

日本建設材料協会に入会した。

建築用油性コーキング材JIS改訂小委員会結成される。

39年10月

会長及び副会長の改選が行われ次のように決定した。

会 長：日本ゴーレックス工業 (株)

副会長：三 星 産 業 (株)

副会長：(株) エービーシー 商会

40年 5 月29日

会長及び副会長の改選が行われ次のように決定した。

会 長：三 星 産 業 (株)

副会長：日 瀝 化 学 工 業 (株)

副会長：日 本 ユ ニ ロ ン (株)

第2回通常総会を開催した。

会場 伊豆熱川グランドホテル

40年 6 月29日

日本シーリング協会に名称変更，三部会制度を採用した。

6月臨時総会を開催した。

会場 市ヶ谷会館

三部会制の実施により現役員辞任，新選出方法により役員は次の通り決定した。

会 長：小 野 田 ユ ニ ロ ン (株)

副会長：横 浜 ゴ ム (株)

副会長：添 加 剤 工 事 (株)

各部会より次の役員が選出された。

第一部会 部 会 長：三 星 産 業 (株)

副部会長：(株) エービーシー 商会

副部会長：日 瀝 化 学 工 業 (株)

第二部会 部 会 長：日 本 添 加 剤 工 業 (株)

副部会長：住 友 ス リ ー エ ム (株)

副部会長：明 星 工 業 (株)

第三部会 部 会 長：マ サ ル 工 業 (株)

副部会長：日 本 美 装 工 業 (株)

副部会長：ハ マ シ ー ル 工 業 (株)

40年 8 月

建築用合成ゴム系コーキング材JIS原案作成小委員会を結成する。

40年 9 月

ニッコー会を正式承認する。

40年11月

協会マークを制定する。

41年 5 月11日

第3回通常総会を開催（会場・産経ホール）

役員下記の通り



日本シーリング工業会10年のあゆみ



会 長：小 野 田 ユ ニ ロ ン (株)

副会長：住 友 ス リ ー エ ム (株)

副会長：成 和 工 業 (株)

第一部会 部 会 長：日 本 添 加 剤 工 業 (株)

副部会長：(株) エ ー ビ ー シ ー 商 会

副部会長：昭 和 化 工 (株)

第二部会 部 会 長：横 浜 ゴ ム (株)

副部会長：セ メ ダ イ ン (株)

副部会長：日 新 工 業 (株)

第三部会 部 会 長：(株) 水 光 工 業

副部会長：日 新 建 工 (株)

副部会長：(株) 日 本 シ リ コ ー ン 商 会

41年 6 月

事務局移転

東京都千代田区外神田2-2-17 共同ビルへ。

41年 4 月

第4回「建築用コーキング材品質管理委員会」開催，各部の会合さかん。

4 月

第7回「建築用合成ゴム系JIS原案作成委員会」開催

7 月 13 日

「建築用合成ゴム系シーリング材JIS原案作成小委員会」開催

10月26日

「第1回建築用1成分型シリコンシーリング材JIS原案作成委員会」開催

11月 8 日

千葉大学波多野教授訪欧帰朝講演会

11月30日

「第5回合成ゴム系標準施工仕様書作成委員会」開催

42年 1 月 7 日

42年新年宴会・部会および理事会開催

2 月 17 日

「建築用2成分型ポリサルファイド系シーリング材JIS原案作成小委員会」開催

2 月 22 日

「第7回弾性シーリング材標準施工仕様書作成委員会」開催

3 月 11 日

「建築用シーリング材JIS原案作成合同委員会」開催

4 月 22 日

第4回通常総会を東京・丸之内会館で開催，役員選出を行ったほか42年度事業計画，同予算案を承認した。この結果，新会長に山本哲朗氏（日瀝化学工業）を，副会長会社にエービーシー商会，ハマシール工業の二社を選出したほか次の新役員を選出した。
第一部会長＝タイホー工業▷第二部会長＝住友スリーエム▷第三部会長＝高萩興業，PR委員長＝日本添加剤工業。

4 月 24 日

「建築用2成分型ポリサルファイド系シーリング材JIS原案作成小委員会」開催

6 月 22 日

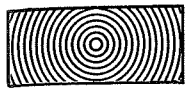
日本住宅公団と油性コーキング材の諸問題について懇談した。

7 月 29 日

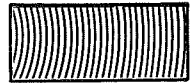
油性コーキング材JIS指定工場の第一回認可が次の七社になされた。

鐘淵紡績▷高分子化工▷三洋工業▷昭光産業▷タイホー工業▷大日本塗料▷日本添加剤工業

日本建築学会建築工事標準仕様書のJASS8防水工事4節「シーリング工事」の原案が完成した。



日本シーリング工業会10年のあゆみ



43年 2月20日

創立5周年記念祝賀会を東京社会保険会館で盛大に挙行了た。

43年 4月23日

第5回通常総会を東京・丸の内会館で挙行、役員改選、新事業計画、同予算案などを決めた。この結果、新会長に野口清之助氏（日本添加剤工業）、副会長に中島久雄氏（エービーシー商会）、田中利典氏（水光工業）を選出したほか次の役員が決定した。
第一部会長＝積水化学▷第二部会長＝日興社▷第三部会長＝大和興業▷企画委員長＝（新設）タイホー工業



創立5周年記念パーティーで乾杯の音頭をとる
狩野顧問(左)後方は山本会長(当時)



創立5周年記念式典



創立5周年記念パーティー。ラッキーカードを
抽籤する香山美子さん

6月21日

第34回「第1部会」開催

第31回「第2部会」 //

「充填材曝露試験結果説明会」

7月26日

「小林宏氏講演会」演題：「経営について」 場所：鉄鋼会館

10月9日

「中小企業近代化促進法」説明会開催

講師：玉木勇夫氏（通産省化学工業局窯業建材課技官）

11月

九州一円のシーリング施工業者によって九州シーリング協会が結成され、代表に山領正義氏が選出された。

44年 2月

古川事務局長が退職し、後任に村井喜一氏（東京都荒川区役所厚生部長）が決った。

日本シーリング工業会に改称

44年 3月11日

第3部会は日本シーリング協会を自主退会し、新たに組合を設立することを前提とす



日本シーリング工業会10年のあゆみ



44年 4月20日

る親睦会を結成することを決め、理事会に正式申し入れを行なった。

4月22日

協会を退会した第三部会員が「新日本シーリング工事業会」を結成した。

第6回通常総会を東京・赤坂の葵会館で開催、同日をもって名称を「日本シーリング工業会」と変更するとともに役員選挙を行い、会長に渡辺三郎氏（小野田建材）、副会長に小原清英氏（横浜ゴム）を決めたほか、次の役員が選出された。

第一部会長＝タイホー工業▷第二部会長＝住友スリーエム▷企画委員長＝積水化学工業。

45年 4月22日

第7回通常総会を東京・丸の内の精養軒で開催、役員選挙を行ったほか新年度事業計画案、同予算案を審議した。この結果、会長に渡辺三郎氏（小野田建材）、副会長に横濱ゴム、信越化学工業を選出したほか、新役員に次の各社が決定した。

第一部会長＝昭和石油アスファルト、第二部会長＝住友スリーエム、第三部会長＝トーレ・シリコーン、技術委員長＝横濱ゴム、総務委員長＝ソニーケミカル、企画委員長＝積水化学工業。

またシリコーンシーリング材メーカー構成による第三部会新設について検討が行われ、満場一致でこれを可決した。

10月

材工一体の建前から施工部門との共存共栄による業界強化を図るため、内部機構として施工部会を新設することを決めた。

46年 4月23日

第8回通常総会を東京・丸の内精養軒で挙行、新年度予算案ならびに事業計画案の審議、新役員の選出を行った。この結果、会長に渡辺三郎氏（小野田建材）、副会長に小原清英氏（横濱ゴム）の再任が決ったほか、次の新役員が選出された。

第一部会長＝昭和石油アスファルト▷第二部会長＝住友スリーエム▷第三部会長＝東芝シリコーン。技術委員長＝横濱ゴム▷総務委員長＝三洋工業▷企画委員長＝サンスター化学工業。

シーリング管理士が発足

47年 1月

労働省は職業訓練法施行規則の別表に新たに訓練課目として「防水施工科」を設置することを決め、日本シーリング工業会など5業界に協力を要請した。

1月21日

大阪在住34社によって日本シーリング工業会大阪支部が発足、支部長に山本照夫氏（テイパ化工）、副支部長に梅本禎治氏（日東ポリマー）が選出された。なお設立総会は大阪・大淀区の東洋ホテルで挙行された。

1月31日

第一回シーリング管理士講習会を東京・茅場町の鉄鋼会館で実施した。当日は施工部会から約60名が参加した。

3月3日

定例理事会で新事務局長に中村保氏（昭和石油アスファルト嘱託、57歳）を任命することを決めた。

3月9日

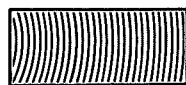
東京で第2回シーリング管理士の講習会を開いた。

3月10日

PCB汚染問題で通産省は工業会に対し使用の自粛を要望、工業会でも会員会社に対



日本シーリング工業会10年のあゆみ



しPCB使用の実態調査を開始した。

47年 4月 8日

東京で第1回シーリング管理士51名が発表された。

4月 21日

第9回通常総会を東京・丸の内精養軒で開催、役員選挙を行ったほか、新年度事業計画案、同予算案などを承認した。

この結果、新会長に渡辺三郎氏（小野田建材）、副会長に青木済氏（昭和石油アスファルト）を選出したほか次の新役員が決った。

47年度理事＝ABC商会▷三洋工業▷サンスター化学工業▷住友スリーエム▷東芝シリコン▷日興社▷日産化学工業▷建材化工（名古屋支部長）▷テイバ化工（大阪支部長）▷監事＝鐘紡合成化学▷積水化学工業▷トーレ・シリコン▷総務委員長＝昭和石油アスファルト▷技術委員会＝鐘紡合成化学▷広報委員長＝日本添加剤工業。

5月 12日

大阪支部は大阪・塗料会館で第1回総会を開き、施工部会の新設やシーリング管理士試験の推進などを決めた。

6月

内部組織を従来の部会制度から、材料別による分科会制度に改めることを決め、それぞれの幹事会社を選任した。新発足した分科会は次のとおり。▷油性分科会▷ポリサルファイド分科会▷シリコン分科会▷ウレタン分科会▷ブチル分科会▷アクリル分科会▷SBR分科会

6月 14日

名古屋支部に施工部会が誕生した。参加会社約30社で、部会長に藤枝清一氏（中央建材工業）が選出された。

8月 26日

大阪支部に施工部会が誕生した。参加会社約50社で、部会長に小阪栄氏（白洋建材工業）副部会長に大西秀次氏（三大工業）小林静雄氏（美作工務店）が選出された。

10月 13日

施工部会（東京）は東京茅場町の鉄鋼会館で技術講習会を開催約40名が参加した。

10月 6日

九州在住の23社が福岡市の福岡ステーションプラザホテルで福岡支部創立総会を開催、支部長に吉武伯生氏（信越化学）を選出した。総会のあとレセプションに移り、建設省九州地建、福岡県、福岡市、県建築士会、ゼネコンなどが参加、盛況だった。

11月 15日

油性分科会、ポリサルファイド分科会が合同ボウリング大会を開いた。渡辺会長他30名が参加、浜中靖夫氏（小野田建材）が優勝した。

11月 7～8日

名古屋支部、大阪支部で「シーリング管理士講習会」を同時に実施した。

11月 28日

名古屋支部、大阪支部同時にシーリング管理士の認定証授与式を挙行。新管理士は名古屋支部60名、大阪支部40名。

12月 5日

防水関連9団体により結成されている志水会に渡辺会長が出席、他団体オーナーと労働省令による「防水施工科」に関する職業訓練問題について意見を交換した。この結果、日本シーリング工業会も他団体と協調して職訓問題に積極的にとりくむことになった。

シーリング材

その期待される未来像

油性コーキング材が昭和30年に国産を開始してから17年、2成分型ポリサルファイド系シーリング材が昭和35年に国産化されて12年、いずれも他の建築資材にくらべて歴史が浅いにもかかわらず、着実な伸長を続けてきた。開発初期はもちろん業者数も少なく、昭和38年2月に当工業会の前身である「日本コーキング協会」が結成されたときには、会員数わずか11社というさびしさだった。それが、48年1月現在では、本誌巻末の会員名簿でもお分りのように100をこえる会員を擁するに至った。

もちろん、この高度成長のうらには、余りに急激に伸長したためのひずみが多く、ネックとして存在しており幾多の難問題が未解決のまま山積しているのはいうまでもない。わが日本シーリング工業会もおかげさまで本年2月無事創立10周年記念を迎えることができたが、この10年をひとつの区切りとして、そうした諸問題を謙虚に反省し、これを足場にさらに大きく飛躍するためユーザーの皆さまのお声を本誌に集録することとした。

このため本誌にアンケート特集「シーリング材・その期待される未来像」をとり上げることとし、官公庁、設計事務所、ゼネコン、カーテンウォールメーカーなど全国のユーザーにアンケートを求め、約50通の回答を得た。これをもとに質問1～3までのご意見を別表のグラフにまとめ、42人の方々のご意見をランダムに列挙してみた。質問4については、多くの方々が施工の機械化、省力化と職人の質の向上に強い関心をもっており、当工業会の資格制度である「シーリング管理士」の誕生に強い賛意を示して下さり、当事者としてまことに嬉しかった。工業会としてはこれらのご意見をもとに、さらに材質と施工技術の向上に努力を傾けたいと考えて、ご回答をお寄せ下さった方々には誌上をかりて心から御礼を申し上げます。（文中敬称略）

- | | | |
|---------------------------------|--|---------------------------------|
| 1. あなたは現在のシーリング材に満足していらっしゃるかどうか | イ 価格 | ロ ガスケットタイプ |
| | ロ 耐久性 | ハ ひも状タイプ |
| | ハ 美観 | ニ その他（ ） |
| イ 現状のままでよい | ニ 作業性 | |
| ロ 改善の余地がある | ホ その他（ ） | 4. 今後どういうシーリングを望みますか。具体的にお願いします |
| （理由） | | |
| ハ 不満だが他に適材がないから使っている | | |
| | 【質 問】 | |
| 2. もし不満な点があるとすれば次のうち特にどれに該当しますか | 3. 次のシーリング材のうち、将来どれが望ましいとお思いですか（1種類だけ） | イ 材料について |
| | イ ムガンタイプ | ロ 施工について |

【こ 回 答】

順不同敬称略

丸 一 俊 雄

清水建設(株)研究所材料研究部

- 1 ㊥ (油性コーキング, ポリサルファイドの耐久性の改善)
- 2 ㊥
- 3 ㊤・㊥・㊦ (コンビネーションを考慮する必要あり)
- 4 材料について=低モジュラスで耐老化性の少ないもの (材種は問題でない)
施工について=信頼性の高いもの (2成分型ではポータブルの混練器具が必要である)

石 川 利 次

日鉄カーテンウォール(株)工事部

- 1 ㊥ (作業性, 耐久性)
- 2 ㊥, ㊦
- 3 ㊤ (現状) ㊥ (将来)
- 4 材料について=シールに雨仕舞の全負担をかけることは現状では危険である。価格も一応問題ですが, 作業不良がチェック出来ないことと, 公害等の悪影響も考えられるので耐用年数の低下等, 改善の余地が多分にある。
施工について=施工業者と材料メーカー, さらにサッシ業者等の作業研修会でも開くかして, 中級以下の職人の技術の向上, 意識の徹底等考慮してほしい。職人不足の折, 大変と思うが今のところ個々の職人の能力に頼るしかない。

山 岡 政 雄

日鉄カーテンウォール(株)工事部

- 1 ㊥
- 2 ㊥
- 3 ㊤
- 4 材料について=一液性で二液性の性能をもち価格的にも無理がなく作業性の良いものを望む。
施工について=カートリッジ方法

小 黒 信 次

西武建設(株)量産住宅部開発課

- 1 ㊥ (型の開発と促応する意味から)
- 2 ㊦, ㊧ (日本伝統的な手法から来る欠点・改良発想を転換)
- 3 ㊦
- 4 材料について=ウレタン系・ガスケットの場合セルフフォーミングのもの
施工について=材工の一貫体制を期待

中 村 卓 実

鹿島建設(株)建築工務部技術課

- 1 ㊥
- 3 ㊥
- 4 材料について=ポリウレタン系の改良型
施工について=プライマーの研究

岩 井 孝 次

鹿島建設(株)技術研究所建築部

- 1 ㊥ (施工性)
- 2 ㊦
- 3 ㊤
- 4 材料について=疲労の少ないもの, 一液型で良質なもの
施工について=混合攪拌の機械化

鶴 田 裕

大成建設(株)技術研究所

- 1 ㊥ (施工箇所や条件に適した種々のものがあって良いはず)
- 2 ㊧ (1の㊥と同じ理由)
- 3 ㊦ (ただし, 建築施工法および精度が改良されなければ不可能である)
- 4 材料について=低モジュラスで伸びが良いもの
施工について=1成分にしたい。(そのためには材質の改良が伴わなければならない)

山 崎 政 雄

(株)柴沼松之助商店ガラス部

- 1 ㊦
- 2 ㊩, ㊨
- 3 ㊦
- 4 施工について=シリコンならば固まるのがもう少しおそいものがほしい。

高 田 敏 行

高田金物(株)水戸硝子卸部部長

- 1 ㊥ (ガラスおよび他のシリコンコーキング部材についた時おとしにくい)
- 2 ㊨
- 3 ㊩
- 4 材料について=シリコンシーリング材
施工について=クリーニングしやすいもの

上 田 宏

桑田硝子(株)大阪店硝子部

- 1 ㊥
- 2 ㊩, ㊨
- 3 ㊦
- 4 材料について=スチールサッシ用等でひも状のもの
(現在のロープパテをより安くしたもの)等

松 沢 清 美

北野建設(株)設計部設計第2課

- 1 ㊦
- 2 ㊥, ㊦
- 3 ㊩

矢 口 達 雄

(株)熊谷組技術研究所第7部

- 1 ㊥
- 2 ㊩, ㊨
- 3 ㊩
- 4 材料について=モジュラスの低いもの
施工について=垂直面に施工してたれさがりのないもの

中 井 平

積水化学工業(株)住宅事業部品質保証部

- 1 ㊦
- 2 ㊨
- 3 ㊩
- 4 材料について=チオコール糸でポットライフの長いもの

小 林 孝 悌

(株)大林組建築部保全課

- 1 ㊥ (ダレ, 剥れ, みにくい)
- 2 ㊥, ㊦, ㊨
- 3 ㊦
- 4 材料について=非弾性シーリング材 (挙動に対する対応と, 目地巾, 下地への接着の関係)
施工について=ホットメルト工法 (無溶剤)

井 沢 久 男

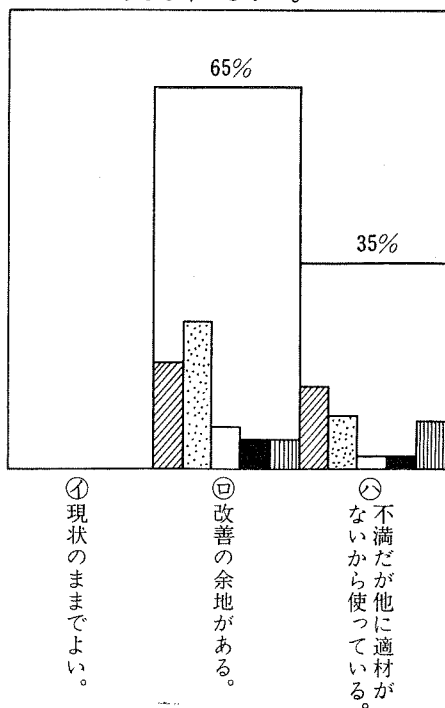
三晃金属工業(株)住宅関連部

- 1 ㊥ (接着力に差あり)
- 2 ㊦, ㊨
- 3 (限定は不可能)
- 4 材料について=接着力あり経年変化に耐えるもの
施工について=延伸性良く美しく仕上げるもの

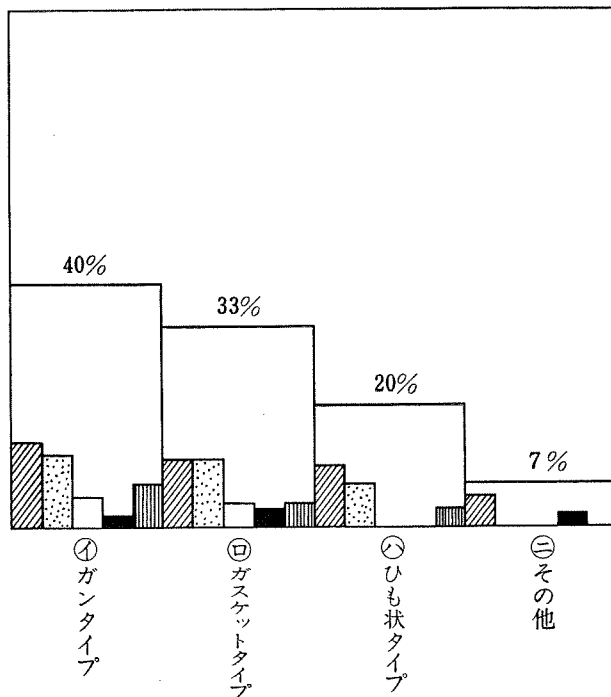
アンケート回答者内訳

業 者	%
カーテンウォール ガラス・サッシ業者	3 6
建設会社 (元請)	3 8
設 計 事 務 所	9
官 公 庁 関 係	8
そ の 他	9

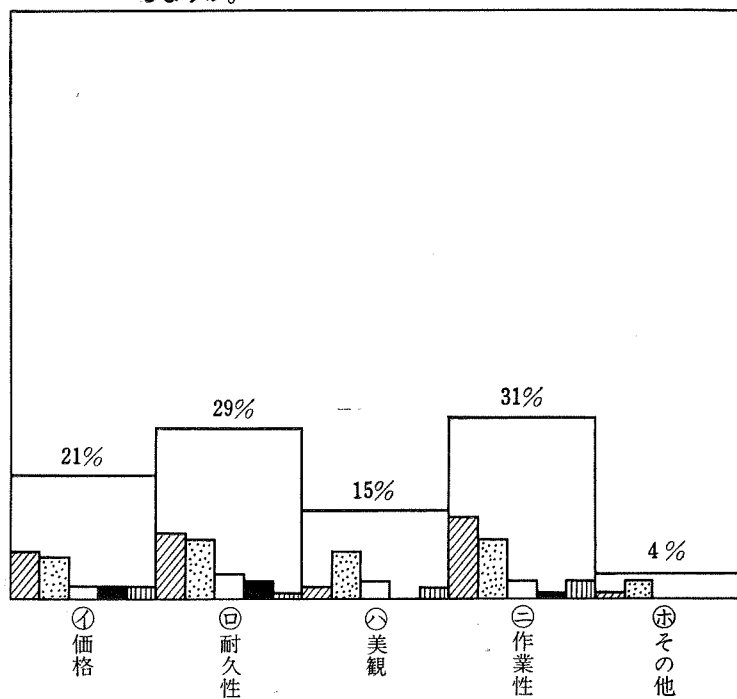
〔1〕あなたは現在のシーリング材に満足していらっしゃいますか。



〔3〕次のシーリング材のうち、将来どれが望ましいとお考えですか。（一種類だけ）



〔2〕もし不満な点があるとなれば次のうち特にどれが該当しますか。



榎 並 邦 夫

愛知県庁建築部住宅建設課

- 1 ㊦
- 2 ㊤
- 3 ㊣
- 4 材料について＝耐候性をのばす
施工について＝人手の削減、施工方法の省力化

宮 田 一 実

(株)鴻池組技術研究所

- 1 ㊦
- 2 ㊣(若干上ってもよいが性能の良いもの)
- 3 ㊣
- 4 材料について＝P C版工法において、コンクリート部材への定着性が良く、指触に支障のないもの。
施工について＝内部空気膨脹によるふくれ上りの対策が望まれる。

吉 沢 千 吉

足利市役所土木部建築課

- 1 ㊤(耐久力、粘着力持続性)
- 2 ㊤
- 3 ㊦
- 4 材料について＝接着性の良好なること、耐候性のすぐれていること。
施工について＝施工容易なこと、将来の補修がしやすいこと。

市 田 高

鹿島建設(株)森永 J V 作業所

- 1 ㊤(耐候性)
- 2 ㊣, ㊤
- 3 ㊤
- 4 材料について＝カーテンウォール(特に金属製)熱膨脹に追従できるもの。
施工について＝ガラス廻りについては、改めて外部に廻らなくてすむ方法

吉 川 清 二

日軽アルミ(株)工事課

- 1 ㊤(ミキシング気泡等の問題が残されているため、1液性が良いと思う)
- 2 ㊣, ㊤, ㊦
- 3 ㊣
- 4 材料について＝1液性にして、ミキシングのバラつき、気泡を無くし、施工職人の誰が打っても同一になるような材料。
施工について＝プライマー等の現場、施工管理を良くすること。

中 村 公 一

足利市役所土木部建築課

- 1 ㊤(法規に適合し、かつ格安のものが無い), ㊦
- 2 ㊣, ㊦
- 3 ㊦(最少限度7年位、品質規格に変更ないもの)
- 4 材料について＝美観を失わずに部分補修の可能なもの(ただし補修の際、素人でも取付出来るものが望ましい)

安 田 高 之

岐建設計事務所管理部設計課課長

- 1 ㊦
- 2 ㊣, ㊤, ㊦, ㊦
- 3 ㊤
- 4 材料について＝構造的にもある程度安心出来るもの、美観的にも良いもの。
施工について＝施工精度が良く、かつ施工技術者による施工ムラの少ないこと。

川 口 修

(株)日建設計東京事務所工務部

- 1 ㊤(作業性、よごれ易い)
- 2 ㊦, ㊦
- 3 ㊣
- 4 材料について＝現在出廻っているシーリング材で耐久性は充分と思うが公害によるよごれが最近特にひどい、変色しないようなもの、よごれ難いものが欲

- | | | |
|--------------------------------|----------|-----------------------------------|
| 1. あなたは現在のシーリング材に満足していらっしゃいますか | イ 価格 | ロ ガスケットタイプ |
| イ 現状のままでよい | ロ 耐久性 | ハ ひも状タイプ |
| ロ 改善の余地がある | ハ 美観 | ニ その他() |
| (理由) | ニ 作業性 | |
| ハ 不満だが他に適材がないから使っている | ホ その他() | 4. 今後どういうシーリングを望みますか。具体的におねがいします。 |
- 【質 問】**
- | | | |
|---------------------------------|--|----------|
| 2. もし不満な点があるとすれば次のうち特にどれに該当しますか | 3. 次のシーリング材のうち、将来はどれを望ましいと思いですか(1種類だけ) | イ 材料について |
| | イ ガンタイプ | ロ 施工について |

しい。

施工について＝PR不足のため地方で施工させるのに骨が折れる。あまり地方にまでその良さが知られていない。

高 橋 正 男

松田平田坂本設計事務所仕様積算部長

- 1 ㊥(耐候性に疑問がある)
 - 2 ㊥
 - 3 ㊥
 - 4 材料について＝施工箇所のシーリング材が取付く材料種類にキメ細かく対応した豊富な種類の材料を用意し、耐候性を向上させたい。
- 施工について＝良い結果が得られないシーリング材の使用方法(断面大きさ等)について啓蒙されたい

田 辺 登

㈱竹中工務店名古屋支店工事部技術課

- 1 ㊥(多目的用途プライマーの開発)
 - 3 ㊥(理想的には)
 - 4 材料について＝一液型シーリング材が好ましい。特に品質確保の点で実施工面において有利。
- 施工について＝今後ますます需要増加が見込まれるが技能工の養成，レベルアップを図られることを可急的に望みたい。

青 木 秀 男

㈱山田商店大阪支店建築硝子課

- 1 ㊥(一液性のコーキングが望ましいが価格が割高となる)
 - 2 ㊥，㊥
 - 3 ㊥(カートリッジタイプ)
 - 4 材料について＝出来るだけ施工する時間を短縮する意味において現場でねり合わせる必要のないような材料にする必要がある。
- 施工について＝施工は現在でもそのままでよいと思うが補助材料の施工後の片付けを完全にしてほしい

津 田 光

三協アルミニウム工業㈱技術部技術課

- 1 ㊥
- 2 ㊥(現在ある材料の耐久性を把握し、施主、ユーザーに保障年限の明示できる状態にしなければならない)
- 3 ㊥
- 4 施工について＝責任施工のシステムが確立されつつあるが、下請の請負金額等の問題があり、完全なシールが行なわれないこともあるようだ。

朝比奈 和 郎

不二サッシ工業㈱ビルサッシ事業部技術部

- 1 ㊥(価格的に)
- 2 ㊥(40%ダウンを目標・材工)，㊥(±30%伸縮に耐えること、老化後)，㊥(一液性にして品質均一化を計る)
- 3 ㊥

- 4 材料について＝±30%伸縮に老化後も耐えること、
接着性の良いこと、硬化の早いこと（3日）
施工について＝一液にしてメーカー側で品質安定を
決めたい。現場混合は品質安定が守れない。

上 原 正 尾

不二サッシ販売(株)工事部

- 1 ㊦
- 2 ㊤, ㊦（施工上の品質と検査が出来ない）
- 3 ㊦（乾式タイプのものであって形状はひも状ガスケ
ット状、種々作れるものが望ましい）
- 4 材料について＝① 1液性で接着力の高い材料（プラ
イマー用）②硬化時間（タックフリー）が調節でき
るもの。
施工について＝①ガンやナイフを使用せず、施工が
できる簡単なもの②エアプレスターの発生皆無③作
業者教育として高度な熟練者を必要としない施工が
可能であること。

伊 藤 健

入江三宅設計事務所監理部

- 1 ㊤（耐久性について）
- 2 ㊤
- 3 ㊤
- 4 材料について＝色の違いで材質が下がらないよう、
たとえば白が弱い等。
施工について＝一口に施工性のよいもの、絶対に混
合比等の間違いのないもの。

平 林 義 雄

不二サッシ販売(株)ビルサッシ事業部開発部

- 1 ㊦
- 2 ㊤, ㊦
- 3 ㊤
- 4 材料について＝乾式が望ましい。湿式については一
液性が望ましい。
施工について＝例えばシリコンのように施工時点
での震動等に対して敏感でないものが望ましい。施
工者の信頼度を高揚されたい。

山 川 貞二郎

(株)山田商店東京支店営業部長

- 1 ㊤（漏水事故、接着力等）
- 2 ㊤, ㊦
- 3 ㊤
- 4 材料について＝抜群の耐久力とダレ等美観を失うこ
とのない優秀なもの
施工について＝専門職として最高の技術と安全

渡 辺 啓三郎

フジタ工業(株)技術開発センター材料研究室

- 1 ㊤（現場で自由に色合せができるように）
- 2 ㊦, ㊤
- 3 ㊦
- 4 材料について＝①一液性②現場で着色できるように
（外装材とマッチした色の配色ができるようにした
い）
施工について＝無足場施工のできるよう、内部から
またはゴンドラでひも状タイプをヘラで押えるだけ
でよいというもの。

児 玉 巖

日本エルミンサッシ(株)販売部工事課長

- 1 ㊦
- 2 ㊤
- 3 ㊤
- 4 材料について＝チオコールについていえば一液性が
望ましい。
施工について＝養生、手間、下地材、乾燥度簡便化
計りたい。色、種類の稀少をもっと多くしたい。

中 松 和 磨

淀川製鋼所市川工場ユニットバス課

- 1 ㊦
- 2 ㊤
- 3 ㊤
- 4 材料について＝ボイラーフード穴埋め材

佐藤 光男

積水ハウス(株)研究所

- 1 ㊤ (耐候性等)
- 2 ④ (シリコーン, チオコール等), ㊤ (特にガスケットタイプの耐候性), ㊦ (油性のもの), ㊥ (チオコール等)
- 3 ㊤
- 4 材料について=ガスケットタイプのもの(E.P.T 等)で20年以上の使用に耐え得るものが欲しい。
施工について=乾式で施工できるもの, シリコーンの如く一液性のもの

八月朔日 敏男

住友建設(株)プレハブ事業部

- 1 ㊦
- 2 ④, ㊤, ㊦
- 3 ㊦
- 4 材料について=初期粘度が高いため, モルタルのように成型がきまらない。粘度が低く成型し易くならないか。
施工について=職人の技術レベルが落ちてきた。材料使用量が少ない。

堀部 秀夫

スカイアルミニウム(株)開発部開発室

- 2 用途により異なるがイ, ロ, ハ, ニにいろいろな点で言えるかと思う。
- 3 ㊤
- 4 施工について=現場作業がしやすいもの。抽象的ではあるが雨仕舞の良いもの

西ウォータブルーフィング

コンサルタント(株)

- 1 ㊦
- 2 ㊤, ㊥
- 3 ④
- 4 材料について=油性コーキング材の性能向上, ウレタン・シーリング材の安定(2液型)、および1液型の商品化を望む, ポリサルファイドの性能向上と価

格の引下げ。

施工について=ラテックス・シーリング材の性能向上および表面塗装のできるように。

小西 義男

積水ハウス(株)研究所

- 1 ㊦
- 2 ㊤
- 3 ㊦
- 4 材料について=ウレタンに匹敵する耐候性の良い乾式工法に適する材料。
施工について=乾式

国友 重弘

日昌硝子工業(株)第2課

- 1 ㊦
- 2 ㊤
- 3 ㊤
- 4 材料について=耐久性10年以上, 完全硬化時間短縮
施工について=ポリサルファイド系にても一液性が望ましい。

谷 和夫

鴻池プレハブ工業(株)神戸工場長

- 1 ㊤ (コンクリートに浸透性のもの)
- 2 ④ (量的に多く使える価格) ㊤ (ポンプ等の圧送により簡単に早く美観的にも化粧しやすいもの)
- 3 ④
- 4 材料について=圧送できる軟度とし, 打設後表面が早く乾燥し, コンクリート内浸透し密着度の良いもの
施工について=圧送器を開発し, 施工性を良くし, 打設しながら仕上げまで出来るようにワンタッチ施工とする。

岩田 雄一

日本設計東京事務所

- 1 ㊤
- 2 ㊤, ㊥
- 3 ④

- 4 材料について＝1液性の如く混合作業等の手数の要しないもの。

施工について＝シーリングの工期を確保するPRをゼネコンに対し、する要あり。

君 島 文 之

岡田新一設計事務所

- 1 ㊥（すべての材料に対して性能を発揮できない）
- 2 ㊤，㊦
- 3 ㊣
- 4 施工について＝施工性，デザインよりは，ひも状タイプで止水性能のよい物がよい。

椎 野 潤

大成プレハブ(株)技術管理部管理指導室

- 1 ㊤
- 2 ㊣，㊤
- 3 ㊤
- 4 材料について＝含水量多い下地，レイタンスの多いPC板等によく付着し，安全なひも状またはガスケット型シーリング材。
施工について＝施工者の技能にあまり左右されないもので，多少の施工ミスやPC板の寸法誤差をカバーできるもの。

市 原 輝 男

森京介建築事務所監理部長

- 1 ㊤
- 2 ㊤（色あいを増やすこと）
- 3 ㊣
- 4 材料について＝チオコール系をもっと安価に提供すること。

福 富 秀 雄

ミサワホーム(株)

- 1 ㊤（作業性に左右される）
- 2 ㊦
- 3 ㊤
- 4 材料について＝シリコン系
施工について＝プライマーの廃止，湿度

味 方 宏 二

味方硝子店

- 1 ㊣
- 2 ㊣（現在の価格では高いと思う）㊤（メーカーでも耐久性（年数）を明示したらどうか）㊣（職人の腕により，良くも悪くもなる）㊦（むずかしすぎる）
- 3 ㊣
- 4 材料について＝上記の如く，施工について検討の余地があると思う。

仙 波 英 三

東京三洋電機(株)第1技術部

- 1 ㊣
- 2 ㊣，㊤，㊣，㊦
- 3 ㊣
- 4 材料について＝テープ状コーキング材

深 沢 明

竹中工務店東京支店工事部技術課長

- 1 ㊤（特に耐久性）
- 2 ㊤
- 3 ㊣
- 4 材料について＝ポリサルファイドシーラント，シリコンシーラント以上の性能を有する弾性シーラント
施工について＝ある程度下地の種類（被着体）を問わない，万能タイプのプライマーの出現を望む。

岡 村 定 行

(株)鈴木秀雄商店営業部板硝子課

- 1 ㊤（作業性が悪い）
- 2 ㊦
- 3 ㊤
- 4 材料について＝ネオプレンガasketに接着性ある材料を加えてテープ貼等の手間をはぶく方法がないか？
施工について＝作業性の悪さが人件費のUPとなり価格的に問題があるのではないか（将来）

完全 はありえるか！

実績が性能の良さを立証しています

二液性ポリサルファイドシーラント

チオコーク

JIS 規格品

二成分型ポリウレタンシーラント

**ABCコーキング
ウレタン**

油性シーラント

ABCコーキング

JIS 商品

■強力な接着力は、部材の気密性

水密性を完全に保持します。

■耐候、耐水性に優れ、常に安定

した気密性を保ちます。



(株)

**ABC 商
会**

本 社／東京都千代田区永田町2-12-14 ☎03(580)1411(大代)
支 社／大阪市東淀川区西中島町4-8-3 ☎06(303)1171(代表)
営業所／札幌・仙台・宇都宮・大宮・千葉・横浜・新潟・金沢・長野
名古屋・京都・神戸・水島・高松・広島・福岡・北九州

大 石 寺 正 本 堂

今世紀最大の宗教建築として注目されている日蓮正宗大石寺正本堂（静岡県富士宮市上条大石寺地内）が完成10月1日、来賓、信徒ら約6500人が集まり盛大に完工式が行なわれた。

正本堂は正本堂建設委員会（池田大作会長が委員長）が計画し設計監理を連合設計社（横山公男代表取締役）・青木繁研究室（構造担当）・桜井建築設備研究所（設備担当）が担当し共同企業体（大成、大林、鹿島、清水、竹中、戸田の六社）によって施工されたもの。建物は、法座、円融閣、思逸堂、妙壇の4つから成り延べ面積は35,155平方メートル、妙壇の最高高さ79.200メートル、とくに本尊のある妙壇は6,500名収容できる大オーディトリウムであり、半剛性吊屋根構造による正檜円形（長径110メートル・短径82.5メートル）の屋根は創価学会のシンボルである鶴を象徴しており、建物全体のポイントとなっている。

工事は43年10月12日着工され約4年の月日と450億円という巨費を投じ、設計と施工に近代建築の技術の粋を集めて建立されたわけで、宗教建築として世界一とされているバチカンのサン・ピエトロ大寺院をしのぐものといわれている。



〔二重防水〕

近代建築の技術的な最大ウィークポイントの一つは防水である。防水処理の不備は建物の寿命をいちじるしく低下させる。また水漏れは自然現象から人々を保護するという建築物の役割りを満足させないことになるが、現段階では材料的にも施工技術的にも100%の信頼を期待することは無理とされている。正本堂ではこの点を考慮して全面的に二重の防水層を採用し、さらに第一防水層と第二防水層の間に作業のための空間を設け点検、修理が随時可能な構造となっている。

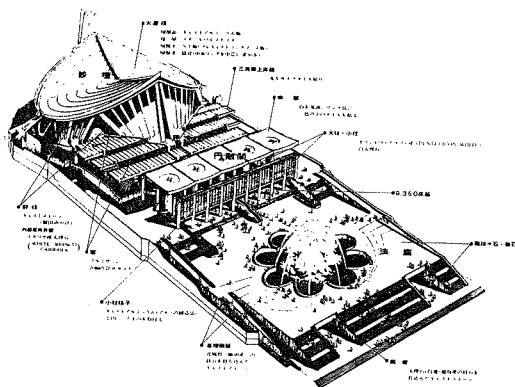
第一防水層に欠陥が生じた場合は第二防水層が漏水を防止し、その間に第一防水層の修理を行なうことができる。たとえば、一つの層の漏水危険率を100分の1とすれば2つの層によりその危険率は10,000分の1に低下する計算となる。

〔シーリング関係〕

正本堂のシーリング工事にはマサル工業、日本添加剤工業、エービーシー商会、信越化学の4社、また防水工事には奥山化工業、鐘紡合成化学、三柏商会、ケルビン、小野田ユニロン（現小野田建材）の5社が参加した。

このうちシーリング工事は46年11月から47年9月30日まで11か月間、材料使用数量約30トン、延目地メートルにして約14万メートルという龐大な数量にのぼった。

工期中は雨量が多く、47年1月から10月までの降雨日



大石寺正本堂詳細図

数は40日にもなり、7月の如きは半分が雨天という悪条件であった。加えて富士山麓という名だたる気まぐれ気候のため朝夕と日中の温度差がきわ立って激しく、屋根（アルキャスト）工事に難渋した。技術的にも苛酷といえるまでの要求が多く、披着材より面を10mm下げて打設（円融閣大柱、小柱）したり、仕上げ面の美観上からシーリング材打設後、面をハケでならしたり（妙壇群柱）、シーリング材もまたエピソードにこと欠かなかった。なお、関係各社の施工データは次のとおり。

工 事 概 要

名 称：正本堂建立工事

建設地：静岡県富士宮市上条（日蓮正宗総本山大石寺）

建築主：正本堂建設委員会

設計・監理：横山公男（連合設計社）

協 力：構造設計担当＝青木繁研究室，構造設計指導＝東京大学名誉教授坪井善勝，耐震計画＝日本大学教授田治見宏，耐風計画＝東京大学教授谷一郎，基礎計画＝法政大学教授山門明雄，設備設計担当＝桜井建築設備研究所，設備設計指導＝東京大学教授勝田高司，材料施工指導＝早稲田大学教授田村恭

施 工：正本堂建立共同企業体＝大成建設(株)、(株)大林組、鹿島建設(株)、清水建設(株)、(株)竹中工務店、戸田建設(株)、作業所長・前川良三（大成建設）

工 期：発願式（昭和42年10月2日）起工・着工大法要（昭和43年10月12日）、定礎式（昭和44年10月12日）、躯体完成式（昭和46年10月12日）、完工式（昭和47年10月1日）

面 積：敷地面積137,120平方メートル，構造面積39,368平方メートル，延床面積35,155平方メートル

高 さ：法廷7,700メートル，円融閣40.150メートル，思逸堂32.175メートル，妙壇（前面広場から塔頂部まで79.002メートル）（内陣床面より塔頂部まで6,600メートル）

構 造：妙壇一基部・鉄筋コンクリート造独立基礎，軸部・鉄骨鉄筋コンクリート造立体三角錐トラスとの組合せ，屋根・鉄骨造半剛性吊屋根構造正檜円形平面（直径110メートル，短径825メートル）

思逸堂：基礎・鉄筋コンクリート造ベタ（耐圧版）基礎軸部・鉄筋コンクリート造，屋根・P Cコンクリート梁の並列構成

円融閣：基礎・鉄筋コンクリート造ベタ基礎，軸部・前同，屋根・鉄骨鉄筋コンクリート造倒立円錐シェル構造

法 庭：基礎・鉄筋コンクリート造独立基礎，軸部・鉄筋コンクリート造一部P C梁構造

資 材：鉄筋13,643トン，鉄骨9,795トン，コンクリート量118,476立方メートル

〔シーリング関係データ〕

エービーシー商会関係

使用材料＝チオコーク夏用（グレー）

施工箇所＝ショックベトン目地お

よび笠石との取合

材料使用量＝2.8トン

施工延m数＝22,000m

工期＝47年7月15日～9月30日

マサル工業関係

使用材料＝ウェザーバン（黒，灰）

施工箇所＝妙壇屋根（アルキャスト目地），新総門キャスト屋根，妙壇群柱（柱廻り，御影石取合）

大架構思逸堂退出路

（ガラス廻り），円融閣

傘下キャスト，モルタルキャスト取合

材料使用量＝20トン

施工延m数＝75,000m

工期＝46年11月～47年8月30日

日本添加剤関係

使用材料＝ファインシーラー#300（黒，グレー）

施工箇所＝円融閣大柱，小柱，法廷，思逸堂屋根

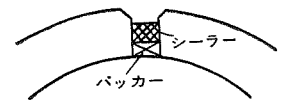
延施工m数＝35,000m

（大柱目

地巾15×

10mm）

工期＝47年5月～10月



ファインシーラー目地断面

信越化学関係

使用材料＝シリコンシーラントKE42RTV（半透明色）

施工＝マサル工業

施工箇所＝正面ガラススクリーン

廻り。被着体取り合わせ（アルミサッシ+ガ

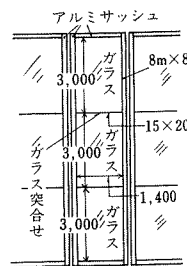
ラス）8×8mm，ガラス

+ガラス+5×20mm，

その他大理石廻り

材料使用量＝500kg

工期＝47年6月（延人工約1,000）



ヤクルト本社ビル

ヤクルト本社ビルは、新橋駅近くの京浜1号道路に面した約400坪の敷地に、高層部を本社機能を持つオフィス部分として、低層部を約600人収容のビデオホール、エクゼビジョンホールなどとして、高層部を串差した型で計画された。

近年、躍進著しい保健飲料ヤクルトの新しい健康産業としての企業イメージを表現するために、高層部のデザインはメタリックでクールな質感を与えることを意図し、また事務室効率を高めるために、スリーサイドカーテンウォールとして光と熱をコントロールする必要上、ハーフミラーの複層ガラスをデザインの重要な構成要素として用いた。プレイの熱線吸収ガラスと、ハーフミラーの複層ガラス（アメリカPPG製）の採用により、遮熱を高める機能と防眩効果が高く、落ちついた均一な光線を得ることができた。この複層熱線反射ガラスの性能は、反射率48%、透過率16%である。また空調負荷の軽減についても十分有効に働くものと思われる。

低層部の外装は長尺コンクリートブロック（W1,800×L13,000ミリ）ボンタイル仕上げとして、その上に北側でも育つ（正面が北面のため）常緑のイングリッシュアイビーを植込んでいる。一階ピロティの噴水と合わせてハーフミラーの光は健康産業ヤクルトのイメージアップと共に、都市にささやかな憩を与えることと思われる。

オフィスタワー・コアの回りは内部にエレベーター、階段、設備シャフトを内蔵するためアルミパネルとし（大きさはガラスカーテンウォールと同じ）付近の工場からの亜硫酸ガスによる浸蝕、色むら、ペコつき防止のためエポキシ樹脂焼付の粗面仕上がりとした。

一階展示室の壁、床は白色大理石で統一、天井はアルキャストパネル（1,600×1,600ミリ）白色ジュラクロン仕上げとしモジュールごとに展示用ボールが取り付け可能となっている。照明はハロゲンランプを使用、1,000ルクスの照明を確保している。

建 築 概 要

施主：株式会社ヤクルト本社

設計監理：圓堂建築設計事務所

施工：戸田建設株式会社

工事場所：東京都港区東新橋1の1

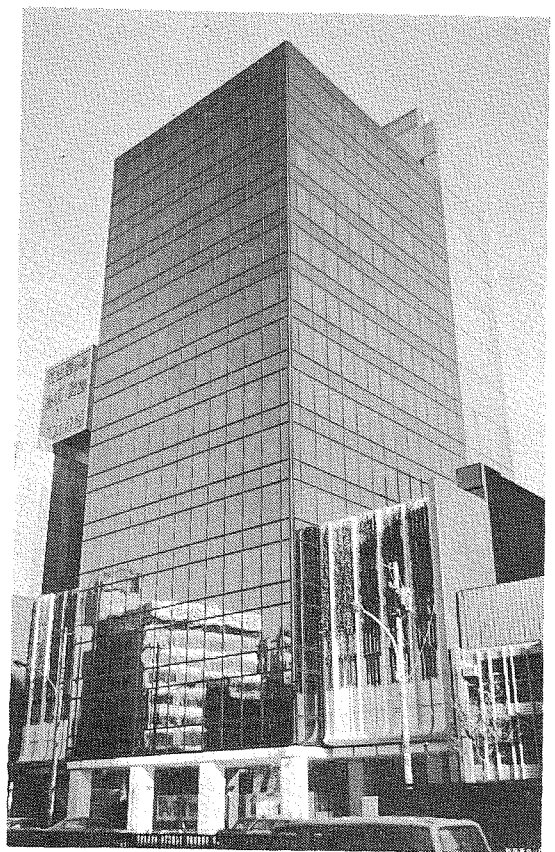
工期：昭和45年12月～昭和47年9月

面積：敷地面積＝1,309.80㎡・建築面積＝1,161.70㎡・

延床面積＝11,281.73㎡

構造：基礎～地下2階／鉄筋コンクリート造り

地下2階～1階／鉄骨鉄筋コンクリート造り



2階以上／柱＝鉄骨鉄筋コンクリート造り

梁＝鉄骨造り

規模：地下2階、最梁部深さ＝12.8m

地上14階、軒高55.9m

塔上2階、最高部高さ＝63.3m

（外装仕上）

高層部外壁＝PPGガラスカーテンウォールおよびアルミカーテンウォール

低層部外壁＝PC版イングリッシュアイビースチールパネル・サスペンドガラススクリーン

シーリング工事

使用材料：(株)日興社製「ニッシール」B.T.—L.A.—
G.T.5トン

施工箇所：アルミサッシおよびガラス目地

施工メートル数：30,000m

施工会社：株式会社日興社

総稼動人数：720人

工期：昭和46年12月～昭和47年10月

森 永 プ ラ ザ ビ ル

森永プラザビルディングは田町駅周辺再開発の拠点と成り得る事を目的として

- (1) 鉄道と第一京浜という大動脈によってはさまれ、後背地が分断され孤立状態にある当地区の発展のため、第一京浜を跨ぐ、大遊歩道の建設。
- (2) 大量交通機関からの乗降客をプール出来る駅前広場の確保とのため、高層化によって有効空地を求め、1～2 Fに公共広場を建設。

以上、建設省、国鉄、都、港区等官公庁の承認のもとで計画された当ビルは、ビル計画の域を脱し、すでに田町駅周辺一帯の再開発の一大拠点となりつつある。

南北の妻側は、白色のPC版カーテンウォールをはさんで立上り、清廉なビルの感じが企業イメージを浮出させている。

ビルの設計に当っては、種々の工夫がなされているが、防災設備のひとつとして、外周の柱型を利用した排煙塔が他のビルにみられない特長である。

建 築 概 要

建物名称：森永プラザビルディング

用 途：公共広場、公共駐車場、店舗、事務所

所 在 地：東京都港区芝5丁目33番1号（芝5丁目特定街区）

設計施工：鹿島建設株式会社、大成建設株式会社

敷地面積：6,245.43 m^2

建築面積：3,172.63 m^2

延床面積：40,367.97 m^2

階 数：地上24階、地下2階

高 さ：地上GL+89m025

構 造 概 要

基 礎：GL-14m、鉄筋コンクリート造

軀 体：基礎～B1F＝鉄骨鉄筋コンクリート造

1F～24F＝スリット耐力壁を有した鉄骨ラーメン構造

周辺低層部＝鉄筋コンクリート造

外 壁：AQタイル塗装プレキャストコンクリート版カーテンウォール

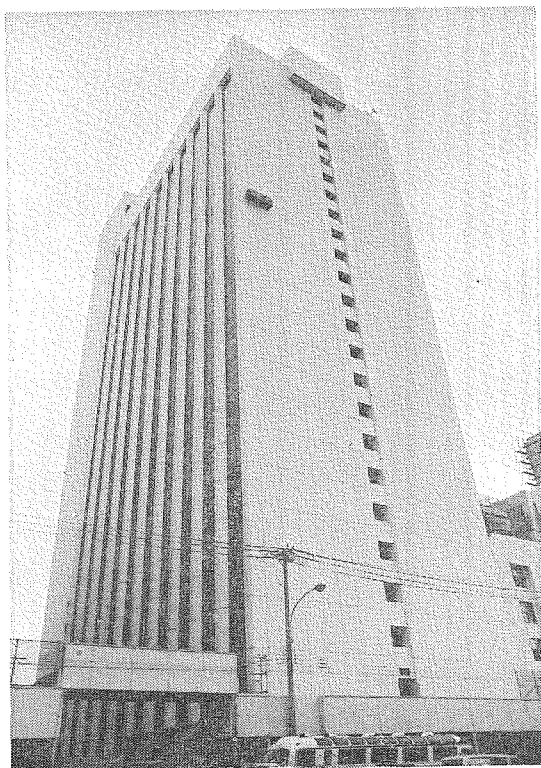
AQタイル塗装プレキャストコンクリート柱型及びアルミデュラクロン仕上カーテンウォール

PC工事 黒沢建設(株)

アルミカーテンウォール工事 日軽アルミ(株)

硝子工事 田代硝子工業(株)・中央硝子工事(株)

(株)鈴木秀雄商店



〔シーリング工事〕

使用材料：日本添加剤工業(株)製「ファインシーラー #300」及「ファインシーラー #200」

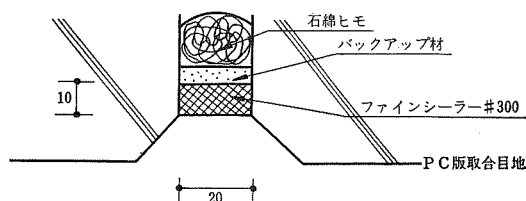
施工会社：日本添加剤工業(株)

施工箇所：PC版取合目地及PC版とアルミカーテンウォール取合目地(20×10、25×13約15,000 m^2)
ガラス廻り目地(5×5～19×5 約20,000 m^2)
その他アルミ方立等ジョイント目地

以上「ファインシーラー #300」充填
スモークタワー、ALC取合目地及びスモークタワーPC版と石綿ボード取合目地(10×15 約6,000 m^2)

以上「ファインシーラー #200」充填

工 期：47年6月～48年1月



銀座三井ビル

国際都市・東京——その中心地ともいべき銀座8丁目に、ホテルと銀行がみごとに調和した「銀座三井ビル」が完成した。“デベロッパー”三井不動産（江戸英雄社長）の新しいビル管理業務における今日的な1つの形態として“複合リース”をどこまでも追求したユニークな作品である。設計は松田平田坂本設計事務所、施工を鹿島建設と三井建設の共同企業体が担当したが、まれにみる作品への挑戦でもあるだけに、ホテル側は第1ホテル、銀行側は三井銀行それぞれが企画当初から参画した。地上15階、高さ67メ

ートル、白を基調にしたながらその端麗な容姿は、浜離宮、東京湾を背景に、あたかも白鷺が舞いおりたかのよう。

建物の外装に大型のプレキャストコンクリートのパネルにエルミンサッシュを打ち込んだものがある。輸送上の極限に近

い超大型パネル(6330×2800)は鉄骨建方の工程に並行して取り付けられて、パネルを柱の型枠の1部としてコンクリートを打った。85ホンを及ぶ昭和通りの騒音の遮断は大きな命題であったが、結果的には成功した。パネルの外側はポンタイル工場仕上げ、室内側はプレコン型枠のベッドサイドとして打ち込まれているために、仕上げが塗装だけで済ませられるという極端な経済設計である。

建 築 概 要

施 主：三井不動産株式会社

設計管理：松田平田坂本設計事務所

施 工：鹿島建設株式会社、三井建設株式会社

工事場所：東京都中央区銀座8の22の1

工 期：着工45年7月17日—完工47年2月29日

面 積：整地面積=4,057 m^2

建築面積=3,023.6 m^2

延床面積=38,099.3 m^2

構 造：SRC造地下2階地上14階・塔屋3階

規 模：軒高GLプラス45m、最高の高さGLプラス60m、深さGLマイナス14.0m

基 礎：ベタ基礎

外 装：コンクリート打出しの上ポンタイル吹付仕上げ、客室階・PC版ポンタイル吹付仕上げ客室階・エルミサッシュ、屋根・アスファルト防水シンダーコンクリート打仕上げ1部露出防水

内装：客室部分・床コンクリートモノリシック仕上げジュタン敷き、壁コンクリート打出しの上MP仕上げ、壁、客室間仕切り・K-LD-209MP仕上げ、天井・コンクリート打出しの上ビル石吹付仕上げ、幅木・ビニール幅木



客 室 数：815室

駐車台数・230台

シーリング工事

使用材料：住友スリーエム(株)製「ウエザーバン」黒色

施工会社：ウエザーシール工業(株)

施工箇所：PC目地(20×10, 15×10 mm)=2,988m, 打ち放し目地(20×5 mm)=2,940mエルミンサッシュ回り(10×10, 15×10, 30×10, 25×10, 20×10 mm)=5,235m, 不二サッシュ関係(15×10, 25×10, 10×10 mm)=1,057m, ガラス回り(5×5 mm)=3,598m, その他エクspansion, PC, RF, 塔屋ダクト回り)=931m

総延m数：16,749m

工 期：46年11月～47年4月

大 阪 大 林 ビ ル

大阪初の超高層ビルとしては浪速の注目を集める「大阪大林ビル」は、大林組が創立80周年記念事業として、昨年1月本格着工以来、同社の伝統と持てる技術をフルに活用、快調に工事は進み、さる7月待望の上棟式をあげ、工事はいよいよ後半戦に突入した。地上32階、地下3階、高さ120メートルにおよぶこの超高層ビルは、西日本の本格的な超高層ビル時代に先鞭をつけたものであり、しかも今後の超高層ビル受注へのアプローチ的役割りを果すものである。東区京橋の天神橋橋畔・現大林組本店ビル前の立地環境を最大限に生かし、都市機能に適応した市街地づくりに寄与することを基調に計画され、設計、施工両面にわたって実践の場で様々な研究、テストを積み重ね、同社独自の画期的な技術を生み出し、都市の再開発ならびにわが国建築技術の向上に大きく貢献することになる。

建 築 概 要

設計・施工：株式会社大林組

工事場所：大阪市東区京橋3の37

面積：敷地面積＝4,995.36平方メートル

建築面積＝1,368.82平方メートル、建ぺい率 27.38%

基準階床面積＝1,328.14平方メートル

延べ床面積＝50,292.64平方メートル、

容積率 853.8%（駐車場部分を除く）

規模：階数＝地上32階、地下3階

高さ＝地上GLプラス120メートル、軒高GLプラス111.4メートル、地下GLマイナス13.8メートル

構造：地上部分・鉄骨造、地下部分・鉄骨鉄筋コンクリート造

基礎・GLマイナス14メートル大阪層群上部砂層にベタ基礎で支持

使用区分：29階・30階＝レストラン、宴会場、会議室

2階～28階＝事務室（15、16階は設備機械室）

1階＝玄関ホール。地下一階＝食堂、駐車場、



貸店舗。地下二階・三階＝駐車場、設備機械室、倉庫。駐車台数＝150台。

工期：昭和45年12月～昭和48年3月予定

シ ー リ ン グ 工 事

使用材料：住友スリーエム(株)製「ウエザーバンシーラー」黒色

施工箇所：PC板目地、PC板サッシ取合、ガラス廻り
使用量：約15t

施工会社：昌光産業株式会社

シール工期：昭和47年3月～12月

PC板：(株)ショックベトン・ジャパン

サッシ：不二サッシ工業(株)、ダイケンサッシ(株)

硝子業者：(株)柏商会、堀江興業(株)

大 阪 国 際 ビ ル

西日本の本格的な超高層時代の幕開けをつげる大阪国際ビルは、船場地区再開発計画の一環として、大阪市1990年構想にそってユニチカビルディング（ユニチカと竹中工務店の折半出資により設立）が、総工費72億円を投入、45年12月から竹中工務店の設計施工により建設中のもので、青い空、緑の広場、白いオフィスのキャッチフレーズを持つ超高層——高さ120メートル（地下3階、地上32階）延べ65,029平方メートル——のオフィスビル。着工以来1年9カ月の昨年9月に定礎式を完了、今年早々に竣工されるというスピードで工事が進められている。

わが国初の全電力による空調システム・TACNES-HRで“煙突のない無公害ビル”をめざすとともに、大阪市がさる39年から展開している街に緑を——の運動に呼応して、敷地の70%にあたる1階屋上約3000平方メートルに40種の樹木を植え込み、緑はおろか歩道さえ満足にない船場地区に都会人のオアシスをつくるなど、快適なまわづくりに寄与する。なおこのビルのシーリング工事は、場内シールと現場シールのユニットによって行われた。

建 築 概 要

所在地：大阪市東区本町2-26-1

設計・施工：株式会社竹中工務店

敷地面積：6,492.33平方メートル

建築面積：594.72平方メートル

規模：階数＝地下3階、地上32階、塔屋2階

構造：鉄骨及び鉄筋鉄骨コンクリート耐火被覆造
高層部・外装＝白色アルミカーテンウォール（Vクロマ）

サッシ＝不二サッシ工業、日軽アルミ工業、昭和鋼機、日本建鉄

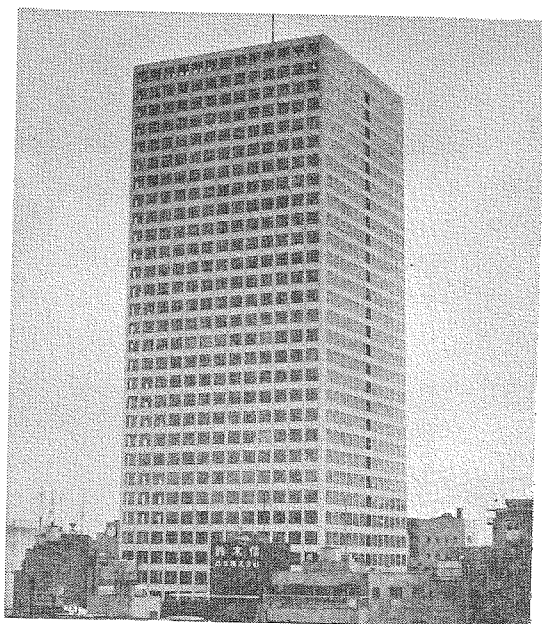
低層部・特殊タイル貼・熱線吸収ガラス

工期：自45年12月25日～48年1月末

シーリング工事

使用材料：横浜ゴム製ポリサルファイド系シーラント

「ハマタイト」SC500, HT-2



A L C 版内装・間

仕切目地：日東ボ

リマー

工業製

アクリ

ルエマ

ルジョ

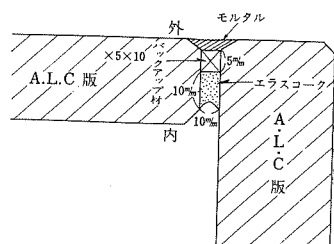
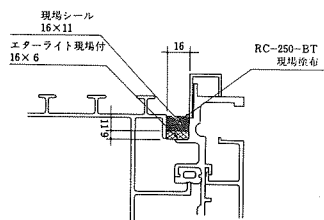
ンシー

ラント

「エラ

スコ

ク」



使用量：15トン

施工箇所：①VクロマーVクロマー目地②Vクロマーレンクロメイト③アルミ——アルミ目地④シーラント同志目地

総延m数：ハマタイト約80,000メートル、エラスコーク約3,000メートル

工期：47年3月～4月

施工会社：マサル工業、ワールドシーラー、三松工業、高萩興業（以上場内施工分）日本化成（現場施工）

優れた性能, 使い易さが評判です。



アメリカ, ドイツ, イギリス, オランダ, イタリア, ブラジル等へ合成ゴム・ABS樹脂の製造技術を次々に輸出, 技術の優秀性を高く評価されている日本合成ゴムが, その優れた技術と豊富な経験により開発した, 価格が安く, 優れた性能を発揮する, 全く新しいSBR系シーリング材です。

日本住宅公団豊島5丁目団地に大巾採用されたのをはじめ, 多くの施工実績が示す様, 性能の優秀性は既に各方面より高い評価を得ています。

「油性コーキングの性能がもっと良ければ…」
「弾性シーラントがもっと安ければ…」という向きには十分満足いただけるシーリング材です。

PC板およびALC板

シーラント 330
シーラント 330W

サッシまわり・金属取合部

シーラント 350
シーラント 350W

作業性がよい

一液型のため油性コーキングと同じ方法で使用できます。合成ゴムラテックス系ですからガン操作がいたって容易にできます。

感温性が優れている

夏期でもスランプはなく冬期も加温の必要ありません。

硬化が速い

通常6～10日で回復性が出てきます。

伸縮性に富んでいる

弾性に富んでいるので硬化後目地の動きに追従します。

湿った箇所にも施工できる

合成ゴムラテックス系ですから下地の湿ったところでも施工できます。

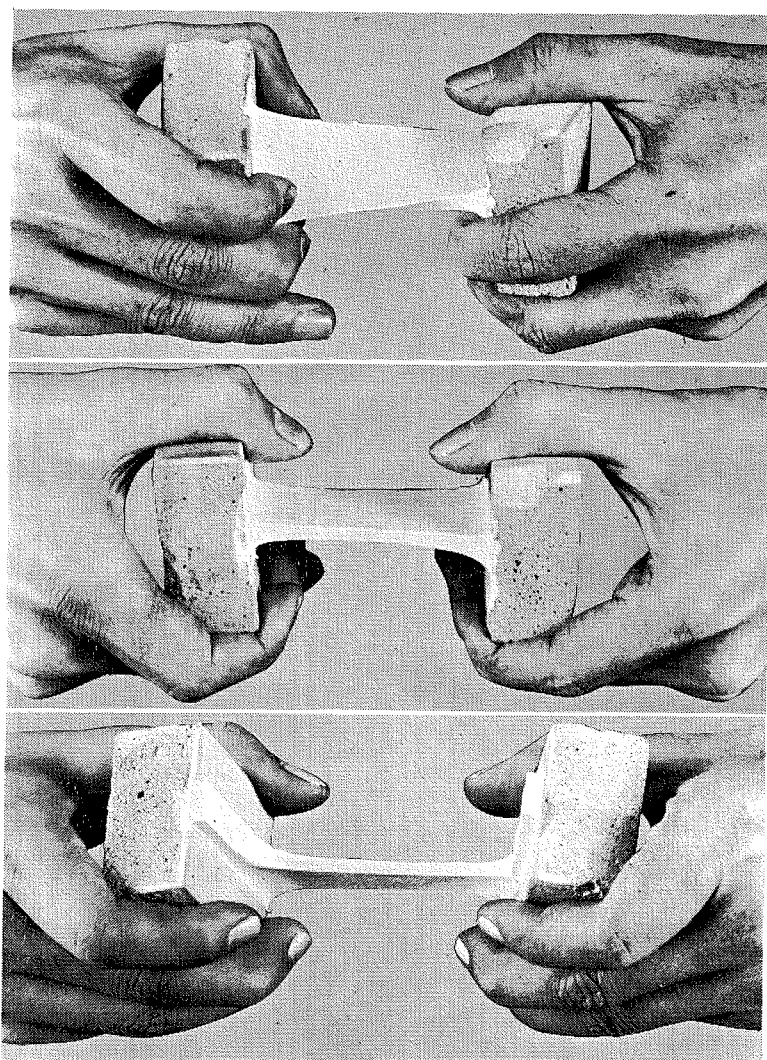
日本合成ゴム株式会社
JSR

日本合成ゴムでは次の材料も販売しています。

- ・セメント混入用ラテックス……JSR 0670(住宅公団指定材料)
- ・超高濃度アスファルトエマルジョン型防水材……JSR ハルコート
- ・タイル用接着剤……JSR ーボンド(住宅公団指定材料)

詳しい資料のご請求は本社・建材プロジェクトチームへ
本社/東京都中央区京橋1-1 TEL 563-5111
工場/四日市・千葉・鹿島

ねじって、
曲げて、
伸して



東芝シリコン建築用二液性シリコンシーラントは、弾性シーリング材に要求される接着性、耐候性、耐熱・耐寒性、そして被着体の伸縮に対する追従性の諸条件を具備した強力なシーリング材です。施工性がよく、コンクリート、モルタル、石材、ガラス、レンガ化粧タイル、木材、金属など、どんなものにも強力な接着力をもってあります。

無酢酸タイプですので、コンクリート、モルタル、金属などのジョイントシールに最適。特に、ALC板プレキャストコンクリートに最適です。また、他材料よりすぐれた低モジュラス性は、接着性、高引き裂き性にすぐれ、近代建築の一つの方向、プレハブ時代にピッタリのシーラントです。

二液性シリコンシーラント・TSE361RTV

建築用
東芝シリコン

東芝シリコン株式会社

本社営業所 東京都港区新橋3-9-19(東急交通ビル)TEL (03)503-5561 大阪 大阪市東淀川区27-11(センバビル)TEL (06)251-6272
仙台 TEL 0222-61-2341 福岡 TEL 092-76-4431 名古屋 TEL 052-221-7111 広島 TEL 0822-47-9311 金沢 TEL 0762-42-6206

4 節 シーリング工事 (原文)

8.4.1 総 則

a 適用範囲

本節は防水などを目的としてガンなどにより建築物の部材と部材との接合部分、その他シーリング材(油性コーキング材を含む)を充てんする工事に適用する。

b 用 語

本節で用いる用語をつぎのように定義する。

シーリング材	動きのある目地に充てんして水密性、気密性などの性能を付与するための不定形材料。
油性コーキング材	油を主成分とする隙間充てん材
一成分型	あらかじめ施工に供する状態に調製されているもの
二成分型	施工直前に2種の成分を調合混練して使用するもの
基 剤	2成分型のうち主成分を含んでいるもの
硬化 剤	2成分型のうち基剤と混合して硬化させるもの
可使時間	混練後シーリング施工が可能な時間
プライマー	被着体とシーリング材との付着性を良好にするために、あらかじめ被着体面に塗布する下地処理材料
バックアップ材	目地の形状を保持し、3面接着を防止してシーリング材に不利な応力が生じないようにするため、シーリング材の充てん前に目地底に挿入する成形材料
ポンドブレイカー	シーリング材を付着させない目的で被着体面に張りつけるテープ状材料
マスキングテープ	施工中充てん箇所以外の汚染防止と目地縁の線を通りよく仕上げるためのテープ
養生テープ	マスキングテープおよび施工後のシーリング材の損傷、汚染などを防止するための保護テープ

8.4.2 材料の保管

現場搬入後の材料および使い残りの材料は高温多湿の場所を避け、とくに直射日光や雨露のあたらず場所に密封して保管する。なおプライマーおよび溶剤については火気に注意する。

8.4.3 充てん箇所

シーリング材を施工する充てん箇所の状態は、下記を標準とする。

- a 指定の目地寸法になっていること。
- b 平たんで、そり、目違い、突起物、欠損などのないこと。
- c シーリング材の付着性を著しく阻害するおそれのある油分、塗料、さび、不純物 および ほこりなどが付着していないこと。

8.4.4 材料およびその調製

a 材 料

- (1) 油性コーキング材は J I S A5751 (建築用油性コーキング材) の規格に適合するもの。ポリサルファイドシーリング材は J I S A5754 (建築用ポリサルファイドシーリング材) の規格に適合するもの、およびシリコンシーリング材は J I S A5755 (建築用シリコンシーリング材) の規格に適合するものとし、その種類・色合いなどを指定する場合は特記による。
- (2) 上記 (1) 以外のシーリング材を指定する場合は特記による。
- (3) シーリング材の製造業者を指定する場合は特記による。

b シーリング材の調製

- (1) 一成分型シーリング材(油性コーキング材を含む)は開缶後内容物を観察し皮膜があればこれを取り除く。
- (2) 二成分型シーリング材の基剤および硬化剤は製造業者の指定する組合せによる。
- (3) 二成分型シーリング材は製造業者の定める配合比に従い、可使時間に見合った量を計量し十分混練する。
- (4) (1) もしくは (3) により調製されたシーリング材は気泡を混入しないように注意してガンにつめる。
- (5) カートリッジに封入されているシーリング材は内容物の硬化もしくは分離などの異常のないことを確認する。

- c プライマー
プライマーの材質はシーリング材の製造業者の指定するものとする。
- d バックアップ材およびボンドブレイカー
バックアップ材およびボンドブレイカーの材質および形状などは特記による。
- e 養生テープ
養生テープは係員の承認を受けたものとする。
- f 試験
試験を行なう場合の試験方法は特記による。

8.4.5 工 法

- a 施工業者を指定する必要がある場合は特記による。
- b 天 候
天候が工事に支障ありと認められる場合は工事を行なってはならない。
- c 施工方法
 - (1) 目地が深い場合、目地が貫通している場合 などにはバックアップ材を挿入し、目地が浅い場合は目地底にボンドブレイカーを張りつける。これらの作業はプライマーを塗布する前に行なう。ただし、油性コーキング材の場合は原則としてバックアップ材およびボンドブレイカーを省略する。
 - (2) プライマーは原則として塗布する。ただし被着体の種類により係員の承認を受けて省略することができる。
 - (3) 表面養生あるいは目地縁の線を通りよく仕上げるために マスキングテープ を貼る場合は係員の承認を受ける。
 - (4) 充てんはガンを使用するのを原則とする。目地の場合は、完全に充てんされるように加圧しながら施工する。充てん後へら押さえを行ない、表面を平滑に仕上げる。
 - (5) マスキングテープは施工後直ちに取り除き、テープあとを清掃する。充てん箇所以外にシーリング材が付着した場合は接着体をおかさないうちに溶剤ですみやかに清掃する。
 - (6) 異種のシーリング材は原則として接触を避けて使用する。

8.4.6 養 生

工事完了後は係員の指示に従い、ほこりの付着、損傷、汚染などのないよう養生する。

J I S 許可番号
A-5751 367197

J I S 表示許可工場
日本シーリング工業会々員

建築用コーキング材

サッシー

日 瀝

日瀝化学工業株式会社

代表取締役 池田 英一

本 社／東京都千代田区九段北4-3-29
TEL 東京 (265) 1511 (大代)

大阪支店／大阪市東淀川区西中島町3-142
TEL 大阪 (303) 0161 ~ 5

名古屋支店／名古屋市港区南11番町2-6
TEL 名古屋 (661) 8251 ~ 5

福岡支店／福岡県粕屋郡新宮町大字上の府1592
TEL 新宮 (2) 0961 ~ 2

4 節 シーリング工事 (解説)

8.4.1 総 則

a. 適用範囲

本節は、防水などを目的としてガンなどにより建築物の部材と部材との接合部分、その他にシーリング材（油性コーキング材を含む）を充てんする工事に適用する。

a. 適用範囲

本節を適用するシーリング材は、JISに制定されているコーキング材・ポリサルファイドシーリング材およびシリコンシーリング材の3種であるが、ウレタン、ブチル、アクリルなどJISに未制定のシーリング材も使用されているので、これらについては、特記によるようになっているが、解説でふれているものもあるので参考にされたい。

b. 用語

本節で用いる用語をつぎのように定義する。

シーリング材	動きのある目地に充てんして、水密性・気密性などの性能を付与するための不定形材料。
油性コーキング材	油を主成分とするすきま充てん材。
1 成分形	あらかじめ施工に供する状態に調製されているもの。
2 成分形	施工直前に2種の成分を調合混練して使用するもの。
基 剤	2成分形のうち主成分を含んでいるもの。
硬 化 剤	2成分形のうち基剤と混合して硬化させるもの。
可 使 時 間	混練後、シーリング施工が可能な時間。
プ ラ イ マー	被着体とシーリング材との付着性を良好にするために、あらかじめ被着体面に塗布する下地処理材料。
バックアップ材	目地の形状を保持し、3面接着を防止してシーリング材に不利な応力が生じないようにするため、シーリング材の充てん前に目地底にそう入する成形材料。
ボンドブレイカー	シーリング材を付着させない目的で被着体面に張り付けるテープ状材料。
マスキングテープ	施工中充てん箇所以外の汚染防止と目地縁の線を通りよく仕上げるためのテープ。
養生テープ	マスキングテープおよび施工後のシーリング材の損傷・汚染などを防止するための保護テープ。

b. 用語

コーキング (calking, caulking) とは、語源的には木造船の船体の継目に まいはだ (古ロープをほぐしたもの、ひのきやまきの内皮を砕き、柔らかい繊維としたもの) もしくはピッチ類を詰めて、防水性能を付与することをいう。転じて鋼鉄船においてリベット材のすきまをかしめて水密的にすることもいい、さらに、鉛やモルタルを充てんしてすきまに水密性を付与することということになった。油性コーキング材のコーキングは上記のような意味であり、すきまに充てんして水密性にする油をベースとする材料をいう。

コーキングという概念においては、やむをえずできるすきまを対象とし、その幅が変動することをとくに意識していないが、エキスパンションジョイントのように意図的に動きを計画した目地に充てんして水密性にすることをシーリングという。シーリング用の材料をシーリング材 (sealing compound) またはシーラント (sealant)、あるいは俗にシール材ともいうが、本節では外国規格で用いられている sealing compound の訳としてシーリング材の名称を採用した。同様の意味でJIS規格でもこの名称が採用されている。なお、現在用いられているシーリング材は、硬化後弾性体もしくは弾性体に近い性状になるため、弾性シーリング材という呼び名も用いられている。しかし、弾性体になることは必ずしもシーリング材に必要な条件ではなく、塑性に近い性状のものも使用される。シーリング材はコーキング材に比較してきびしい条件に耐えなければならないため、すぐれた性能が要求され、価格も当然高くなる。油性コーキング材もシーリングの目的に使用されることもあるが、性能的に劣ることもあって、従来どおりコーキング材の名称が適当と思われる。

8.4.2 材料の保管

現場搬入後の材料および使い残りの材料は高温多湿の場所を避け、とくに直射日光や雨露のあたらない場所に密封して保管する。なお、プライマーおよび溶剤については、火気に注意する。

油性コーキング材は貯蔵中に皮膜を形成する性質があるから、保管中のかんの気密性に注意が必要である。とくに、使い残りのものはかん内における空気との接触面積が大きくなり、皮膜形成が促進される。しかし、これを取除けば使用することができる。また、高温（50℃以上）中の保管は油性コーキング中の油分の分離を生じさせ、油性コーキング材の品質を低下させるから直射日光に直接さらされない箇所て保管しなければならない。

2成分形のポリサルファイドシーリング材は着色顔料の種類によって貯蔵安定性が異なり、一般にはその限度は1年以内であるが、カーボンブラックを顔料とした黒色のシーリング材は顔料の活性が強く、表面皮膜を形成しやすく、50℃以上の高温中で保管された場合は、かん内のシーリング材がすべて硬化を起こすことがある。この場合の貯蔵限度は6か月である。したがって、2成分形ポリサルファイドシーリング材は40℃以下の冷暗な場所で保管するようにしなければならない。また、硬化剤として過酸化鉛が多く用いられているので、保管中の湿気によって変質されやすく、その硬化剤としての効果が低減される。したがって、かんの密閉を十分にしなければならない。

1成分形のシリコーンシーリング材は、外気の湿気により硬化が進む性質のものであるから、一般に気密性のあるカートリッジに充てんされて市販されている。この貯蔵安定性は、JIS A5755では温度25℃以下、湿度50%以下で少なくとも6か月を限度としている。使い残しの場合は、ノズルの先端部分を十分に密閉して、低温・低湿のふんい気で保管し、できるだけ早く使いきる配慮が必要である。

上記の3種類についてはJISに制定されている材料であるが、その他の材料としてウレタンシーリング材・ブチルシーリング材・アクリルシーリング材などがある。これらについては前記の3種類に準じ、メーカーと協議のうえ適当な措置を講じる。

プライマーあるいは清掃に用いられる溶剤については、消防法令および危険物の規制に関する政令・規則にもとづき火気に注意して保管しなければならない。

8.4.3 充てん箇所

シーリング材を施工する充てん箇所の状態は、下記を標準とする。

- 指定の目地寸法になっていること。
- 平たんで、そり・目違い・突起物・欠損などのないこと。
- シーリング材の付着性を著しく阻害するおそれのある油分・塗料・さび・不純物およびほこりなどが付着していないこと。

a. 指定の目地寸法になっていること

指定の目地寸法とは、設計図書に記述されている標準目地寸法をいう。

なお、標準目地寸法は、下記の事項を考慮して詳細な検討を行なった結果をもとにして決定されなければならない。

- 設計者の意匠的感覚を生かすこと。
- ジョイントシール後の目地の動きに対してできるかぎりシール材の疲労が少ないような目地寸法にすること。

〔表 4.1〕

表 4.1 シーリング材の許容伸縮率*

シーリング材種類	長期許容伸縮率** (%)	長期許容せん断 ずれ率***(%)	備 考
ポリサルファイド系	±20	±20	実際は±40%で使用 していることが多い
シリコーン系	±20	±20	
ウレタン系	±10	±10	
アクリル系	±5	—	
ブチル系	±2	—	
油性系	±1	—	

〔注〕 * 許容伸縮率は市販品についての目安を示したものであるが、試験または製造業者との協議によって決定することが望ましい。

** 伸縮前の目地幅に対しての割合。

*** ずれ前の目地幅に対しての割合。

弾性シーリング材の場合3面接着とならないよう、またシーリング材の耐久性を低下させないような最小目地深さを確保するようにポリエチレン製などのバックアップ材を充てんすること。なお、バックアップ工事については、各シーリング材の工法の項で詳述する。

(3) シール施工が可能でなければならないが、性能上から考えて寸法をきめなければならない〔表 4.2〕。

(4) シール施工後、シーリング材がだれ 其他の変形を生じにくいような目地寸法であること。

表 4.2 目 地 寸 法* (単位: mm)

シーリング材種類	目 地 寸 法	
	最大幅×深さ	最小幅×深さ
ポリサルファイド系	20×10	5×5(3×5)**
シリコーン系	20×10	5×5(3×5)**
ウレタン系	20×10	5×7
アクリル系	20×10	5×7
ブチル系	15×10	5×7
油性系	20×15	10×10

〔注〕 * 目地寸法は目安を示したものであるが、試験または製造業者との協議によって決定することが望ましい。深さは最大幅または最小幅に対する推奨値である。

** () 内はグレイジングの場合の寸法を示す。

なお、標記の指定目地寸法には標準寸法からのばらつき量も記載しておくことが望ましく (1)~(4) の検討にあたっては常に最も不利と考えられる寸法で検討することが望ましい。

b. コンクリート下地の場合、欠け・ひび割れ、その他シールに支障のあると思われる現象のないことを確認する。上記の欠陥が生じている場合もしくはコンクリート表面にシール後空気をだき込むような気泡が存在する場合は、レジンモルタルなどで補修しておかなければならない。

c. シーリング材の付着性を著しく阻害するおそれのある被着体については、つぎの処置を行なう。

(1) コンクリートおよびモルタルの場合

コンクリート表面にレイタンス・油分・型わくはく離材、その他の汚染物が付着している場合には サンドペーパー・妒ぼうきなどで清掃すること。

(2) ALC板・石綿スレート・石材の場合

表面に付着している汚染物をウェスなどでていねいにふきとり、清掃すること。サンドペーパーでこするのは、表面に石綿繊維がほつれたり、粉末がでたりしてシールが不適当になる場合もあるので注意すべきであろう。

(3) メタルの場合

メタルの表面に油分その他の汚染物が付着している場合には サンドペーパー・トルオール・ノルマルヘキサンの有機溶剤を用いて清掃すること。ただし、シール面の近辺に有機系仕上材がある場合などは、その仕上材に悪い影響を生じさせないような有機溶剤を選定することが望ましい。

(4) 被着体表面に仕上材が存在する場合

被着体表面の仕上材とシール材とが付着しにくい組合せの場合は除去することが必要である。ただし、プライマーなどによって、シール材の付着性を低下させないような手段でシールする場合には、このかぎりでない。

(5) 部材が下地と仕上材で構成されている場合は、図 4.1 のようにオーバーラップさせてシールすることが望ましい。

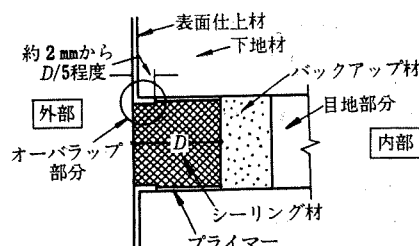


図 4.1

- (6) シーリング材の接着をよくするために、プライマーを塗ることが望ましい。とくに目地下地が異種材料で構成されている場合には、それぞれの面に適したプライマーを別々に塗布するよう心がける。とくに、目地間隔が狭くてプライマーの塗り分けができないときには、シーリング材の性能低下を考慮のうえ、各被着体に共通するプライマーを選択する。
- d. 施工時の被着体表面の条件については、つぎの点に注意しなければならない。
- (1) コンクリート下地の pH は 9 以下、含水率は 8% 以下を原則とするが、プライマーの使用により付着に支障のない場合は、このかぎりではない。
 - (2) 下地の表面に結露を生じやすい温湿度の条件でシール施工を行なうことは、原則として避けるべきである。
 - (3) 下地の温度がシール直前およびシール施工後 12 時間以内に 5℃ 以下および 50℃ 以上になるおそれのある場合はシール施工は避けるようにしたい。ただし、適当な保温 および 断熱が可能な処置をとることができる場合はシール可能である。
- e. 一般にシーリング工事の被着体の種類は、コンクリート・ALC・メタル・ガラス・木材・プラスチック などが多い。しかし、その表面に塗装・めっき・陽極酸化被膜・ほうろう 仕上げなどが 施工されている場合は、この仕上げが被着体となる〔表 4.3〕。

表 4.3 被着体の種類(その1)

被着体名	種 類
コンクリート・セメント製品	軽量コンクリート・普通コンクリート・現場打ちPC・ALC・石綿スレートなど
石 材	天然石
金 属	アルミニウムおよび合金・鋼・ステンレス・銅・銅および合金など
ガ ラ ス	—
木 材	—
プ ラ ス チ ッ ク	ポリエステル樹脂・塩化ビニル樹脂・アクリル樹脂など

表 4.3 被着体の種類(その2)

下 地 材	被 着 体
コンクリート(モルタル) A L C 石 綿 ス レ ー ト	アクリルエマルジョン塗装, 溶剤タイプのアクリル塗装, ウレタン塗装 セメント系吹付け材, アクリル酢ビ共重合吹付け材, タイル張り仕上げなど
アルミおよび合金	ほうろう, 陽極酸化, アクリル焼付け塗装, 溶剤タイプのアクリル塗装, ふっ素樹脂系塗装など
鋼	油性系さび止め装塗, アクリル焼付け塗装, 溶剤タイプのアクリル塗装 ほうろう・塩ビ鋼板・めっきなど
銅	溶剤タイプのアクリル塗装, 硫化いぶし仕上げなど

8.4.4 材料およびその調製

a. 材 料

- (1) 油性コーキング材は J I S A 5751 (建築用油性コーキング材) の規格に適合するもの、ポリサルファイドシーリング材は J I S A 5754 (建築用ポリサルファイドシーリング材) の規格に適合するもの、およびシリコーンシーリング材は J I S A 5755 (建築用シリコーンシーリング材) の規格に適合するものとし、その種類・色合いなどを指定する場合は特記による。
- (2) 上記 (1) 以外のシーリング材を指定する場合は、特記による。
- (3) シーリング材の製造業者を指定する場合は、特記による。

b. シーリング材の調製

- (1) 1成分形シーリング材（油性コーキング材を含む）は、開かん後内容物を観察し、皮膜があればこれを除く。
- (2) 2成分形シーリング材の基剤および硬化剤は、製造業者の指定する組合わせによる。
- (3) 2成分形シーリング材は製造業者の定める配合比に従い、可使時間に見合った量を計量し十分混練する。
- (4) (1)もしくは(3)により調製されたシーリング材は、気ほうを混入しないように注意してガンにつめる。
- (5) カートリッジに封入されているシーリング材は、内容物の硬化もしくは分離などの異常のないことを確認する。

c. プライマー

プライマーの材質は、シーリング材の製造業者の指定するものとする。

d. バックアップ材およびボンドブレイカー

バックアップ材およびボンドブレイカーの材質および形状などは、特記による。

e. 養生テープ

養生テープは、係員の承認をうけたものとする。

f. 試験

試験を行なう場合の試験方法は、特記による。

本文は、材料、調整、プライマー、バックアップ材、ボンドブレイカー、養生テープの項に分けて述べているが、ここでは、シーリング材の種類ごとに解説し、試験については一括して述べた。

a. 材料

(1) 油性コーキング材

- i) 油性コーキング材は、J I S A 5751 に規定された液状展色材（天然および合成の油脂または樹脂など）ならびに鉱物質充てん材（石綿・炭酸カルシウムなど）によりつくられたもので、れき（瀝）青系およびガラスパテなどは含まない。

J I S A 5751 の規格は15mmの目地幅でスランブ試験をしているが、一般の市販品は最大20mm程度の目地幅まで適用しうるものが多い。

一般に油性コーキング材は、ガンによって施工されることが多いが、ときには、ナイフ施工もある。作業性については、J I Sには「施工に適した作業性をもつ」と規定されているが、油性コーキング材のワーカビリティは温度の影響を受けやすいので、展色材の量を加減して使用時（季節）の条件に合わせている。すなわち、高温時には夏用、寒冷時には冬用と名づけて、特別に調整される場合がある。したがって、上記以外のものは一般用とみられるわけであるが、商品によっては、いずれか一方を兼ねるものもあり、J I Sでは施工温度範囲を明示することが義務づけられている。また施工断面の大小や、施工箇所の温度により、ややかためのもの（夏用）、またはやや柔らかめのもの（冬用）を使い分ける必要があり、これらの製品は季節に関係なく単に試験温度をそれぞれ $30 \pm 3^{\circ}\text{C}$ （夏用）、 $5 \pm 3^{\circ}\text{C}$ （冬用）に分けて試験し、便宜上、夏用・冬用と呼称して用いる。

いずれにもせよ、施工の作業が容易に行なえるものであって、さらに施工後品質に変化が生じにくいものが望ましく、金属などをおかしてはならないことはいうまでもない。

油性コーキング材の色についてはとくに J I S には規定していないが、一般には灰色がもっとも多く、ときとして周囲の色彩に合わせるなどのため、特定の色を指定されることがあるが、好みの色に合わせるためにかえて品質を阻害し、耐候性などを悪化させてはならない。

施工された表面に皮膜の形成しないコーキング材などもあるが、一般的でないので これらを使用する場合は特記による。

- ii) J I S A 5751 に規定する油性コーキング材は、一般的に標準状態（たとえば、外気温 $0 \sim 35^{\circ}\text{C}$ ）で標準断面（たとえば、目地幅 $10 \sim 15\text{mm}$ 、深さ 10mm 内外）の普遍的な被着体（たとえば、モルタル・ガラス・金属など）に施工するに適したもので、これら以外のたとえば酷寒時や、冷凍庫・ボイラー室などの特殊用途をはじめ、幅 20mm をこえる断面の大きな目地や、大理石・花こう岩などの特殊被着体に施工する場合は J I S の規格にとられることなく、これらに適合する特殊コーキング材を必要とする。これらを使用する場合は試験を行なって決定することが望ましい。

iii) 油性コーキング材の製造業者のうち、過半数のものは、JIS指定工場となっているので、JJS表示品であれば信頼がおけるが、それでもなおメーカーによりそれぞれ品質に特徴があるので、特定メーカーの製品を使用したい場合は、これを特記する。

iv) 油性コーキング材のプライマーは、被着体により必ずしも必要としないが、耐久性または耐水性などを向上させる意味でプライマーを使用することが望ましい。

とくに、被着体が多孔質（発泡コンクリート・モルタル・木材など）のものや、付着が悪いもの（プレキャストコンクリート板・石材など）は、必ずプライマーを塗布したあとで施工しなければならない。

一般にプライマーの種類や材質は油性コーキング材と相溶性がなければならないので、油性コーキング材のメーカーが指定するものを使用する。

v) 油性コーキング材の目地底は必ずモルタルなどの密封材で充てんするのが原則であるが、エキスパンションジョイントなどの場合適当なバックアップ材を必要とする。

これらバックアップ材は、材質としては合成樹脂などの通気性のない独立発泡体で半硬質のものが望ましく、施工後、収縮したり、油性コーキングにより変形したり、そりが起きるようなものは好ましくない。また、形状は丸形または角形で、目地幅より若干大きめのものを選んで使用することが必要である。これらは、いずれも特記により指定する。

vi) 擬石張り工事などで化粧面を汚染するおそれのある場合、マスキングテープで養生する。マスキングテープは油性コーキングおよびプライマーなどにより、テープの接着剤がおかされ下地材に付着して汚染する場合があるので、とくに係員の承認を得て使用するよう規定した。

(2) ポリサルファイドシーリング材

i) ポリサルファイドシーリング材は、JIS A 5754 の規格に適合するものであることを原則とする。

一般にポリサルファイドシーリング材は1成分形と2成分形とに分けられるがJJS A 5754では2成分形を対象に規定している。これはわが国では、一般に、建築用ポリサルファイドシーリング材は、大部分、2成分形が使用される現状にもついてものである。したがって、1成分形など特殊なシーリング材は、つぎの ii) 項で、特記により指定する。

シーリング材には夏用または冬用として特別に分かれているものがある。これは2成分形シーリング材の場合、基材と硬化剤を混合後の硬化速度が、温度の影響をうけやすいので、硬化速度を調整して使用時（季節）の条件に合わせて分けられているものである。すなわち、高温時には夏用、寒冷時には冬用と名づけて、特別に調整される場合がある。したがって、上記以外のものは一般用とみられる。JIS試験においては一般用に対して温度 $20 \pm 3^{\circ}\text{C}$ 、湿度 45～65% を標準状態としているが、夏用または冬用としているものについてはそれぞれ $30 \pm 3^{\circ}\text{C}$ 、または $5 \pm 2^{\circ}\text{C}$ と規定している。

ポリサルファイドシーリング材は基剤および硬化剤からなり、基剤は液状ポリサルファイド、充てん材などをおもな原料とし、硬化剤は金属酸化物などをおもな原料とし、それぞれよく練り混ぜて均質にしたものである。しかし、使用原料の種類・配合・色合いなどにより、性能に差があることが多いので、特定の種類・色合いは特記により指定することが一般的である。

とくに、ポリサルファイドシーリング材は、1次の化粧目地に使用されることが多い結果、色合いが重要視される傾向があるが、色合いにより、原料の種類・配合がかなり異なり、シーリング材の物理的性能に差があることがあるので、色合いはシーリング材の性能とともに、十分考慮してきめる必要がある。

ii) シーリング材は、用途・目的により、上記 i)、JJS A 5754 に必ずしも完全に合格しないシーリング材を必要とする場合があるが、この場合は、特記でその内容を指定するものとする。

JJSは、大部分の範囲の用途・目的に適用すべく制定されているので、JIS A 5754 の規定に大きくはズれるシーリング材が使用される場合はまずないと考えられるが、前述のように、JJS A 5754 は2成分形ポリサルファイドシーリング材を対象に制定されているので、1成分形シーリング材はJISの規定に完全に合格しないかもしれないし、また2成分形でも、一部の項目で、JIS規定に合格しないシーリング材が使用される可能性はある。たとえば、へらで充てん不可能な目地では、流動性が要求され、この場合、スランプの項目に合格しない場合がある。汚染性が問題とならない金属パネルなどでは、JIS試験では、モルタルの試験片を使うので、汚染性で不合格でも、使用されることが考えられる。また、充てんの動きが少ないときは、引張復元性で合格する必要は必ずしもない。

iii) JISに合格するシーリング材を製造する業者であれば信頼がおけるが、それでもなお、製造業者によりそ

れぞれ品質に特徴があるので、特定製造業者の製品を使用したい場合は、これを特記する。これは、JISでは、一般的な試験項目に限られて規定されているので個々の使用目的により、JIS適合品でもなお、追加試験項目を検討して、シーリング材の選定を行なう必要もある。

これらの追加試験項目により、製造業者による性能または特徴に差が出てくる場合が考えられるので、特記により、製造業者を指定することが望ましい。

- iv) 2成分形ポリサルファイドシーリング材は、基剤に対して、同一製造業者の指定する硬化剤を組合わせなければならない。これは、2成分形シーリング材の場合、製造業者により、それぞれ基剤は、硬化剤との組合わせを考えて配合されているからである。基剤に対する硬化剤の配合比率は各製造業者により定められており、また基剤と硬化剤のロット番号まで、指定している場合もあるので、これらを正確に守らなければ所期の性能が得られない。

なぜならば、硬化剤の配合比率が変わると、同一種類の基材と硬化剤の組合わせでも、硬化速度・最終的物性が著しく変わることがある。また、製造業者により夏用・冬用と特別に分けて製造している場合には、基剤と硬化剤をロット番号などで区別している。あやまって、夏季に冬用の硬化剤を使った場合、硬化速度や最終的物性が著しく変わることがある。たとえば、夏用または冬用の区別は守られても、所定の性能は特定ロットの基剤に対し、特定ロットの硬化剤を混合したときに得られるので、同一業者の指定する組合わせは絶対守らなければならない。

- v) シーリング材の混練は、直射日光・雨露を避け、ごみ・ほこりの少ないところを選び、手練りまたは機械練りとする。

手練りの場合は平板の上で気ほうのはいらないように注意し、均一になるまで10分内外十分に混練する。

機械練りの場合は、なるべく発熱の少ないように回転のおそい機械を用い、5～6分間均一になるまで、混練する。

回転の早いかくはん機を使用すると、混合による発熱により硬化を早め、可使時間が短くなるので好ましくない。

- vi) ポリサルファイドシーリング材の場合、接着性を向上させるために、原則としてプライマー塗布を行なう。

ただし、シーリング材および被着体によっては、プライマー塗布を必要としない場合もあり、この場合、係員の承認を得てプライマーの塗布を省略することができる。

プライマーの性能は、使用するシーリング材と密接に関係するので、その選定は製造業者の指示によらなければならない。

被着体の種類により、プライマーの種類も変えなければならないことが多い。たいいていの場合、各シーリング材製造業者は、数種類のプライマーを持ち、被着体に応じて、その種類を指定している。

一般に、コンクリート・モルタル・石材・木材およびほとんどの塗装金属板に対しては、それぞれ適当なプライマーを塗布しないと、シーリング材の良好な接着が得がたい。また、ガラスや無塗装の金属板に対しても耐久性向上のため、プライマーを塗布することが望ましい。

最近とくに塗装金属板がカーテンウォール工法などに多く用いられ、シーリング材の接着性が問題となるが、プライマーと塗装の種類とは、微妙な関係にあることが多く、塗装の種類、焼付けまたは乾燥条件などによっても、プライマーの接着性が著しく異なってくることが多いので、プライマーの選定にあたっては、必ず実際に使用されるものと同一の塗装板で試験しなければならない。塗装の種類によっては適当なプライマーがないものもあるので、塗装板の選定は、プライマーとともに考慮しなければならない。また、2種以上の被着体の接合箇所に共通のプライマーを選択する場合は、試験を行なって決定することが望ましい。

- vii) バックアップ材は合成樹脂または合成ゴムなどの独立気ほう体で適度の柔軟性を もつものが望ましい。形状は丸形、または角形で目地幅より若干大きいものを選んで使用することが必要である。シーリング材が目地の底部と側壁とにつくと、いわゆる3面接着になり、充てんされたシーリング材にあとから複雑な力が作用し、耐久上よくないので、バックアップ材にはシーリング材が強く接着しないのがよい。

目地の深さが浅くて、バックアップ材を使用できない場合は、やはり、シーリング材が目地底部に接着しないよう、ボンドブレイカーを使用する。

ボンドブレイカーにはポリエチレンテープ、ポリエチレン塗布紙テープが通常用いられる。これらはいずれも、特記により指定する。

- viii) 養生テープには施工中、周辺のごれ防止と仕上がりをきれいにするため使用される マスキングテープ およ

び施工後のシーリング材の損傷・汚染などを防止するための保護テープとがある。

マスキングテープは、紙接着テープ・ビニルテープなどが使用されるが、テープの粘着剤が被着材を汚染したり、プライマーやシーリング材の接着などに悪影響を及ぼすものであってはならない。

マスキングテープを張る場合、原則として、プライマーを塗布したあとに行なうが、プライマーが目地の外側にはみ出て、あとにプライマーの色が目立つような場合には、マスキングテープを張ったあとでプライマーを塗布することがある。色の薄い石材・コンクリート・金属板などの被着体の場合、この方法が行なわれることがある。この場合、プライマーの溶剤などにより、テープの粘着剤がおかされて、下地材に付着して汚染する場合があるので、係員の承認を得て使用する。

なお、保護テープは、マスキングテープと同様の品質で使用箇所により、比較的広幅のものや厚手のものを選択する。これも係員の承認を得て使用する。

(3) シリコンシーリング材

i) シリコンシーリング材は、JIS A 5755 の規格に適合するものであることを原則とする。シリコンシーリング材には、1成分形と2成分形の2種類があるが、JIS A 5755 は、1成分形を対象に規定している。これは、わが国において、建築用シリコンシーリング材は、大部分、1成分形が使用される現状にもとづくものである。したがってJISに規定する1成分形以外のシーリング材は、つぎのii)で特記により指定するものとする。1成分形のシーリング材は硬化時に酸を放出する酸形、酸を放出しない無酸形がある。いずれもオルガノポリシロキサン・架橋剤・硬化促進剤・補強充てん剤・顔料などの原料をよく練り混ぜて均質にしたもので、カートリッジなどの密封容器に充てんされている。

1成分形シーリング材は、大気中の湿気と反応して、表面から硬化が進み、硬化速度は温度と湿度に左右される。実際には -20°C 程度の厳寒期でも十分硬化する。一般に酸形は無酸形に比べ、硬化が速く、各種の建材によく接着するが、銅・銅・亜鉛などの金属を腐食するおそれがある。また、モルタル・大理石などカルシウムを主成分とする被着体に対しては、酢酸とカルシウムが反応して酢酸カルシウムを生成し、接着不良を起こすことがある。したがって、酸によって腐食される被着体に酸形のものを用いる場合には、とくに適切なプライマーの選定を行ない、被着体を十分に保護しなければならない。

シーリング材の色合いは、クリアー、ホワイト、グレー、シルバー、ブラックなどが標準化されており、被着体の種類、使用箇所、使用目的によって使い分ける必要がある。

シリコンシーリング材は、メーカーにより、使用原料の種類、配合、色合いなどにより、性能に多少差があることもあり、特定の種類・色合いは特記により指定するのが一般的である。なお、一般的なシリコンシーリング材の特徴および設計上の注意事項を掲げると、つぎのとおりである。

a) 特徴については

- -20°C の低温まで施工が可能である。
- 紫外線などによる材質劣化が少ない。
- 繰返しひずみを与えても疲労が非常に少ない。
- 温度によるモジュラスの変化がほとんどない〔モジュラスについては次ページ脚注参照〕。
- 長期間ひずみを与えても応力緩和は小さく、復元性もよい。
- 長期では $-30\sim 100^{\circ}\text{C}$ 、短期では $250\sim 260^{\circ}\text{C}$ の高温下で使用が可能である。
- タックフリータイムが短い(5~20分)。
- 酸形は硬化時に刺激臭が強く、また金属を腐食するおそれがある。
- 湿度と反応し表面から硬化するので、深い目地に充てんした場合、完全硬化にはかなりの日数を要する。
- 引裂き強度、摩耗などの性質はあまりよくない。

b) 設計上の注意

シリコンシーリング材の特殊な使い方としてサスペンション構造のガラスまわりのシールに使用することが多いが、これはシリコンシーリング材がとくにガラスなどシリカ質を主成分とする材料によく接着する特性を利用したものである。ところが、サスペンション構造のガラスカーテンウォールのジョイント部のシーリング材は単なる防水目的のみならず風圧、その他外力によって生ずるガラスの変形を阻止する、いわゆる一種の構造用接着剤の役割を有している。したがって、採用するシーリング材の接着力とモジュラスが設計上の大きなファクターとなるので、十分な安全性を考慮して設計しなければならない。

ii) 1成分形シーリング材の品質は、原則としてJIS A 5755 の規格に適合するものでなければならない。し

かし、用途によってはJ I Sに適合しないものでもよい場合がある。たとえば、工場加工のサッシの継目、水平面の目地などには、流動性のよいものがよい。また、発泡コンクリートの目地には、150%モジュラス¹⁾がJ I S規格値より小さいもののほうがよい。また、シーリングと同時に固定の役目をする場合などでは、かたさが50をこえるシーリング材を用いたほうがよい。

このように、使用箇所・使用目的にふさわしい物性のものを指定する場合は特記による。

2成分形シリコンシーリング材に関しては、現在のところJ I S規格が制定されていない。したがって、品質試験は、J I S A 5754, I F S-T T-S-00227 E, U S A S A 116.1 の試験法に準じて行なわれている。

2成分形シリコンシーリング材には、物性の異なるものが数多く市販されている。これらは被着体に適するプライマーを用いなければ所要の性能が得られない。これらのシーリング材を用いる場合は特記によって指定する。2成分形シリコンシーリング材は1成分形シリコンシーリング材に比べて、粘度の幅が大きい、難燃性がある、耐熱性がよい、引裂き抵抗が大きい、モジュラスが小さいなどの特徴をもっているものがある。

iii) J I Sに合格するシーリング材を製造する業者であれば、信頼がおけるが、それでもなお、製造業者により材質に若干の差があるので、特定製造業者の製品を使用したい場合は、これを特記する。J I Sでは、一般的な試験項目に限られて規定されているので、個々の使用目的により、J I S適合品でもなお、追加試験項目を検討してシーリング材の選定を行なう必要もある。

これらの追加試験項目により、製造業者による性能または特徴に差が出てくる場合が考えられるので、特記により製造業者を指定することが望ましい。

iv) 建築用2成分形シリコンシーリング材は、基剤と硬化剤がセットになっている。硬化剤は、基剤と密接な関係があり、製造業者の指定する組み合わせ、配合比による。

v) プライマーは、一般に極性基(官能基)をもったシラン類あるいはシリコンレジンなどをアルコール・アセトン・トリオール・メチルエチルケトンなどの溶剤に溶かし、はけ塗りまたはスプレーで塗布できるようにしてあり、20~30分で乾燥するものが多い。プライマーの塗布は薄いほうが好ましいが、木材・モルタル・コンクリートのような多孔質の被着体に対しては木材の樹脂浸出あるいはモルタル・コンクリートのアルカリ分の浸出を防ぐために厚めに塗布する必要がある。

また、シーリング材の種類、被着体の種類の組み合わせによっては、プライマーを使用した場合と使用しない場合で、初期の接着性には、ほとんど差がなくても長期の接着性に著しい差が生じる場合があるので、プライマー使用の有無、プライマーの種類、選定、使用方法などは、製造業者の指示による。

vi) バックアップ材は、ジョイントの深さの調節とシーリング材が底部に接着しないことを目的として使用される。バックアップ材は、それ自体伸縮性があり、シリコンシーリング材と接着しないものとして、ポリエチレンフォームが適当である。アスファルト、油含浸繊維のように油・溶剤を含むもの、生ゴム、部分的に加硫したゴムは使用できない。

ジョイントの深さが浅くてバックアップ材を使用できない場合は、シーリング材が底部に接着しないようボンドブレイカーを使用する。

ボンドブレイカーには、ポリエチレンテープ・ポリエチレン塗布紙テープが適当である。これはいずれも特記により指定する。

vii) 養生テープには、施工中、周辺のごれ防止と仕上がりをきれいにするために使用されるマスキングテープおよび施工後のシーリング材の損傷・汚染などを防止するための保護テープとがある。

マスキングテープは、紙粘着テープ・ビニルテープなどが使用されるが、テープの粘着剤が被着体を汚染したり、プライマーやシーリング材と接触して悪影響を及ぼすものであってはならない。保護テープは、マスキングテープと同様の品質で、使用箇所により比較的広幅のものや、厚手のものを選択する。いずれも係員の承

1) モジュラスとは、ゴム状弾性を有する材料の物性試験において、試験片に一定の伸びを与えたときの引張応力をいい、150%の伸びを与えたときの応力を150%モジュラスという。

モジュラスの値は、こわさ(Stiffness)の尺度であり、充てん剤の量、硬化状態、材質などによって影響される。

J I S A 5755 および J I S A 5754 の引張接着強さの試験体で、シリコンシーリング材の150%モジュラスは、1~11kg/cm²、ポリサルファイドでは1~5kg/cm²で、一般にポリサルファイドのほうがシリコンに比べてモジュラスは低い。

認を得て使用する。

(4) ウレタンシーリング材

i) ウレタンシーリング材には、現在のところ J I S 規格が判定されていない。したがって、品質試験は J I S A 5754 の試験方法に準じて行なわれている。

ii) ウレタンシーリング材は 1 成分形と 2 成分形とに分類されるが、1 成分形は大気中の湿気と反応して硬化するウレタンプレポリマーに可塑剤・充てん剤・顔料などをよく練り混ぜたものである。2 成分形は硬化剤により所定の速度で硬化するウレタンポリマーに可塑剤・充てん剤・顔料などをよく練り混ぜた基剤とポリオールなどの硬化剤とを現場で混合して使用するものである。

1 成分形の製品形態はカートリッジ入りと密閉かん入りがあり、2 成分形のものは基剤と硬化剤が別々の密閉かんに入れられている。1 成分形は原則として施工時期による製品区分がないが、2 成分形は硬化速度を施工時期に合わせて夏用・冬用あるいは一般用とに分けられている。しかし、製品の貯蔵安定性は一般に短いので製造業者の定めた期間を守らなければならない。

1 成分形と 2 成分形のウレタンシーリング材の使用時における相違は硬化速度と施工性にあるが、硬化後の物性についても同等とはかぎらない。ウレタンシーリング材は製造メーカーによりモジュラスに幅があり、概して 1 成分形は低モジュラスのものが、2 成分形は中・高モジュラスのものが得られやすい傾向にある。したがって、ウレタンシーリング材を指定するときは、1 成分形・2 成分形も特記する必要がある。

シーリング材のモジュラスと接着強さとの関係は、耐久性などシール効果に及ぼす影響が大きいので、施工に際してはこれらの点を考慮する必要がある。

シーリング材の特性を十分発揮させるためには、被着体に適するプライマーを選定してシーリング材の接着をよくすることが必要である。しかし、実際にはプライマーの種類が限定されるので、目地部の動きの大きい箇所や A L C を被着体とする場合には 150% モジュラスが 3 kg/cm^2 未満のもので、かつ疲労しにくいものを用い、比較的目地部の動きの小さい箇所では 150% モジュラスが 3 kg/cm^2 以上のものも用いるとよい。

iii) ウレタンシーリング材は、前述のように 1 成分形と 2 成分形とがあり、両者の間では物性が必ずしも等しいとはいえないし、同形の製品でも物性に関してはかなり差がある場合もある。したがって、使用にあたっては製造業者を指定する必要がある。

iv) 2 成分形の基剤と硬化剤との関係についてはポリサルファイドシーリング材の項 [8.4.4 (2) iv)] による。

v) プライマー・バックアップ材・ボンドブレイカーについても、ポリサルファイドシーリング材の項 [8.4.4 (2) vi) vii)] により、また養生テープについてはシリコンシーリング材の項 [8.4.4 (3) vii)] による。

(5) ブチルシーリング材

i) 溶剤揮散形ブチルシーリング材は、通常、ブチルゴム可塑剤・充てん剤・顔料・溶剤などが混入されているものであり、1 成分形であるため施工に際してはそのまま使用する。

現在、J I S 規格が制定されていないので選択にあたってはつぎの事項に注意する。

- ① 外 観 シーリング材は均一に混合され、固まり・皮ばりおよび粗子がなく、相分離のないこと。
- ② ちょう(稠)度 シーリング材は $5 \sim 40^\circ\text{C}$ の範囲で十分な作業性を持つこと。
- ③ 安 定 性 シーリング材は少なくとも出荷後 6 か月以上安定であること。
- ④ 有 毒 性 正常な施工条件および十分な換気下で、毒性を示さないこと。
- ⑤ 色 購入者の指示する色とはなはだしい差異がないこと。

ii) プライマー・バックアップ材・養生テープなどについては、ポリサルファイドシーリング材の項を、参照されたい。

(6) 水性アクリルシーリング材

i) 水性アクリルシーリング材は、通常、アクリル樹脂エマルジョンを基材とし、それに可塑剤・充てん剤・顔料などが混入されているものであり、1 成分形であるため施工に際してはそのまま使用する。

現在、J I S 規格が制定されていないので選択にあたってはつぎの事項に注意する。

- ① 外 観 シーリング材は均一に混合され、固まり・皮ばりおよび粗粒子がなく、相分離のないこと。
- ② ちょう(稠)度 シーリング材は $5 \sim 40^\circ\text{C}$ の範囲で十分な作業性を持つこと。
- ③ 安 定 性 シーリング材は少なくとも出荷後 6 か月以上安定であること。
- ④ 色 購入者の指示する色とはなはだしい差異がないこと。

ii) 水性アクリルシーリング材の場合、接着性を向上させる意味も含め、原則としてプライマーの塗布を行なう。

ただし、シーリング材および被着体によってはプライマー塗布を必要としない場合もあり、この場合は係員の承認を得てプライマーの塗布を省略することができる。その他については、ポリサルファイドシーリング材の項を参照されたい。

iii) バックアップ材・養生テープなどについては、ポリサルファイドシーリング材の項を参照されたい。

(7) 試 験

J I S 規格が定められているシーリング材は、規格に適合するものを使用することになっている。規格に適合するかどうかは J I S マークによって確認できるし、公的機関もしくは製造業者などの試験成績書の提出を求めても確認できる。

J I S 規格が定められていないシーリング材は特記により指定することになっている。したがって、材料指定の時点において、製造業者の社内規格、他種シーリング材 J I S 規格の準用、もしくは諸外国の試験規格などによって品質の確認が行なわれていることが多い。

J I S、その他の試験規格はシーリング材の一般的な用途に対応するものであり、その適合品を用いることにより、大部分の工事において一定水準以上の成果を期待することができる。しかし、ジョイントの設計および施工条件などが特別な場合には、規格試験の結果のみでは成果の予想ができないことが多く、実際の状況に即応した実用試験により検討する必要がある。検討すべき条件には、つぎのものがある。

i) 特殊な使用環境の場合

ふんい気や温湿度などの使用環境が特殊であれば、実際に即した条件を考慮して施工性・耐久性などを検討する。

ii) 施工経験の乏しい被着体の場合

シーリング材は被着体へ密着してこそ機能が果たしうるものである。したがって、経験の乏しい被着体の場合には、あらかじめ試験を行なって接着性・汚染性・スランプ、適合するプライマーなどを検討する。

iii) 目地断面が特殊な場合

目地断面の大きさによってはスランプするかもしれない。場合によっては規格適合品では満足な施工ができないこともあるので、実際の目地断面によりシーリング材の品質を検討する。

iv) 特殊な目地条件の場合

たとえば、動きやすい目地の場合、シーリング材が硬化して所定の性能を発現する前に動きの影響をうけることになる。このように未硬化の状態における性質についての検討は一般に十分でないので、実際的な条件を現出して検討する。

v) 特殊な施工条件の場合

一般にシーリング材の施工性・硬化速度などは温度に影響される。また、多湿時にはプライマー中の溶剤の気化熱により被着体が冷却して結露するおそれがあるため、現場実験により施工工程を検討する。

vi) 耐 久 性

J I S 規格では耐久性の検討が十分とはいえない。耐久性は作用因子により静的劣化要因に対するものと、動的劣化要因に対するものとに分けられる。静的劣化は紫外線・酸素・オゾン・熱・水、大気中および雨水中の有害成分、化学薬品、油などの作用により、主として化学的に変質劣化することをいう。また、動的劣化は目地の動きによりシーリング材が引張り・圧縮・せん断・引裂き・ねじれなどの機械的作用の繰返しをうけて変質劣化されることをいう。これらの要因はシーリング材の材質に対して影響するのみならず、被着体への接着性にも影響するので、それぞれ被着体について検討する必要がある。

以上、J I S 規格試験以外に検討すべき性能も少なくない。諸外国の規格の中には実際的な試験方法を採用しているものもあるので、参考のために規格番号と品質規定ならびに試験項目を表 4.4 に示す。

表 4.4 外国規格における品質規定と試験項目

規格	対象材質	貯蔵安定性	耐毒性	耐食性	押し出し時間	タック	セルフレベリング	スクラッピング	保油性・フリージング	変色	かたさ		引張り接着性				繰返し引張り・元圧縮性	はく離接着性	柔軟性		表面状態	紫外線および冷気暴露	加熱減量	加収縮性	耐アルカリ性	発泡含有形成性
											常	加熱	水中浸せき後	常水中浸せき後	加水加熱後	温冷繰返し後	ガラス面から照射後	ガラス面から照射後	加温繰返し後	低温繰返し後	加温繰返し後	加温繰返し後	加温繰返し後	加温繰返し後	加温繰返し後	加温繰返し後
J I S A 5751 (1966)	油性成分形	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
J I S A 5754 (1969)	2 ポリサルファイド	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
J I S A 5755 (1969)	1 成分形シリコン	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
I. F. S. T T-S-00227 E (1970)	多シ成分形材	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
I. F. S. T T-S-00230 C (1970)	1 シ成分形材	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
I. F. S. T T-S-001543 (1968)	1 成分形シリコン	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
I. F. S. T T-S-001657 (1970)	1 成分形ブチル	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
USAS A 116.1 (1967)	2 シ成分形材	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
CGSB 19-GP-3b (1972)	2 ポリサルファイド	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
CGSB 19-GP-5b (1972)	1 成分形アクリル	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
CGSB 19-GP-9b (1972)	1 成分形シリコン	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
CGSB 19-GP-13 (1968)	1 ポリサルファイド	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
CGSB 19-GP-15 a (1971)	多ポリウレタン	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
BS 4254 (1967)	2 ポリサルファイド	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

[注] I. F. S. : Interim Federal Specification

USAS : U.S.A. Standard Specification

CGSB : Canadian Government Specification Board

BS : British Standard

8.4.5 工 法

a. 施工業者を指定する必要がある場合は、特記による。

b. 天 候

天候が工事に支障ありと認められた場合は、工事を行なってはならない。

c. 施工方法

- (1) 目地が深い場合、目地が貫通している場合などにはバックアップ材をそう入し、目地が浅い場合は目地底にボンドブレイカーを張り付ける。これらの作業はプライマーを塗布する前に行なう。ただし、油性コーキング材の場合は、原則としてバックアップ材およびボンドブレイカーを省略する。
- (2) プライマーは、原則として塗布する。ただし、被着体の種類により係員の承認をうけて省略することができる。
- (3) 表面養生あるいは目地縁の線を通りよく仕上げるためにマスキングテープを張る場合は、係員の承認をうける。
- (4) 充てんは、ガンを使用するのを原則とする。目地の場合は、完全に充てんされるように加圧しながら施工する。充てん後、へら押えを行ない、表面を平滑に仕上げる。
- (5) マスキングテープは施工後ただちに取除き、テープあとを清掃する。充てん箇所以外にシーリング材が付着した場合は、被着体をおかさないうちに溶剤ですみやかに清掃する。
- (6) 異種のシーリング材は、原則として接触を避けて使用する。

要求される条件を十分に満たしうる材料でも、あやまった施工ではその価値を発揮することができない。使用する材料の性能を完全に発揮するためには、その材料に関する豊富な知識と完ぺきな施工技術を持つとともに道義心の高い熟練工の在籍する施工業者を指定することが必要で、**具体的施工業者の指定にあたっては「日本シーリング工業会」の認定になる「シーリング管理士」を有する業者を選ぶことが望ましい。**

(1) 油性コーキング材工法

i) 施工業者を指定する必要がある場合には、材質の保持する性能を十分に発揮させるためにも、施工業者の責任感と、材質に対する知識ならびに熟練度の高い、また道義的にも技術的にも定評ある施工業者を指定することが望ましい。

ii) コーキング材を充てんする目地は、モルタルの凹凸・空げき・すなどがなく、貫通部分が完全に補修された目地でなければならない。とくに、目地の深い場合、貫通している場合、コーキング材の付着面に対して充てん目地が悪い影響を及ぼす場合などで補修のできない目地には、バックアップ材を使用することが望ましい。

iii) 充てん目地に水分が付着あるいは結露していたり、モルタル・コンクリートが湿っている場合は、十分に乾燥させ、その他油分・ごみ・モルタルくず・さび・塗料などが付着している場合には、下地の清掃を十分にしない必要がある場合には、プライマーを塗布してから施工する。

バックアップ材を詰めてから、プライマーを塗布することが原則である。

iv) 充てんの際、目地からコーキングがはみ出して化粧面の美観をそこなう場合は、充てん前にマスキングテープを張り、充てん後、へら押えをしたのち、ただちにはぎとる。また、プライマーを併用する場合には、原則としてプライマーを塗布したのちに、マスキングテープを張ることが望ましい。

充てん箇所以外にコーキング材が付着した場合は、ただちに、ベンジンなどでふき取り清掃する。

v) コーキング材の充てんは、一般に、コーキングガンを使用して行なう。コーキングガンのノズルは、目地の寸法に従って、その寸法に合ったノズルを使用し、目地のすみずみまで、完全に充てんされるよう、加圧しながら施工するので、そのためにもノズルは数種類用意しなければならない。ノズルの寸法は、ノズルの先端が目地の中にはいり、なおかつ、幅に2～3mmの余裕があるのが望ましい。

コーキングガンで充てん後は、必ずへら押えを行なう。これは充てんされたコーキング材を十分に押えることによって、下地を完全に付着させ、かつ表面の凹凸をならして、なめらかに仕上げるためである。このへら押えが完全であるか否かが、コーキング材の主目的である防水性を左右し、また耐久性にも大きな影響を与えるので、十分なへら押えが必要である。

そのために、へらも目地の大きさにより、数種類用意する必要がある。

vi) 油性コーキング材と他のシーリング材（弾性シーリング材など）と併用する場合には、できるだけ接触しないようにしなければならない。やむをえない場合には弾性シーリング材を先に充てんし、それが完全に硬化し

たのちに油性コーキング材を施工することが望ましい。この逆の場合には、油性コーキング材の油分が弾性シーリング材の接着面をよごし、その接着力を阻害するので、そのような場合には施工してはいけない。その他のシール材との併用の場合も、そのものがコーキング材の付着面をよごし、これによりコーキング材の付着性を悪くしないよう、とくに注意して施工を行なう必要がある。

(2) 弾性シーリング材工法

- i) シーリング材を充てんする目地に 凹凸・空げき・す・欠損などがあって、施工に支障を及ぼすと考えられる場合は係員の指示をうける。
- ii) 充てん目地の接着面に ごみ・モルタルくず・さび・塗料などが付着している場合には清掃を十分に行ない、また水分が付着あるいは結露などを生じている場合は十分に乾燥させる。とくに、油などが付着している場合には洗浄用溶剤を含ませた布でふいて十分に乾燥させる。
- iii) シーリング材を目地に充てんする場合は、シーリング材が2面で接着するようバックアップ材、またはボンドブレイカーを使用する。

バックアップ材は、ポリエチレンの発泡体を使用し、目地底にシーリング材が接着しないように心がける。

バックアップ材は丸形または角形を目地の状態に合わせて使用し、目地幅より2mm くらい広いものをそう入する〔図 4.2〕。

目地の深さがなく、バックアップ材の使用ができない場合はボンドブレイカーとして、シリコンテープまたは粘着テープを目地底に張り、底部への接着を避ける〔図 4.3〕。

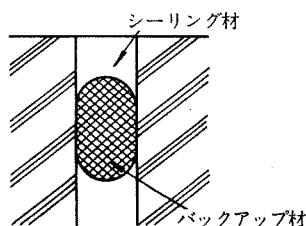


図 4.2

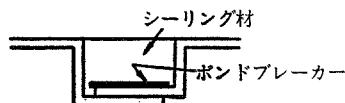


図 4.3

動きのある三角充てんの場合にも、三角のコーナーにバックアップ材を張る〔図 4.4〕。

なお、バックアップ材は、動きの多い目地の場合、底までつめると、目地が金属の膨張により狭くなった場合、シーラントの表面にふくらみを生ずるので、なるべく避けるのがよい〔図 4.5〕。



図 4.4

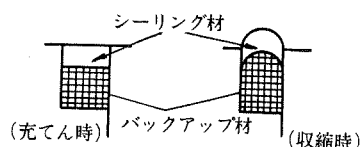


図 4.5

なお、バックアップ材・ボンドブレイカーは、① プライマー面を傷つけない、② 施工時間の短縮ができる、

③ プライマー塗布範囲が明確になる、などの理由でプライマー塗布の前に装てんする。

- iv) プライマーは、はけなどを用い塗り残しのないように塗布する。
- v) 2成分形およびかん入り1成分形シーリング材の施工に使用するガンは、一般に手動式のものをを用い、使用前に筒・ノズルなどを十分に清掃調整しておく。
- vi) 充てんはできるだけ目地の底まで押し込んで加圧しながら行ない、空げき・打残しなどのないように注意し、定められた可使時間内に充てんし、へら押えまで完了しなければならない。
- vii) マスキングテープはへら押え後ただちに取除き、部材をおかさないう溶剤を含ませた布を用い、テープの跡、目地以外についたシーリング材などをぬぐい取る。
- viii) 原則として他のシーリング材と接触して使用させてはならないが、新規工事および補修の場合、他のシーリングと接触して使用する場合は係員の指示により適当なプライマーを使用する。

補修工事において残存するシーリング材の処置は、同質または他のシーリング材の場合があるので、係員の指示によるものとする。

(3) ブチルシーリング材工法

i) 施工業者を指定する必要がある場合は、特記仕様書による。

施工業者は使用材料の性能を理解し、あわせて施工により十分なる効果を高めることが望ましい。

ii) シーリング材を充てんする目地は、表面が十分に乾燥しており、凹凸・空げき・す・貫通部分が補修されており、シーリング材の接着を妨げる異物があってはならない。

iii) 充てん目地の接着面は清掃を十分行ない、水分が付着あるいは結露などが生じている場合は十分に乾燥させ、ごみ・モルタル・くず・さび・塗料などが付着している場合には下地の清掃を十分に行ない、とくに油などが付着している場合は洗浄用溶剤を含ませた布でぬぐい十分乾燥させる。

充てんはできるだけ目地の底までノズルを押し込んで加圧しながら行ない、空げき、打残しなどのないように注意し、定められた時間内に施工を終らなければならない。

iv) バックアップ材の装てんは、ずれや浮き上がりがなく、シーリング材充てんの目地深さを均一になるように十分押え、3面接着を避けて常に2面接着にするよう注意する。

バックアップ材は、通常ポリエチレン（またはポリウレタンなど）の独立気ほうのものが望ましい。

マスキングテープはよこれ防止と目地縁線を正しく仕上げるために使用するので、浮き上がりのないように張る。

v) プライマーの使用はシーリング材製造業者の指示に従い、はけなどでむらなく均一に塗布する。

vi) シーリング材の施工に使用する押出しガンは、使用前に筒・ノズルなどを十分に調整したものを準備する。

押出しガンは一般に手動式のものを用い、ノズルはその寸法を目地に合わせて切断または変形する。

vii) マスキングテープは施工後ただちに取除き、テープの跡や目地以外のよこれなどを、部材をおかさないう溶剤を含めた布でぬぐい取る。あわせて目地周囲を清掃する。

viii) 弾性シーリング材と油性コーキング材を接触して使用することはできるだけ避けるべきである。

(4) アクリルシーリング材工法

i) 施工業者を指定する必要がある場合は、特記仕様書による。

施工業者は使用材料の性能を理解し、あわせて施工により十分なる効果を高めることが望ましい。

ii) シーリング材を充てんする目地は表面が十分に乾燥しており、凹凸・空げき・すなどがなく貫通部分が補修されており、シーリング材の接着を妨げる異物があってはならない。

iii) 充てん目地の接着面は清掃を十分に行ない水分が付着、あるいは結露などが生じている場合は十分に乾燥させ、ごみ・モルタルくず・さび・塗料などが付着している場合は下地清掃を十分行ない、とくに油などが付着している場合は洗浄用溶剤を含ませた布でぬぐい、十分乾燥させる。

iv) 充てんはできるだけ目地の底までノズルを押し込んで加圧しながら行ない、空げき、打残しなどのないように注意し、定められた時間内に施工を終わらなければならない。

v) バックアップ材の装てんは、ずれや浮き上がりがなく、シーリング材充てんの目地深さが均一になるように十分押え、3面接着を避けて常に2面接着とするよう注意する。

バックアップ材は、通常ポリエチレン（またはポリウレタンなど）の独立気ほうのものが望ましい。

マスキングテープは、よこれ防止と目地縁線を正しく仕上げるために使用するため、浮き上がりのないように縁張りをする。

vi) シーリング材の施工に使用する押出しガンは、使用前に筒・ノズルなどを十分に調整した物を準備する。

押出しガンは一般に手動式のものを用い、ノズルはその径の寸法を目地に合わせて切断または変形する。

vii) マスキングテープは施工後ただちに取除き、テープの跡や目地以外のよこれなどを、部材をおかさないう溶剤を含めた布でぬぐい取る。あわせて目地周辺を清掃する。

8.4.6 養生

工事完了後は係員の指示に従い、ほこりの付着、損傷、汚染などのないよう養生する。

(1) シーリング材を充てんした箇所は、つぎの点に留意して養生する。

a) 損傷を与えないこと。

b) ほこり・ごみなどの付着、汚染を避けること。

- (2) ガン吹き、清掃などシール面に損傷を与えやすい作業は、油性コーキング材の場合には、シール材の表面に皮膜ができてからあとに行ない、弾性シーリング材の場合も、硬化（約2～3日）後に行なう。また、出入りの激しい箇所や、外部から損傷を受けやすい箇所は、施工後すみやかにベニヤ板などで囲いをつくり、保護・養生する。

また、シーリング材を充てんした箇所付近を薬品などを用いて清掃する場合、とくに酸洗いなどに使用する濃塩酸あるいは揮発性溶剤などの場合、これらがシール面にふれると、浸食・変質をきたすものもあるので、シール面に付着させないよう留意する。

- (3) ほこり・ごみなどがシール面に付着すると、きたなくなり、美観をそこなうので、周辺での作業を中止したり、延期したりして養生期間をとる。現場の関係でやむをえぬときは、養生テープ（和紙粘着テープ）を張り養生する。
- (4) なお養生は、シーリング材の性質、施工、仕様に応じて行なう必要がある。また、養生期間は、現場では他の職種とかちあったりして、積極的にとることがむずかしい。しかし、現場工程管理面から十分な養生期間の設定が望まれる。

ウルトラシーラー[®]

紐状、テープ状 弾性シーリング材

Uシート[®]

ユ-

誰にでも、継目なしに何平方米も防水層が
出来る——特殊シート

鐘 栄 産 業 株 式 会 社

東京都中央区日本橋小伝馬町3-5
電話 東京 03 (661) 5379・4475・2635

建築用シーリング材市販製品一覧表

基 材	会 社 名	商 品 名	色	形 状	荷 姿 単 位	特 性
油 性	エービーシー 商会(株)	ABCコーキング	グ レ ー		18ℓ缶入	施工性良
	小 野 田 建 材(株)	ユニロンコーキング	グ レ ー		18ℓ缶入 3.6ℓ缶入	J I S指定製品
	鐘 紡 合 成 化 学(株)	ゴーレックスP-320	グ レ ー		18ℓ缶入 3.6ℓ缶入 500gチューブ入	
	共 立 化 学(株)	3Kコーキング	グ レ ー		18ℓ	
	建 材 化 工(株)	パンシール	グ レ ー		18ℓ缶入	
	(株)小西 儀 助 商 店	ボンドコーキング	グ レ ー		500gチューブ 18ℓ缶入	
	サンスター 化学工業(株)	ペンギンシール #750	グ レ ー		333cc×20本 500g×30本 25kg×1缶	
	三 洋 工 業(株)	スリーコーキング	グ レ ー		18ℓ缶入 3.6ℓ缶入 800ccチューブ入 320cc 360ccカートリッジ	
	三英ポリマー 工業(株)	リパーコーク	グ レ ー		18ℓ	
	志 水 バ テ 製 造(株)	コスコーク	グ レ ー		18ℓ	
	昭和石油 アスファルト(株)	エバシール	グ レ ー	1 液	18ℓ缶入	
	セ メ ダ イ ン(株)	セメダインポリコーク	グ レ ー	1 容器型	18ℓ缶入	
	世 界 長 (株)	ケミコーク	グ レ ー	1 液	18ℓ缶, 500gカートリ ッジ	表皮形成型 1 液
	積 水 化 学 工 業(株)	セキスイコーキング	グ レ ー	ペースト状	18ℓ缶入 25kg缶入 360ccカートリッジ20本入 800ccチューブ12本入	J I S品
	タイ ホ ー 工 業(株)	トリタイト #7	グ レ ー	ペースト	18ℓ缶	
	中 外 商 工(株)	チューガイコーキング	グ レ ー		18ℓ缶	
	テ イ バ 化 工(株)	グレインコート	グ レ ー		18ℓ缶	
	(株)東京ボース 工業社	ボースコーキング カートリッジ コーキング	グ レ ー グ グ グ		18ℓ缶, 3ℓ缶 800gチューブ 400gチューブ 550gチューブ入	表面皮膜を形成し、内部は柔軟性 粘着性を失わず効力には持続性がある。
	日 瀝 化 学 工 業(株)	サツシール	ラ イ ト グ レ ー		石油缶入, 25kg, 18ℓ	
	日東ポリマー 工業(株)	ニットーコーク #100G	グ レ ー	1 液	18ℓ 1kgチューブ 400cc カートリッジ 333cc カートリッジ	レンチバーつきで作業簡易
	日 本 化 成 工 業(株)	ネオシール コーキング	グ レ ー		18ℓ	
	日本添加剤工業(株)	フラインコーク	グ レ ー (標準色)		18ℓ缶入	
	日 東 化 成 工 業(株)	ブラシール コーキング	グ レ ー	1 液 ペースト状	25kg	
	バ ン ド ー 化 学(株)	パンシールC	グ レ ー	1 液	18ℓ缶	
	日 立 化 成 工 業(株)	日立コーキング K-800	グ レ ー		18ℓ	
	ボンタック ジャパン(株)	ボスコシール 300L	グ レ ー	1 液 ペースト状	360cc カートリッジ25本 18ℓ缶	皮膜形成 1 日 20°C 一般用シーラー, 耐水性良
	明星チャール(株)	スターコーキング B-20G	グ レ ー		18ℓ	

建築用シーリング材市販製品一覧表

基 材	会 社 名	商 品 名	色	形 状	荷 姿 単 位	特 性
油 性	三 星 産 業(株)	三星コーキング 〃 〃 〃 〃	グ レ ー 〃 〃 〃 〃		18ℓ 缶 5 ℓ 缶 800cc チューブ 500cc 〃 360cc カートリッジ	20本入 1 ケース 30本入 1 ケース
	ア オ イ 化 学(株)	マジックコーキング	グ レ ー 白, 黒		18ℓ	
	大 日 本 塗 料(株)	DNTコークG	グ レ ー		23kg	ガン用
	日 本 シ カ(株)	アイガスコーキング			25kg缶	
ポリサル ファイド	エービーシー 商会(株)	チオコーク	5 色		4.4kg缶入	低モジュラス伸率大
	鐘 紡 合 成 化 学(株)	カネボウ #5000		2 液		ノンサック型
	小 西 儀 助 商 店(株)	ボンドシール #10	グ レ ー アンバー 黒		5.5kg set 缶入	
	サンスター 化学工業(株)	ベタシール #169 169-2 黒 169-4ライトグレー 169-7タン 169A-1アンバー1 169A-2アンバー2 169A-3アンバー3 169A-4アンバー4 169A-5アンバー5	2 液 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃	5 kg缶×4ケ 5kg缶×4ケ, 1kg缶×6ケ 5 kg缶×4ケ 5kg缶×4ケ, 1kg缶×6ケ 5 kg缶×4ケ 〃 〃 〃 〃 〃		
	昭和石油 アスファルト(株)	フジチオコール	グレー	2 液	2 ℓ 入	
	住友スリーエム(株)	ウエザーバンシーラー	黒, グレー, タン, オフホ ワイト		3 ℓ 入 (4 ℓ Cor)	
	三 洋 工 業(株)	スリーコール	グレー		1 kg入 5 kg入	指定色製作
	セ メ ダ イ ン(株)	セメダインポリシール	黒 グ レ ー ブロンズ	2 容器型	1.1kgセット, 12セット1箱	
	積 水 化 学 工 業(株)	エスダイン チオシーラー	グ レ ー 黒	ペースト状	1 kg入, 5.5kg入, 10kg入	
	タイホー工業(株)	トリタイト #1000	グ レ ー	ペースト状	5 kg/ケース	
	中 外 商 工(株)	ハイジョイント P S 2000	グ レ ー	2 液型	5.5kg	
	テ イ バ 化 工(株)	ボニーシーラー P S 2000	10色	2 液型	3 ℓ 缶入, 4%1 ケーケ	硬化後弾性
	(株)東京ボース 工業社	ボースコーク P S 〃	グ レ ー グ レ ー		缶 4 kg : 400 g 缶 2 kg : 200 g	強靱なゴム弾性体で伸縮に とみ復元力がすぐれている。 (必ずプライマーを処理する) 接着力強固
	(株) 日 興 社	ニツシール	グ レ ー 黒 他 5 色	2 液	4.2kg	
	日東ポリマー 工業(株)	ニツトコーク #300 S	9 色	2 性液	5 kgセット	
	日本添加剤工業(株)	ファインシーラー No. 300	グレー, ダーク グレー, 黒 他		1 kg, 5 kg缶	
	日 東 化 成 工 業(株)	ブラシール T・BG	グ レ ー 白 ブロンズ	ペースト状	4 kg入 缶	
	日 立 化 成 工 業(株)	日立チオシーラー K-3800	グ レ ー 他 5 色		5 kg set × 2	
	ボスチック ジャパン(株)	ボスコシール 700	グ レ ー 他 5 色	2 液 ペースト状	5 kgセット × 2	作業性にすぐれ, 硬化後の接着性・ 耐久性にすぐれる。(必ずプラ イマーを処理する) 可使時間 4時間/20℃
	明星チャーチル(株)	スターコーキング T-27	グ レ ー	2 液	5.5kg	4 時間以上
	横 浜 ゴ ム(株)	ハマタイト SC-500HT	グ レ ー	2 液	3 ℓ セット	耐水, 耐候, 耐久性, 弾性, 伸び 優秀, JIS A5754 合格品
	日 本 シ カ(株)	シーカジョイント P S			10kgセット缶 4 kg 〃	
	大 日 本 塗 料(株)	レジコーク P-005 〃 レジコーク P-025	ブラック グ レ ー ブラック		4 kg 4 kg 4 kg	カーテンオール用 〃 土 木 用

建築用シーリング材市販製品一覧表

基 材	会 社 名	商 品 名	色	形 状	荷 姿 単 位	特 性
ブ チ ル	鐘 紡 合 成 化 学 (株)	カネボウ P-#3000		1 液		
	建 材 化 工 (株)	パンネオシール	グ レー	1 液	360cc カートリッジ	
	(株)小西 儀 助 商 店	ボンドシールパテ	白, グレー 他着色可能		20kg 缶入 450g カートリッジ	
	サンスター 化学工業(株)	ペンギンシール#850	グ レー		333cc×20 180cc×1	
	鐘 栄 産 業 (株)	ウルトラシーラー	グ レー	テープ状	5%×5% 10m 巻 10%×5% 10m 巻 10%×15% 5m 巻	
	セメダイン(株)	セメダイン ブチルシーラー-8070	グ レー 黒 アルミ	1 容器型	320g カートリッジ 20kg 缶入	
	積水化学工業(株)	エスダイン #680	グ レー		20kg	
	世 界 長 (株)	セカイチヨーンシーラー #1000	グ レー	2 液	5 ℓ 缶	
		ク RB ク V	グ レー 白, 黒, グ レー	1 液	18 ℓ 缶 5%×5%×5 5%×10%×5 150%×15%×15	
	テ イ バ 化 工 (株)	ブチルシーラーV1000	グ レー	溶剤型 1 液	330cc オートリッジ 12本ケース入	ゴム弾性硬化
	(株) 日 興 社	ブレンシール #750	グ レー黒, 白	1 液		
	日 東 電 気 工 業 (株)	ニットーシーラント No.671 ク No.676 ク No.677	黒 黒 グ レー	成型 ク ク	1 ケース 10%×10% ク ク	
	日 東 ポ リ マー 工 業 (株)	ニットーコーク #400G	グ レー	1 液	20 ℓ 400cc カートリッジ	
		ゴムコーキング ニットーコーク #400T	4 色 グ レー 黒	1 液 テープ状	180 ml チューブ 各サイズにより異なる	
	日 東 化 成 工 業 (株)	ブラシール BGコーキング	グ レー, 白		20kg	
	バ ン ドー 化 学 (株)	バンシール F	黒	成型	各種あり	
	ボ ス チ ャ ッ ク ジ ャ パ ン (株)	ボスコシール 310	グ レー	ペースト状 1 液	18 ℓ 缶 340cc カートリッジ 25本	適度な弾力性を有し、各種材料に対する接着性にもすぐれる。各種材質に対し、良い接着性を有し、耐候性にすぐれる毒性がない、安定性、施工性にすぐれる。
		ボスコシール P-220 ク P-230	黒 グ レー	ヒモ状成型 シーラー	3, 5, 10 φ 5×5, 5×10, 2×36 2×56, 4×50, 5×50 他	
	山 内 ゴ ム 工 業 (株)	トップシーラー #30	グ レー	1 液	18 ℓ 缶	
	ソ ニー ケ ミ カ ル (株)	ソニー L6004AL シーラント L6004NB 1082J	グ レー	液 状 ク テープ状	18kg 1×15, 2×20, 1×25	
シ リ コ ー ン	栗 山 ゴ ム (株)	ロードシル			1 ℓ, 1/3 ℓ	
	(株)小西 儀 助 商 店	ボンドスーパー シーラント	白, 透明		20g 50g, 100g 350cc カートリッジ	
	サンスター 化学工業(株)	ペンギンシール シリコン	白, クリヤ ー, グレー 他	1 液	350g × 10本 × 2	
	信 越 化 学 工 業 (株)	KE42RTV	クリヤー, 白, グレー他	1 液	350g × カートリッジ	酢酸型 酢酸型 非酢酸型 ク
		KE43RTV	アルミ, アンバー	ク		
		KE45RTV	クリヤー, 白, 黒,	ク		
		KE46RTV KE-70	グ レー グ レー	ク 2 液	4 ℓ 缶	
	セメダイン(株)	セメダインシリ コンシーラー 8060	黒, アルミ他	1 容器型	320ml カートリッジ	
	テ イ バ 化 工 (株)	シリコンシーラント	白, グレー	1 液	330cc カートリッジ 10本 1 ケース	ゴム弾性硬化
	東 芝 シ リ コ ー ン (株)	TSE371RTV	クリヤ ー, 白, 黒他	1 液	333cc カートリッジ	J I S A 5755 該 当 品, チ ク ソ ト ロ ビ ツ ク ペースト状, ガラス, 一般用チクソ ト ロ ビ ツ ク ペースト状 低モジュラスコンクリートモルタル ALC, PC板, 石材用比重1:3, にナグタイプ
		TSE370RTV	クリヤ ー, 白他	ク	100g チューブ, 50g チュ ープ, 333cc カートリッジ	
		TSE361RTV	白, グレ ー, ニュ ートラル 他	2 液	4 ℓ 缶	
	日 東 ポ リ マー 工 業 (株)	ニットーシリコン	5 色	1 液	333cc カートリッジ	

建築用シーリング材市販製品一覧表

基 材	会 社 名	商 品 名	色	形 状	荷 姿 単 位	特 性
シリコーン	トーレ・シリコーン(株)	SH 780 SH 781 SH 782 SH 780 SH 506	グレー, 黒, 白他 クリアー, アルミ他 白 グレー 無 色		333cc入カートリッジ12ヶ 20kg入ペール缶 470cc ビン入	
	エービーシー商会(株)	ABC コーキングウレタン	5 色		6 kg缶入	物性, 施工性良
ウレタン	錦 城 ゴ ム(株)	キャツスルシール U-100A U-100B U-100C U-200A U-200B U-400B U-1000	黒 グレー, 着色可 グレー 黒	粘性体	30kg	スランプなし ルーフィング材
	建 材 化 工(株)	パンレタンコーキング	グ レ ー	2 液	3kgset, 6kgset	
	サンスター化学工業(株)	ベンギンシール#950	グ レ ー	1 液 2 液	333cc×20 20kg×1 主 10kg 硬 20kg } ×1	
	昭和石油アスファルト(株)	ユーゼット	グ レ ー	2 液	主 2.5kg 硬 5kg } 7.5kg	
	セメダイン(株)	セメダインウレタンシーラー8050	グ レ ー	2 容器型	10, 5kg セット	
	中 外 商 工(株)	ハイジョインターUH	白, 黒, 茶, グレー		3 kg	
	テ イ 化 工(株)	ボニーシーラーU2000	5 色	2 液	3 kg缶入, 4% 1ケース	
	日東ポリマー工業(株)	ニットーコート#200U	グ レ ー		5 kgセット 333cc カートリッジ	
	日本添加剤工業(株)	フラインシーラーNo. 200	グ レ ー		7.5kg缶	
	日 東 化 成 工 業(株)	ブラシーラーPU1800 ブラシーラーWP2000	グ レ ー 白 黒 グ レ ー	1 液 ベース ス ト 状 1 液	6.5kg 13.5kg 20kg	
	日 本 化 成(株)	ダイシールUT#100 #550	黒	2 液	54kg 36kg	ノンサグタイプ フ ロ ー タイプ
	バンドー化学(株)	パンシールU115L U225	黒 グ レ ー	2 液	30kgセット 5 kgセット	20°C 3 時間 20°C 5 時間
	保土谷化学工業(株)	ミリオネートNS-12	グ レ ー		3 kgセット 6 kgセット	2 液常温硬化型
	山内ゴム工業(株)	トツブシーラーU 2	グ レ ー	2 液	3 kgセット	
	日 本 シ カ(株)	シーカフレツクス 1a		1 液	390 g カートリッジ 1ダース入	
アクリル	小 野 田 建 材(株)	ユニコークアクリル	白		18 ℓ	
	鐘 紡 合 成 化 学(株)	カネボウ #P-4000		1 液	18 ℓ, 26.8kg	
	(株)小西 義助商店	ボンドコーク	白 白 アイボリー		500 g チューブ入 500 g カートリッジ入 250kg缶入	
	三 洋 工 業(株)	スリーラント	白	1 液	18 ℓ 入 18,000円	
	昭和石油アスファルト(株)	アクリルエース	白	1 液	18 ℓ 缶入	
	セメダイン(株)	セメダインアクリルシーラー8400	白	1 容器型	10 ℓ 缶入	
	世 界 長 (株)	セカイチヨー-E, A	白	1 液	18 ℓ 缶, 9 ℓ 缶	
	中 外 商 工(株)	ハイジョインター-A	グ レ ー		18 ℓ 缶	
	テ イ 化 工(株)	アクリコート	白	1 液	18 ℓ 缶	施工作業容易, 感圧性硬化

建築用シーリング材市販製品一覧表

基 材	会 社 名	商 品 名	色	形 状	荷 姿 単 位	特 性
ア ク リ ル	日東ポリマー工業(株)	エラスコーク	白, グレー	1 液	18ℓ 333cc カートリッジ	
	日東化成工業(株)	ブラシーラーEM15	白	ペースト状	22kg	
	日立化成工業(株)	日立アクリル シーラーK-4800	白		18ℓ	
	ボスチック ジャパン(株)	ボスコシル4	白	ペースト 1 液	18ℓ 缶	エマルジョンタイプ, 作業性にすぐれる。耐候性にすぐれる皮膜形成 15分/20°C
	山内ゴム工業(株)	トップシーラー #500	白	1 液	18ℓ 缶	
	日 本 シ カ(株)	アイガスアクリル		エマルジョン	25kg 缶	
S. B. R	パンドー化学(株)	エボックス	グ レー	2 液	16kg セット	可使時間20°C, 2 時間
	山内ゴム工業(株)	トップシーラーSB	グレー, 白	1 液	18ℓ 缶	
	日本合成ゴム(株)	J S R シーラント 330 350	グレー, 白	1 液	18ℓ 缶	吸水性下地施工 金属取合部施工

建築用シーリング材標準設計価格

区 分	積 算 基 準	目地寸法 (巾×深さ)	材料価格	労 務 費	副 資 材	経 費	計
油 性	8,000円/18ℓ	10%× 10%	44円	50円	6円	20円	120円
		15 × 10	66	60	9	25	160
		20 × 10	88	75	9	33	205
		20 × 15	132	90	14	44	280
ポリサルファイド	4,000円/ℓ	5 × 5	100	200	60	60	420
		6 × 6	144	200	60	66	470
		10 × 10	400	230	80	125	835
		15 × 10	600	260	100	170	1,130
		20 × 10	800	300	130	220	1,450
シ リ コ ー ン	4,500円/ℓ	5 × 5	112	200	60	68	440
		10 × 7	315	230	80	120	745
		15 × 10	675	260	100	195	1,230
		20 × 10	900	300	130	250	1,580
ブ チ ル	700円/ℓ	10 × 10	70	120	20	40	250
		15 × 10	105	150	30	55	340
ア ク リ ル	700円/ℓ	10 × 10	70	120	20	40	250
		15 × 10	105	150	30	55	340
		20 × 10	140	180	40	65	425
ウ レ タ ン	2,000円/ℓ	5 × 7	70	200	60	55	385
		10 × 10	200	230	80	90	600
		15 × 10	300	260	100	115	775
		20 × 10	400	300	130	140	970
S B R	500円/ℓ	10 × 10	50	120	20	35	225
		15 × 10	75	150	30	45	300
		20 × 10	100	180	40	55	375

- 註, 1. 本価格は目地延 500m 以上の場合とする。
 2. ゴンドラ使用の場合は30%UPとする。

日本シーリング工業会

会 員 名 簿

正 会 員 48

会 社 名	住 所	郵便番号	電 話 番 号
アオイ化学工業(株)	東京都豊島区南大塚 3-46-5	171	03-971-6141
(株)エービーシー商会	// 千代田区永田町 2-12-24	100	// -580-1411
小野田建材(株)	// 中央区銀座 3-2-19 建築会館	104	// -567-8571
鐘紡合成化学工業(株)	// 品川区西五反田 7-22-17 東京卸売センター内	141	// -494-2741
共立化学(株)	東海市南柴田町イの割 44-19	476	0560- 63-2631
錦城護謄(株)	大阪府八尾市跡部北の町 1-4-25	581	0729- 92-2321
栗山ゴム(株)	東京都渋谷区桜ヶ丘 10-6 三和ビル	150	03-463-1841
建材化工(株)	名古屋市東区舎人町 46 万景ビル	461	052-931- ⁶⁷⁷⁰ ₀₇₆₅
(株)小西儀助商店	大阪市東区道修町 2-6	541	06-203-3081
サンスター化学工業(株)	東京都中央区日本橋室町 4-5 近三ビル	103	03-279-6551
三英ポリマー工業(株)	東京都港区三田 1-3-36	108	03-453-9301
三洋工業(株)	池田市木部町 639	563	0727- 51-3128
信越化業工業(株)	東京都江東区亀戸 6-20-7	136	03-685-3451
鐘栄産業(株)	// 千代田区大手町 2-6-1 朝日東海ビル	100	// -242-1211
志水パテ製造(株)	// 中央区日本橋小伝馬町 3-5	103	// -661-5379
住友スリーエム(株)	// 新宿区西新宿 3-12-6	160	// -376-2281
昭和石油アスファルト(株)	// 港区赤坂 7-1-21	107	// -403-1631
(株)スリーボン	// 品川区南大井 1-7-4	140	// -761- ⁴²⁷¹ ₈₃₇₉
セメダイン(株)	// 八王子市狭間町 1456	192	0426- 61-1333
積水化学工業(株)	// 品川区東五反田 4-5-9	141	03-445-1311
世界長株式会社	// 千代田区内神田 2-15-9	101	// -254-5111
ソニーケミカル(株)	// 渋谷区大和田町 52 新大宗ビル	150	// -462-5163
タイホー工業(株)	// 中央区日本橋室町 1-6	103	// -279-0441
大日本塗料(株)	// 港区高輪 2-21-44	108	// -445-8111
中外商工(株)	// 千代田区丸ノ内 3-2 新東京ビル	100	// -216-1861
テイパ化工(株)	// 台東区東上野 3-22-1 上野第一ビル	110	// -834-6241
東芝シリコーン(株)	大阪市東淀川区下新庄町 2-263	533	06-328-1118
トーレ・シリコーン(株)	東京都港区新橋 3-3-9 阪急交通社ビル	105	03-503-5561
株式会社日興社	// 中央区八丁堀 2-6-1 八重州建物ビル	104	// -552-8431
日新工業(株)	// 江東区白河 4-9-5	135	// -642-7103
日東化成工業(株)	// 足立区千住東 2-21-28	120	// -882-2424
日東電気工業(株)	大阪市住吉区帝塚山東 4-37	558	06-693-3561
日東ポリマー工業(株)	豊橋市中原町平山 18	441-31	0532- 41-1121
日本化成工業(株)	大阪市福島区中江町 OK-8	553	06-448-7421
日本化成(株)	吹田市南金田 1-4-46	564	// -385-3886
日本合成ゴム(株)	大和市下鶴間 2958	242	0462- 61-7245
日本シカ(株)	東京都中央区京橋 1-1	104	03-563-5111
日本添加剤工業(株)	// 港区西新橋 1-11-8 マルマン5号館	105	// -591-2436
日瀝化学工業(株)	// 千代田区内神田 2-5-1	101	// -252-3881
バンドー化学(株)	// 千代田区九段北 4-3-29	102	// -265-1511
日立化成工業(株)	神戸市兵庫区明和通 2-1	652-91	078-681-6681
保土谷化学工業(株)	東京都千代田区丸ノ内 1-2 永楽ビル	100	03-214-5111
ボスチック・ジャパン(株)	// 港区芝罘平町 2-1 虎の門東洋ビル	105	// -502-0171
三星産業(株)	// 千代田区内神田 1-13-7 四国ビル	101	// -294-4501
	// 神田小川町 3-28 三東ビル	101	// -292-1961

明星チャール(株)	横浜市神奈川区三枚町299-5		045-383-4651
山内ゴム工業(株)	東京都中央区八重州 3-2 共同ビル	103	03-273-1871
横浜ゴム(株)	// 港区新橋 5-36-11	105	// -432-7111
(株)東京ボース工業社	// 荒川区西日暮里 2-45-2	116	// -801-1151

賛助会員

会社名	住所	郵便番号	電話番号
旭ダウ株式会社	東京都千代田区有楽町 1-12-1 日比谷三井ビル	100	03-507-2961
鐘紡株式会社	大阪市都島区友淵町 1-3-80	534	06-921-1231
工業ゴム(株)	東京都千代田区神田松永町 16 横川ビル	101	03-255-5691
株式会社新和商会	// 荒川区西日暮里 2-30-5	116	// -803-1411
東レチオコール(株)	// 中央区日本橋室町 2-2	103	// -270-0111
長瀬産業(株)	// // 日本橋小舟町 2-3	103	// -662-3111
日石樹脂化学(株)	// 港区西新橋 1-3-12 日石本館	105	// -502-1561
(株)野村事務所	// 港区西新橋 1-3-12 日石本館	105	// -502-1466
フヨー株式会社	// 墨田区業平 4-4-11	130	// -625-3370

施工部会会員名簿 33

会社名	住所	電話番号
ウェザーシール工業(株)	東京都港区芝 1-13-19	03-453-2746
東都シール(株)	// 豊島区北大塚 3-14-10	// -918-6924
清起工業(株)	// 渋谷区渋谷 3-27-12	// -407-0045
日新建工(株)	// 荒川区南千住 6-48-19	// -803-2411
日光興業(株)	// 千代田区神田和泉町 1-4	// -866-2707
臼倉建材工業(株)	// 北区豊島 2-25-11	// -919-6907
光栄工業(株)	// 練馬区上石神井 1-432	// -928-2271-5
細田工業(株)	// 港区芝大門 2-1-8	// -432-8731
(株)ワールドシーラー	// 台東区台東 1-6-3 東神ビル	// -534-4461
(株)大栄興業	// 練馬区大泉学園町 5487	// -924-2865
平和工業(株)	// 台東区台東 4-30-10	// -831-7563
三松工業(株)	// 世田谷区船橋 3-8-1	// -428-3143-4
石黒建材社	// 練馬区東大泉町 424	// -922-1571
理建シール(株)	// 墨田区緑 4-22-9	// -631-4081
興進工業(株)	// 新宿区西新宿 7-16-3	// -368-8741
緑川工業(株)	// 保谷市東町 4-10-8	0424- 22-4976
マサル工業(株)	// 江東区佐賀 1-9-14	03-643-5911
泉工業(株)	// 港区新橋 3-3-5	// -502-2861
大和興業(株)	// 大田区池上 7-30-5	// -758-0342
(株)丸福産業	// 江東区毛利 2-2-8 誠和ビル	// -634-5281
高萩興業(株)	// 江戸川区西小岩 1-27-22	// -650-5261
アルファ産業(株)	// 港区芝浜松町 1-5	// -432-5735
シールマン工業(株)	// 港区白金台 2-11-6	// -447-1665
大和工業(株)	// 荒川区南千住 5-5-10	// -802-4751
伊藤建材(株)	// 台東区西浅草 2-15-9	// -842-1431
瀝青建材(株)	// 千代田区神田佐久間町河岸 51	// -861-2706
マサル瀝青工業(株)	// 台東区北上野 2-21-10	// -842-6311
三和工業(株)	千葉県市川市相ノ川 1271	0473- 57-5153
中央建材工業(株)	東京都中央区銀座 7-10-5	03-571-5229
みすゞサービス(株)	// 新宿区四谷 2-11 ロングビル	// -353-6573

昭和工業 (株)	東京都新宿区三栄町 3	03-353-3675
プレハブ防水 (株)	// 調布市若葉町 2-23-30	// -308-2371
(株) 神奈川オギノール	神奈川県横浜市西区北幸 2-9-32	045-312-6001

名古屋支部正会員 27

会 社 名	住 所	電 話 番 号
アオイ化学工業 (株)	名古屋市昭和区池見町 1-43	052-831-9950
(株) エービーシー商会	// 中区古沢町 5-1	// -331-9611
小野田建材 (株)	// 中村区広井町 3-98 名古屋ビル	// -571-7736
鐘紡合成化学工業 (株)	// 中区栄 1-5-22 東ビル	// -221-9131
共立化学株式会社	愛知県東海市南柴田町イの割 44-19	0560- 64-1243
建材化工株式会社	名古屋市東区舎人町 46 万景ビル	052-931-6770
サンスター化学工業 (株)	// 日置通り 8-34	// -541-1301
三洋工業 (株)	// 南区南陽通り 1-54	// -691-0325
志水パテ製造 (株)	// 西区稻生町 3-44	// -531-5295
昭和石油アスファルト (株)	// 中区丸の内 1-17-19 長銀ビル	// -231-6568
信越化学工業 (株)	// 中村区広小路西通 3-19	// -581-6511
住友スリーエム (株)	// 中区大須 1-7-26 音羽ビル	// -221-7611
(株) スリーボンド	// 中区錦 2-23-31 栄町ビル	// -961-7311
世界長 (株)	// 東区矢田町 8-20	// -722-3301
積水化学工業 (株)	// 中村区堀内町 4-1 毎日名古屋会館ビル	// -541-8471
セメダイン (株)	// 中区大須 3-31-33 音羽ビル	// -251-7511
タイホー工業 (株)	// 中区錦 3-13-29 明乳ビル	// -961-4112
中外商工 (株)	// 中村区若狭町 1-12	// -582-3836
東芝シリコーン (株)	// 中区栄 2-10-19 商工会議所ビル	// -221-7111
トーレシリコーン (株)	// 中村区堀内町 2-32 堀内ビル	// -563-3951
日漕化学工業 (株)	// 港区南十一番町 2-6	// -661-8251
日新工業 (株)	// 千種区千種通り 2-19 岐阜正ビル	// -741-6257
日本添加剤工業 (株)	// 中村区太閤通り 2-40 フタバビル	// -571-6808
三星産業 (株)	// 東区高岳町 1-11 花清ビル	// -971-4574
明星チャール (株)	// 中区橘町 6-9 セントラルビル	// -322-1427
山内ゴム工業 (株)	// 中村区泥江町 1-24 中経ビル	// -561-5401
横浜ゴム (株)	// 中区錦 1-17-13 名興ビル	// -231-6221

名古屋支部施工部会 30

会 社 名	住 所	電 話 番 号
(株) 静岡コーキング工業	静岡市井宮町 131	0542- 71-3053
不二化成 (株)	// 長沼 709-1	
(株) 志水化工	名古屋市西区稻生町 3-44	052-531-5295
津田硝子 (株) シーリング部	// 昭和区一つ山 1-2	// -801-1195
(株) 中部 瀝青	春日井市ことぶき町 212	0568- 81-2120
名瀝工業 (株)	名古屋市東区大幸町 9-32	052-721-5381
大池建工 (株)	// 中区丸の内二丁目 2-5	// -211-1885
東海物産 (株)	// 千種区若水町 2-73-2	// -721-2211
(合) 清谷商店名古屋出張所	// 中村区五反城町 3-1	// -412-2709
朝日コーキング	// 中川区柳堀町 1-42	// -351-0289
エイト工業 (株)	// 東区石町 1-17	// -962-1939
名岐建材社	岐阜市鷺山 1026-4 森ビル	0582- 31-9327
異建工	名古屋市中区青木町 7-2	052-261-6010
(株) 加藤防水工業	// 中区王子町 3-3	// -261-1997
		// -771-6691

浜 津 コ ー キ ン グ
 大 信 工 業
 石 動 コ ー キ ン グ (株)
 栗 原 硝 子 店
 (株) メイトー 名古屋営業所
 ソフランシール防水 (株)
 三 建 工 業 株 式 会 社
 日本化成工業 (株) 名古屋営業所
 中 部 化 研 工 業 所
 森 建 材 商 行
 中 村 コ ー キ ン グ 店
 川 合 コ ー キ ン グ
 フ ジ 工 業 (株)
 (株) 三 栄 コ ー キ ン グ
 (株) 三 友 工 業
 中 央 建 材 工 業 (株)

名古屋市 中村区 大門町 24
 愛知県 海部郡 甚目寺町 山の浦
 富山市 柳町 4丁目 1-9
 金沢市 増泉町ハ 57-3
 名古屋市中村区 大日町 2-64
 " 中川区 八幡本通 1-9
 金沢市 山科町 25番地 1号
 名古屋市中村区 若狭町 1-27 ホユーワカサビル
 " 瑞穂区 内浜町 2-24
 " 中村区 塩池町 1丁目 10-6
 " 昭和区 車田町 2-8
 豊橋市 西口町 元茶屋 92
 名古屋市中村区 石園町 3-21
 " 北区 志賀本通 2-24
 豊橋市 老松町 165
 名古屋市中村区 若水町 3-26

0560- 44-8021
 0764- 31-8966
 0762- 42-5101
 052-461-2128
 " -353-3486
 0762- 42-7251
 052-581-6915
 " -821-0843
 " -461-1029
 " -731-5059
 0532- 54-8826
 052-991-4741
 " -981-2134
 0532- 52-4668
 052-761-6181

大 阪 支 部 正 会 員

会 社 名	住 所	電 話 番 号
小 野 田 建 材 (株)	大阪市北区梅田町 2 第一生命ビル	06-341-0037
バ ン ド ー 化 学 (株)	神戸市兵庫区 芦原通り 4丁目 1	078-681-6681
(株) 小 西 儀 助 商 店	大阪市東区道修町 2丁目 16	06-203-3081
錦 城 護 謨 (株)	" 天王寺区 国分町 111-2	" -779-5950
ト ー レ シ リ コ ー ン (株)	" 北区 小深町 3-1 阪急ターミナルビル	" -373-6801
東 芝 シ リ コ ー ン (株)	" 東区 本町 4-29	" -252-1281
信 越 化 学 工 業 (株)	" 北区 小松原町 27 富国ビル	" -313-3141
栗 山 ゴ ム (株)	" 東淀川区 西中島町 1-195	" -303-1212
ソ ニ ー ケ ミ カ ル (株)	" 北区 西堀川町 18 高橋ビル	" -363-2071
山 内 ゴ ム 工 業 (株)	枚方市 招提近 2-7	0720- 56-1131
(株) ス リ ー ボ ン ド	大阪市北区大融寺町 33 大阪合同ビル	06-321-9471
横 浜 ゴ ム (株)	" 北区 堂島中 1-27 堂島第一ビル	" -345-1421
住 友 ス リ ー エ ム (株)	" 東区 南本町 2-41 三輪ビル	" -262-1641
サ ン ス タ ー 化 学 工 業 (株)	高槻市 明田町 7-1	0726- 84-0882
世 界 長 (株)	西宮市 津門大筒町 8-39	0798- 35-1741
ア オ イ 化 学 工 業 (株)	大阪市港区 弁天町 2丁目 1-8-113	06-572-7677
日 東 化 成 工 業 (株)	" 住吉区 大領町 5-74	" -693-3561
テ イ パ 化 工 (株)	" 東淀川区 下新庄町 2-263	" -328-1118
三 英 ポ リ マ ー 工 業 (株)	池田市 木部町 639	0727- 51-3128
日 立 化 成 工 業 (株)	大阪市東区 北浜 4-6 日立ビル	06-203-5081
中 外 商 工 (株)	" 西区 靱本町 1-49	" -443-4701
三 洋 工 業 (株)	" 大淀区 豊崎西通 1-6	" -372-4638
志 水 パ テ 製 造 (株)	" 都島区 都島北通り 2-19-27	" -921-3078
明 星 チ ャ ー チ ル (株)	堺市 浜寺石津町中 1-533	0722- 41-0487
三 星 産 業 (株)	大阪市西区 京町堀 1-74	06-443-9721
日 本 添 加 剤 工 業 (株)	" 西区 江戸堀北通 1-69 日々会館ビル	" -443-6231
鐘 紡 合 成 化 学 工 業 (株)	" 西区 江戸堀上通 1-25 日本火災海上ビル	" -441-8241
日 本 化 成 工 業 (株)	" 西淀川区 姫島町 1-181	" -472-3886
日 新 工 業 (株)	" 東淀川区 瑞光通 4-30-2	" -329-7737
日 瀝 化 学 工 業 (株)	" 東淀川区 中島 3-142 犬飼ビル	" -303-0161
大 日 本 塗 料 (株)	" 此花区 西野下之町 32	" -461-5371
タ イ ホ ー 工 業 (株)	" 北区 岩井町 2-13 第二新光ビル	" -358-1191

セメダイン (株)	大阪市南区大宝寺東之丁 41	06-251-3555
積水化学工業 (株)	// 北区瀬笠町 2	// -344-1621
昭和石油アスファルト (株)	// 北区梅田町 27 産経ビル	// -341-6395
(株) エービーシ商会	// 東淀川区西中島 4-8-3	// -303-1171
日東ポリマー工業 (株)	// 福島区中江町OK 8	// -448-7421

大阪支部施工部会 53

会 社 名	住 所	電 話 地 号
白洋建材工業所	大阪市都島区都島本通 2-14-18	06-921-2162
大阪ユニロン (株)	// 福島区亀甲町 1-71-2	// -448-2341
三大工業 (株)	// 西区京町堀4丁目78 同盟ビル	// -448-0450
(株) 大阪シール	// 北区富田町 27 笹屋ビル	// -363-0136
美作工務店	守口市八雲西町 4-106	// -993-4039
藤川商店	大阪市福島区上福島北 1-78	// -458-2688
(株) 不藤商店	西宮市鳴尾町 3-1-18	0798- 48-1321
原工業所	大阪市此花区四貫島嘉永町 1-1	06-461-8528
日東工業 (株)	// 住吉区山之内町 2-34	// -692-4641
城内商店	富田林市楠風台 1210-17	07212- 3 -2882
富士防水工業 (株)	伊丹市南野字南ノ口 402-10	0727- 83-2528
三建工業所	高槻市春日町 28-22	0726- 75-2435
昭和化建 (株)	大阪市西区北堀江通 3-68 椿井ビル	06-541-0843
大信防水工業 (株)	神戸市長田区萩乃町 1-734	078-691-4601
(株) 協栄化学防水社	姫路市大津区天神町 1-15	0792- 39-4110
建和産業 (株)	大阪市西区北堀江町上通 3-85-5	06-541-3671
(株) 大阪防水工業所	// 北区西扇町 17 扇町ビル	// -341-1915
日添工業 (株)	// 浪速区東関谷町 2-30-3	// -631-8915
平林工業所	東大阪市六万寺町 3-6-31	0729- 82-7887
松下防水工業所	大阪市東淀川区豊里町 914	
山本防水工業所	門真市上島町 33-9	0720- 82-1958
神戸建設 (株)	伊丹市荒牧字桑田 60	0727- 81-5189
協和工業 (株)	姫路市西夢前台 1丁目71	0792- 66-1606
三幸物産 (株)	大阪市住吉区万代西 2-34	
共立産業 (株)	// 東区本町 5丁目4 広和ビル	06-262-5845
押谷産業 (株)	// 福島区今開町 1-25	// -462-0751
安芸工業 (株)	徳島市富田橋 3丁目35-2	0886- 54-7104
大日特殊建材工業 (株)	大阪市城東区今福中 2丁目32	06-939-0156
(株) 高分子工材	高松市浜の町 298-14	0878- 33-4366
ゼネラル化成 (株)	大阪市西区靱本町 2-80 飾大ビル	06-441-4502
富士化成工業	大阪市城東区野江西之町 2-144	// -939-7149
昭和美建工業社	東大阪市岸田堂西 2-54-1	// -729-1859
日本シーラント工業 (株)	大阪市西区西道頓堀通り 3-24 山田ビル	// -532-2915
美星工業 (株)	神戸市兵庫区鈴蘭台北町 3-11-8	078-591-2189
播磨商会	尼崎市東守部字小袋 13-3	06-429-0733
エマール工業所	大阪市住吉区我孫子町 4-91	// -698-6135
(株) 東洋防水	// 阿倍野区松崎町 3-6-10	// -621-3741
建和工事 (株)	// 西区北堀江上通 3-85-2	// -541-3671
三洋建材 (株)	// 大正区北恩加島町 62	// -551-0587
ユニオン商事	// 西区靱町 4丁目1	// -445-0735
宮橋組	奈良県桜井市西の宮 221	07444- 3 -0003
オトリ工業	守口市八雲西町 2-39	06-991-1367
上野工業	大阪市東淀川区北江口町 366	// -329-8661

昭 和 工 事 (株)	京都市伏見区桃山丹下 38-24	075-642-2354
昌 光 産 業 (株)	大阪市北区堂島中2丁目 44	06-341-8055
栄 工 務 店	茨木市総持寺町2丁目 11-17	0726-26-0989
飯 田 商 会	守口市長池町 16	06-996-6609
松 田 商 会	門真市大倉町 16-14	//-901-0868
大 栄 興 業 (株)	大阪市生野区巽西足代町	
アルファ産業 (株) 大阪営業所	// 西区江戸堀 5-150 同盟通信第一ビル	06-448-3878
相 和 商 会	// 住吉区安立町 6-11	
豊 栄 シ ー ル 産 業	// 西区靱本町 1-72 富屋本館	
八 尾 コ ー キ ン グ	八尾市東久宝寺町 2-5-2	0729-91-1877

福 岡 支 部 正 会 員 21

会 社 名	住 所	電 話 番 号
(株) エービーシー 商会福岡出張所	福岡市博多区博多駅前 3-10-24 藤井ビル内	092-45-5541
昭和石油アスファルト (株) 福岡出張所	// // 綱場町 2-2 福岡第一ビル内	// 29-0008
積水化学 (株) 福岡営業所	// // // // //	// 29-8631
セメダイン (株) 福岡出張所	// 大名 1-5-1	// 74-7188
大日本塗料 (株) 福岡営業所	// 中央区天神町 福岡ビル内	// 76-1061
日新工業 (株) 九州出張所	// // 大手門 1-6	// 74-3461
日本化成工業 (株) 福岡営業所	// 西区千隈 94	// 80-4272
小野田建材 (株) 福岡営業所	// 中央区今泉 2-3-15	// 77-4297
三星産業 (株) 福岡出張所	// // 天神 4-1-18 サンビル内	// 78-3361
三洋工業 (株) 福岡営業所	// 博多区板付新町 866	// 58-3438
中外商工 (株) 福岡出張所	// 南区野間新町 5	// 56-7072
日立化成工業 (株) 九州営業所	// 中央区天神 1-14-16 不銀ビル内	// 78-5831
ティパ化工 (株) 福岡出張所	// 南区長丘 5-11-16	// 56-1675
アオイ化学工業 (株) 福岡営業所	// 下月隈久保田 1933	// 41-3175
サンスター化学工業 (株) 福岡営業所	// 博多区博多駅南 6-7-5	// 43-8056
住友スリーエム (株) 福岡営業所	// 那の川 2-9-22 高木ビル	// 52-2861
横浜ゴム (株) 福岡支店	// 博多区中州 5-6-20 明治生命ビル内	// 28-7631
(株) スリーボンド 福岡営業所	// 中央区渡辺通 2-3	// 74-5015
信越化学工業 (株) 福岡営業所	// 博多区綱場町 2-2 福岡第一ビル内	// 29-8442
東芝シリコーン (株) 福岡出張所	// 中央区渡辺通 2-1-82 電気ビル本館内	// 76-4431
小西儀助商店 福岡出張所	// 清水日吉 38	// 55-1761

相 談 役

伊 藤 憲太郎
岩 崎 一

(社) 日本建設材料協会会長
三星産業株式会社社長

顧 問 (順不同)

狩 野 春 一
浜 田 稔
波多野 一郎
西 忠 雄

工学院大学教授
東京大学名誉教授・東京理科大学工学部長
千葉大学教授
東京大学教授

超高層ビルでも証明された堅実な施工

東京都知事登録
くる 第40557号

油性コーキング

弾性シーラント

責任施工

ダイワ
大和興業株式会社

代表取締役 淵上 正

東京都大田区池上7-30-5

電話 03 (758) 0342~3番

Rのマークは

チオコール系シーラント
各種コーキング工事

理建 シールのマークです

建設業者登録 都知事(わ) 52661号

理建 シール 株式会社

東京都墨田区緑4丁目22番9号(林ビル)

〒130 TEL (631) 4081 (代表)

超高層ビルのシーリング工事



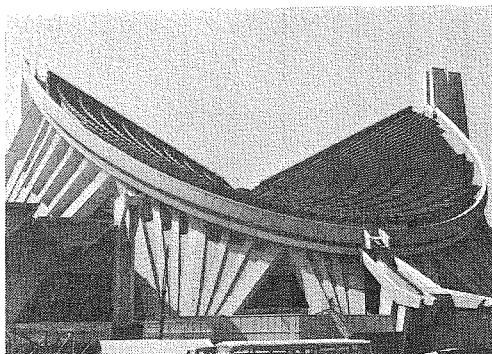
工業株式会社

PCプレハブ住宅防水工事

外装工事(フジコート吹付工事)



代表取締役 荻谷 勝
取締役 上弘 昌
東京都江東区佐賀1-9-14
電話 03(643)5911(代表) 135



充実した施工陣が誇りです

シーリング工事

公団住宅でも

都営住宅でも

丸福の技術は折り紙つきです



株式会社 丸福産業

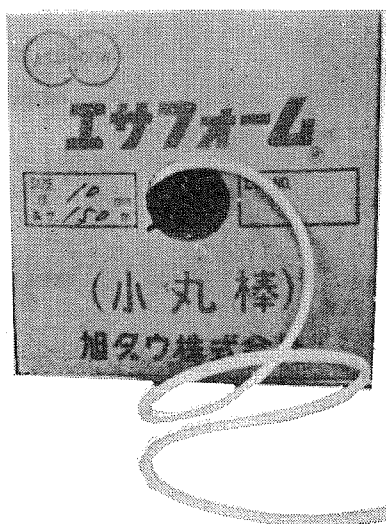
代表取締役 福間靖明

建設業者登録(わ)49478号

東京都江東区毛利町2-2-8(誠和ビル) TEL(634)5281代表

エサフォーム®

(ポリエチレン押出發泡体：独立気泡)

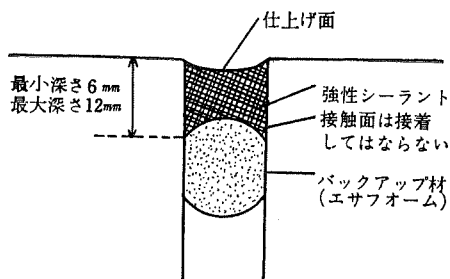


用途

- 弾性シーラント・バックアップ材
- 防水シール材
- パッキン材
- 吸音材
- 目地材
- 気密材
- 継目フイラー
- 断熱材
- 緩衝材

エサフォームは当社の製造するポリエチレン発泡体です。

独立気泡からなり、軽量かつ柔軟性に富み、硬過ぎず、軟らか過ぎず、クッション材として理想的な性質を持っており、しかも化学的に非常に安定しています。その他の特長として吸水性が低い、水蒸気透過性が低い、熱伝導率が低い、吸音性が高い、無毒、無臭である、加工が容易である等があげられます。



理想的なバックアップ材の使用法

〔バックアップ材として使用する場合の特長〕

- ◎丸型である為、シーラントの断面がつづみ型となり、応力が旨く散ってシーラントが丈夫で永持ちする。
- ◎シーラントと接着しないので、シーラントに無理がかからない。
- ◎目地巾がバラついても丸型で調整される。
- ◎長尺で施工条件を十分に考慮した箱に入れているので取扱が容易である。
- ◎他に害を及ぼす滲出物は皆無であり、耐化学薬品性も抜群である。
- ◎吸水性が無い。



旭ダウ株式会社

本社 東京都千代田区有楽町1-12(日比谷三井ビル) TEL 507-2961
大阪事務所 大阪市北区堂島浜通1-25(新大阪ビル) TEL 361-1291
札幌事務所 札幌市大通西5-11(大五ビル) TEL 261-5321

技術と信用の

■シーリング工事

■ウレタン塗膜防水工事

■特殊応用防水工事

東京都知事登録(る)第53514号

細田工業株式会社

代表取締役 細田直司

東京都港区芝大門2-1-8

TEL 432-8731(代)



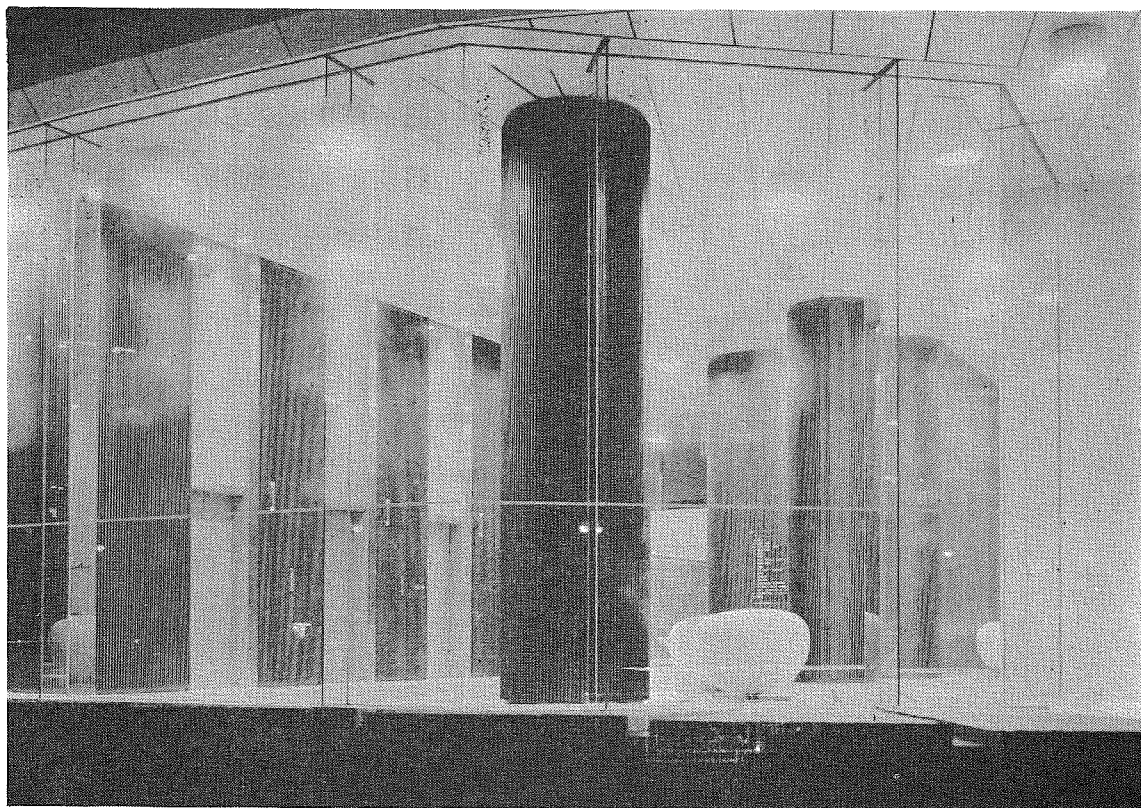
好評！日本でただ一つの
密封材料・防水材料
ならびに施工専門紙

月2回刊(毎月5日・20日発行)

購読料1年 ¥1,800

発行・新樹社

シーリングジャーナル



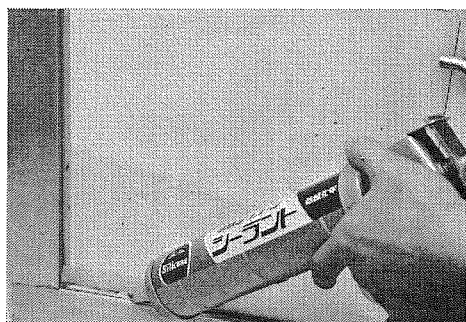
簡単な作業で完璧なシーリング

〈信越シリコーン・シーラント〉は、室温加硫型の弾性シーリング剤です。一液タイプですから、硬化剤添加などの手間はいっさい不要。いつでもどこでも簡単に使えます。

毒性がなく、ガラス、金属、木材、石材、コンクリートなど、どんなものにも強力な接着力を発揮します。特に、ガラスと同じ珪素が主成分ですから、ガラスと完全にくっつき、ガラスの美しさをひきたてます。

ゴム状ですから、弾性、ひずみ復元性に富みカーテンウォール工法など、近代建築に最適です。もちろん気密性は完璧、耐候性も極め

て良く、耐用年数も他の材料より格段にすぐれています。



信越シリコーンシーラント

信越化学／東京都千代田区大手町 2-6-1 (朝日東海ビル) 〒100 電話 (03) 242-1211
 ●珪素樹脂部／電話(03) 242-1211 ●大阪支社／電話(06) 313-3141
 ●名古屋営業所／電話(052)581-6511 ●福岡営業所／電話(092) 29-8442
 ●新潟営業所／電話(0252)47-3321 ●北陸営業所／電話(0776)26-1551
 ●広島出張所／電話(0822)47-9946 ●仙台出張所／電話(0222)23-8461
 ●北海道出張所／電話(011)241-8823

シーリング第10号 広告索引

- | | |
|-------------------|-----------------|
| (ア)旭ダウ……………62 | (ト)東京ボース工業社…目次下 |
| アルファ産業……………広前6 | 東芝シリコン……………30 |
| (ウ)ウェザーシール…広前6 | 東レチオコール…目次裏 |
| (エ)ABC商会……………21 | (ニ)日興社……………広前2 |
| (オ)小野田建材……………広前12 | 日東ポリマー……………目次裏 |
| (カ)鐘紡合成化学……………広前4 | 日本シカ……………表紙3 |
| (ケ)建材化工……………広前8 | 日本添加剤……………表紙4 |
| (コ)光栄工業……………広前1 | 日本合成ゴム……………29 |
| 小西儀助商店……………広前 | 日瀝化学……………22 |
| (サ)サンスター化学…広前1 | (ハ)白洋建材工業所…広前9 |
| 三英ポリマー……………広前7 | (フ)フヨー……………広前12 |
| 三洋工業……………広前5 | ボスチックジャパン |
| (シ)鐘栄産業……………48 | ……………奥付裏 |
| 昭和工業……………広前11 | (ホ)細田工業……………67 |
| 昭石アスファルト…表2 | 保土谷化学……………表2 |
| 新和商会……………広前10 | (マ)マサル工業……………61 |
| 信越化学工業…表3対向 | 丸福産業……………61 |
| (ス)住友スリーエム…目次袖 | (ミ)みすゞサービス…広前11 |
| (セ)セメダイン……………広前6 | 三星産業……………表紙3 |
| (タ)大和興業……………60 | (ヨ)横浜ゴム……………広前4 |
| (テ)テイバ化工……………広前3 | (ワ)ワールドシーラー…広前5 |
| | (リ)理建シール……………60 |

本誌への広告お申込は新樹社へ

東京都中央区銀座7-12-5
銀星ビル(542)9324代

シーリング
SEALING

第10号(第6巻・第10号)
創立10周年記念号

発行/日本シーリング工業会

東京都千代田区外神田2-2-17
(共同ビル万世)

TEL 03 (255) 2841~2

編集/新樹社

東京都中央区銀座7-12-5
(銀星ビル)

TEL 03 (542) 9324代

印刷/毎夕印刷株式会社

広告一手扱/新樹社

昭和48年1月25日印刷

昭和48年2月10日発行

非売品

禁無断転載

材

ウレタン系1液型

ハックス1a (グレー)

トリッジ入り……………

事にとりかかれます。

が、工事のコストダウンに
す。

一カが保証。

ログ請求は、下記住所へ御申込み下さい。

〒館 TEL (03) 591-2436~8

理想的間隙充填材
三星コーキン

「建物の状態は予想以上に良く

まるで人が住んでいる様だった」

南極観測再開(第七次観測)のため
の調査員現地報告より

この秘密は 厳しい気象条件を
克服して 重要な基地をまもり通
した三星コーキンが大きな役割を
果していたからです

JIS 許可番号
A-5751 367268号

三星産業株式会社

京都千代田区神田小川町3-28(三東ビル)

TEL (292) 1961代表

出張所/札幌・仙台・名古屋・大阪・福岡

シカの弾性シーリング材

新発売!

ポリウレタン系1液型

シカフレックス1a (グレー)

1液型でカートリッジ入り……………

その場ですぐ工事にとりかかれます。

この使いやすさが、工事のコストダウンに威力を発揮します。

性能は世界のシカが保証。

カタログ請求は、下記住所へ御申込み下さい。



日本シカ株式会社

〒105 東京都港区西新橋1の11の8丸万5号館 TEL (03) 591-2436~8



南極昭和基地の三星コーキン

理想的間隙充填材 三星コーキン

「建物の状態は予想以上に良く

まるで人が住んでいる様だった」

南極観測再開（第七次観測）のための調査員現地報告より

この秘密は 厳しい気象条件を克服して 重要な基地をまもり通した三星コーキンが大きな役割を果たしていたからです

JIS 許可番号
A-5751 367268号

◆営業品目◆

- | | |
|-------------|-----------------|
| ★三星コーキン製造 | ★三星プラスチックタイル貼工事 |
| ★ビニロイド防水工事 | ★保温保冷工事 |
| ★アコシート防水 | ★三星プラスオール製造 |
| ★アスファルト防水工事 | ★シボレックス工事 |



三星産業株式会社

東京都千代田区神田小川町3-28(三東ビル)
TEL (292) 1961 代表
出張所/札幌・仙台・名古屋・大阪・福岡

雨・風・地震

そなえあれば憂いなし



ファインコーク

ファインシラー No.300

ファインシラー No.200

高層化・巨大化するビルにとって、シール材の役割は大きな条件の一つ。大きなビルの小さな部分。その小さな部分の完ぺきなそなえこそビルの機能を十分に活かす大きな要素です。建物のジャンボ化はシール材に対してもハードな性能を要求します。

耐風圧、耐震、耐候性、伸縮性、接着力。すべての条件をそなえた《ファインシラー#200、#300》。

実績が品質を保証する高性能シーラントです。

特長

耐候性、耐風圧、耐震性に秀れている。

耐水・耐油・耐薬品性に富んでいる。

強靱なゴム弾性体で伸縮性に富み、復元力抜群
接着力が強い。

加硫酸化時の収縮が皆無。

電気絶縁性に秀れている。

建築用コーキング、シーリング、防水材。

材料と施工については下記へどうぞ。



日本添加剤工業株式会社

営業部 東京都千代田区内神田 2-5-1 (252)3881~4
大阪支店 大阪市西区江戸堀北通り1-69日々会館ビル (443)6231~3
名古屋出張所 名古屋市中村区大閘通 2-40 フタバビル (451)8632
本社工場 東京都板橋区前野町 1-21 (960)8621~6